

しむかっぶむら  
占冠村

しむかっぶげん や  
占冠原野 1 遺跡

—北海道横断自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成18年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

しむかっぶむら  
占冠村

しむかっぶげん や  
占冠原野 1 遺跡

—北海道横断自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成 18 年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



1 遺跡遠景（南西から）



2 占冠村市街地方向遠景（北東から）



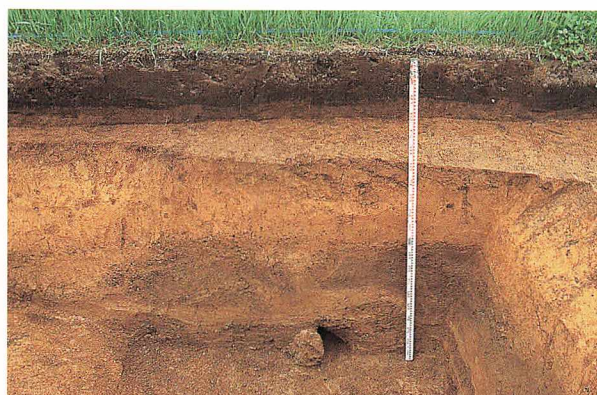
3 TP-87~89調査状況（東から）



4 B~L-1~8 Tピット列検出状況（東から）



5 基本層序（c-d）（南西から）



6 基本層序（a-b）（北西から）

## 例 言

1. 本報告書は、東日本高速道路株式会社北海道支社が行う北海道横断自動車道建設工事に伴い、平成18年度に財団法人北海道埋蔵文化財センターが実施した占冠村占冠原野1遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 本書の執筆は、鎌田 望、新家水奈が行った。写真撮影・写真整理・写真図版作成は、第1調査部第1調査課立川トマスが行った。編集は鎌田が担当した。
3. 発掘調査従事者は次の10名である（五十音順、敬称略）。

小沢清美、小沢満恵、坂口 誠、正田祥子、白石 修、永井 岳、坂東利則、藤林浩司、藤本重克、古川秀子
4. 調査報告終了後の出土遺物、記録類は占冠村教育委員会が保管する。
5. 調査にあたっては次の機関および諸氏のご指導・ご協力をいただいた（五十音順、敬称略）。

しむかっぶ遺跡ロマンの会  
占冠中央小学校  
占冠村：畠山初次郎  
占冠村教育委員会：中村 博、三浦康幸、平岡 卓  
占冠村コミュニティプラザ  
有限会社日月社：山本敬介  
日高山脈館：小野昌子  
富良野市教育委員会：澤田 健  
北海道教育委員会  
北海道立地質研究所：広瀬 亘  
北央貨物運輸株式会社：菊地 亮  
丸磯建設株式会社：山川 正、津村信夫、榊原直哉

## 記号等の説明

1. 遺構の表記は以下に示す記号を使用し、原則として確認順に番号を付した。

P：土坑 TP：Tピット
2. 遺構図の方位は真北を示す。遺構平面図・メインセクション図の+はグリッドライン交点で、傍らの名称記号は右下のグリッドを示す。遺構断面図・メインセクション図のセクションレベルは、標高（単位はm）である。
3. 遺構の規模は、「確認面での長軸長×短軸長／底面での長軸長×短軸長／確認面からの最大深・最大厚（単位はm）の順に記した。一部破壊されているものは現存長を（ ）で示した。また、推定可能なものも推定長を（ ）で示した。
4. 実測図の縮尺は、遺構は1/40、剥片石器は1/2である。これら以外の図、例外については図内にスケールを付して示した。
5. 土層の表記については、基本土層はローマ数字、遺構の層位はアラビア数字で示した。
6. 土層の色調は、『新版標準土色帖』（小川・竹原 2004）に従った。
7. 火山灰の略号は、『北海道の火山灰』（北海道火山灰命名委員会 1982）による。
8. 石器の大きさは、「最大長×最大幅×最大厚」で記した。剥片石器は図正面の縦の長さを「長さ」、横の長さを「幅」とした。厚さは最大値を採用した。破損しているものは現存値を（ ）で示した。

# 目 次

口 絵	
例 言	
記号等の説明	
目 次	
表 目 次	
挿図目次	
写真図版目次	

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査要項 .....	1
2 調査体制 .....	1
3 調査に至る経緯 .....	1
4 遺跡の位置と環境 .....	3
5 周辺の遺跡 .....	3
6 調査区の設定と座標値 .....	6
7 整理の方法 .....	6
8 土層の区分 .....	7
(1) 観察項目と記載順序 .....	7
(2) 基本層序 .....	7
9 調査の経過 .....	9
(1) 表土除去作業と計画変更 .....	9
(2) 遺構調査の準備 .....	9
(3) 重機を併用した遺構調査 .....	9
10 調査結果の概要 .....	9
<b>II 遺 構</b> .....	<b>12</b>
1 概 要 .....	12
2 土 坑 .....	12
3 Tピット .....	13
<b>III 包含層出土の遺物</b> .....	<b>67</b>
<b>IV 成果と問題点</b> .....	<b>68</b>
附記 占冠原野1遺跡の火山灰について .....	68

## 写真図版

引用・参考文献

報告書抄録

## 表 目 次

表 1	占冠の気象統計 1981～2005年平均値……………	3	表 8	掘り上げ土の入った Tピット一覧……………	15
表 2	周辺の遺跡一覧……………	3	表 9	Tピット重複一覧……………	16
表 3	基本層序属性一覧……………	8	表10	遺跡別Tピット一覧……………	17
表 4	検出遺構数一覧……………	9	表11	Tピット覆土土層注記一覧……………	52
表 5	出土遺物点数一覧……………	9	表12	Tピット一覧……………	60
表 6	土坑覆土土層注記一覧……………	12	表13	包含層出土石器一覧……………	67
表 7	Tピット分類結果……………	13			

## 挿 図 目 次

図 1	占冠原野 1 遺跡の位置……………	2	図23	T P-34～37……………	30
図 2	占冠原野 1 遺跡の位置と 周辺の遺跡……………	4	図24	T P-38～41……………	31
図 3	調査範囲と周辺の地形……………	5	図25	T P-42～45……………	32
図 4	グリッド設定図……………	6	図26	T P-46～50……………	33
図 5	基本土層柱状図……………	7	図27	T P-51～54……………	34
図 6	土層断面観察位置図 ・土層断面図……………	8	図28	T P-55・57・59……………	35
図 7	調査最終面地形図……………	10	図29	T P-56・58・60・61・109……………	36
図 8	遺構位置図……………	11	図30	T P-62～65……………	37
図 9	P-1……………	12	図31	T P-66～68・71……………	38
図10	Tピットの分類……………	13	図32	T P-69・70・72……………	39
図11	A型Tピット分布図……………	18	図33	T P-73～77……………	40
図12	B型Tピット分布図……………	19	図34	T P-78～80……………	41
図13	C 1 型Tピット分布図……………	20	図35	T P-81～84……………	42
図14	C 2 型Tピット分布図……………	21	図36	T P-85～88……………	43
図15	T P-1～4……………	22	図37	T P-89～93……………	44
図16	T P-5～9……………	23	図38	T P-94～99……………	45
図17	T P-10～13……………	24	図39	T P-100～104……………	46
図18	T P-14～17……………	25	図40	T P-105～108・110……………	47
図19	T P-18～21……………	26	図41	T P-111・112・121・123……………	48
図20	T P-22～24……………	27	図42	T P-113～115・118・122……………	49
図21	T P-25～28……………	28	図43	T P-116・117・119・124……………	50
図22	T P-29～33……………	29	図44	T P-120・125～127……………	51
			図45	包含層出土の石器……………	67

## 写真図版目次

口絵 1	4	B～L-1～8
1 遺跡遠景（南西から）		Tピット列検出状況（東から）
2 占冠村市街地方方向遠景（北東から）	5	基本層序（c-d）（南西から）
口絵 2	6	基本層序（a-b）（北西から）
3 T P-87～89調査状況（東から）		

#### 写真図版 1

- 1 遺跡遠景 (南西から)
- 2 Tピット調査状況 (北東から)
- 3 Tピット調査状況 (北西から)

#### 写真図版 2

- 4 C~I-1~7 Tピット列 (東から)
- 5 H~O-4~9 Tピット列 (北東から)

#### 写真図版 3

- 6 TP-2・3調査状況 (南から)
- 7 遺構位置実測状況 (北東から)
- 8 R~S-6~13 Tピット列 (東から)
- 9 I~P-4~10 Tピット列 (北西から)
- 10 埋め戻し作業終了 (北東から)

#### 写真図版 4

- 11 TP-1セクション (北東から)
- 12 TP-23セクション (南から)
- 13 TP-45セクション (南から)
- 14 TP-54 (左)・TP-4 (右)セクション (北東から)
- 15 TP-88 (左)・TP-87 (右)セクション (北から)
- 16 TP-103 (左)・TP-100 (右)セクション (北から)

#### 写真図版 5

- 17 TP-3セクション (東南から)
- 18 TP-5セクション (北から)
- 19 TP-6セクション (北から)
- 20 TP-9セクション (北東から)

#### 写真図版 6

- 21 TP-15セクション (北から)
- 22 TP-40セクション (北から)
- 23 TP-42セクション (北から)
- 24 TP-48セクション (北から)

#### 写真図版 7

- 25 TP-50セクション (北から)
- 26 TP-51セクション (北東から)
- 27 TP-65セクション (北から)
- 28 TP-57セクション (北東から)

#### 写真図版 8

- 29 TP-58セクション (北から)
- 30 TP-70セクション (北から)
- 31 TP-74セクション (北東から)
- 32 TP-80 (左)・79 (右)セクション (北東から)

#### 写真図版 9

- 33 TP-82セクション (北から)
- 34 TP-83セクション (北から)
- 35 TP-93セクション (北から)
- 36 TP-102セクション (北から)

#### 写真図版 10

- 37 TP-104セクション (北から)
- 38 TP-105セクション (北東から)
- 39 TP-47 (左・左)・122 (左・右)・115 (右)セクション (北から)
- 40 TP-117 (左)・116 (右)セクション (北から)

#### 写真図版 11

- 41 TP-23坑底面杭穴確認 (南から)
- 42 TP-45坑底面杭穴確認 (南から)
- 43 TP-46完掘 (杭穴完掘) (北から)
- 44 TP-66坑底面杭穴セクション (北から)
- 45 TP-66坑底面杭穴確認 (北から)

#### 写真図版 12

- 46 TP-56坑底面杭穴確認 (北から)
- 47 TP-70完掘 (北東から)
- 48 TP-75 (左)・76 (右)セクション (北から)
- 49 TP-75 (左)・76 (右)完掘 (北から)

#### 写真図版 13

- 50 TP-77完掘 (北東から)
- 51 TP-78完掘 (北から)
- 52 TP-81セクション (北から)
- 53 TP-81完掘 (北から)

#### 写真図版 14

- 54 TP-119 (左)・124 (右)完掘 (北東から)
- 55 TP-125 (左)・120 (右)完掘 (北東から)
- 56 TP-125・120・119・124完掘 (北東から)
- 57 石鏝 (左)とRフレイク



# I 調査の概要

## 1 調査要項

事業名：北海道横断自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査

委託者：東日本高速道路株式会社北海道支社

受託者：財団法人北海道埋蔵文化財センター

遺跡名：占冠原野（しむかっぶげんや）1遺跡

（北海道教育委員会登録番号 F-16-11）

所在地：北海道勇払郡占冠村字占冠原野96-1、2319-1

調査面積：4,702㎡

調査期間：平成18年6月1日～平成18年7月7日（現地調査期間）

平成18年7月8日～平成19年3月31日（整理期間）

## 2 調査体制

理事長 森重楯一 専務理事 佐藤俊和

第1調査部長 千葉英一 第1調査部第4調査課長 鈴木 信

第1調査部第4調査課主査 鎌田 望（発掘担当者）

第1調査部第4調査課主任 新家水奈（発掘担当者）

第1調査部第1調査課主査 立川トマス

## 3 調査に至る経緯

北海道横断自動車道は、黒松内町を起点として小樽、札幌、千歳、夕張、帯広を経て網走（網走線）、根室（根室線）に至る高速自動車道路である。総延長は約694kmである。平成17年までに小樽～札幌JCT、千歳恵庭JCT～夕張、十勝清水～本別・足寄の163kmが供用されている。

平成9（1997）年6月、日本道路公団（現：東日本高速道路株式会社）北海道支社は北海道教育委員会（以下道教委という）に、北海道横断自動車道路建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書を提出した。これを受けて道教委は、夕張市、穂別町、占冠村、南富良野町、新得町、清水町の延長約79kmを対象に埋蔵文化財包蔵地の所在確認調査を予定する旨、日本道路公団北海道支社長と協議を行った。

道教委は平成10（1998）年6月、埋蔵文化財包蔵地の所在確認調査を実施し、同年7月、その結果に基づき、夕張市内で5か所、穂別町内で5か所（その後1か所追加）、占冠村内では20か所において遺跡の範囲確認調査が必要との回答をした。平成14（2002）年からは順次試掘調査が行われた。

平成17（2005）年10月25～27日、道教委は占冠村内3か所において調査対象面積42,400㎡に及ぶ試掘調査を行った。このうち、占冠原野1遺跡では調査対象面積36,400㎡に対して、1.1m×2.5mの試掘坑を102か所、1m×40～80mの溝を6列掘削した。これにより、陥穴（以下Tピットという）3基と土坑1基を確認し、遺物はチップ1点を表採した。遺物包含層は耕作によって削平されていた。

道教委は財団法人北海道埋蔵文化財センター（以下当センターという）に対して、6,828㎡のうち緑地帯として保存可能な2,126㎡を除く4,702㎡について、重機を用いた遺構確認調査を行うように指示した。当センターではこの指示を受けて、試掘結果を基に面積1㎡のTピットが30基あると想定して、調査員2名、作業員10名で、調査期間1ヶ月という調査計画を立てた。（鎌田 望）

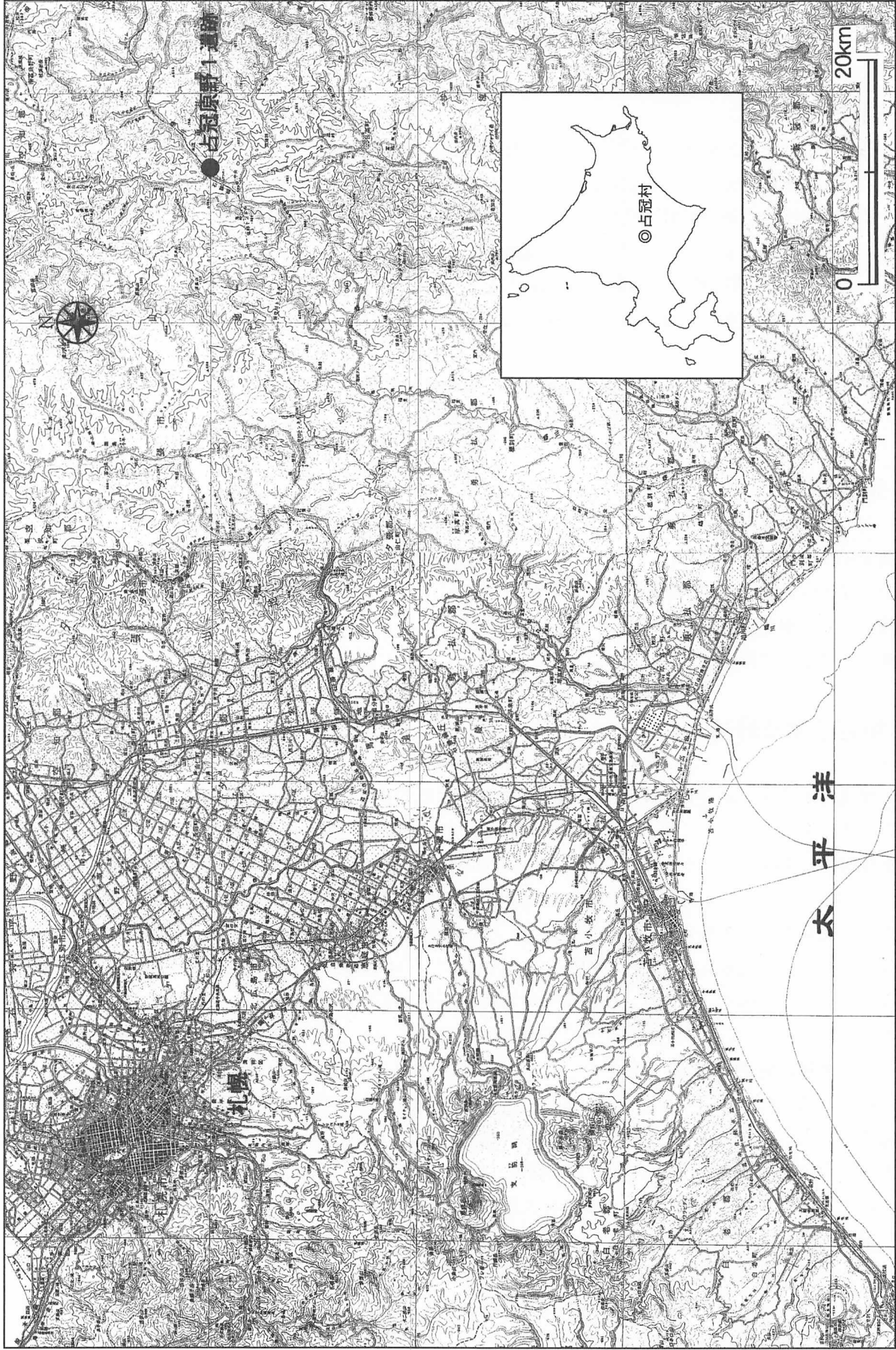


図1 占冠原野1遺跡の位置

この図は、国土地理院発行20万分の1地勢図「札幌」(平成17年10月1日発行)、「苫小牧」(平成16年12月1日発行)、「夕張岳」(平成8年10月1日発行)、「浦河」(平成13年11月1日発行)を、複製加筆したものである。

## 4 遺跡の位置と環境

占冠村は北海道の中央部、上川地方の南端に位置する鶴川（むかわ）上流の人口約1,800人（平成17年国勢調査）の村である。北から東は南富良野町、東から南は日高町・平取町、西は夕張市・むかわ町に接し、南富良野町へは金山（かなやま）峠・幾寅（いくとら）峠、日高町・平取町へは日高峠を経て通じている。村域は、北の夕張山地と南の日高山脈に挟まれた丘陵から山地である。その94.2%は山林、3.3%は原野・雑種地であり、田・畑・牧場・宅地は1.7%である。中央部を鶴川が西・南流し、双珠別川（そうしゅべつがわ）が南部を西流して村の西部で鶴川に合流する。トマム、占冠、中央、双珠別、ニニウの集落は鶴川と双珠別川流域に点在し、中心市街地の中央地区は両河川合流点左岸に発達している。気候は内陸性である。下に占冠（北緯42度58.7分、東経142度23.7分、標高332m）の気象統計1981～2005年平均値を示した。

占冠という地名はアイヌ語のシムカブ（甚だ静かで平和な上流の場所の意）に由来する。字占冠は鶴川にパンケシュル川が合流するあたりの地名で、木材の集積地として開拓期以降最初に栄えた集落である。占冠原野1遺跡はこの集落から鶴川を挟んで南東、鶴川とシム川の合流点の北東、両河川に挟まれた段丘上の標高約360mに所在する。遺跡の南西側の段丘下には占冠村の水道水を取水しているシム川が西流して鶴川に合流している。また、遺跡の北西側の段丘下、鶴川との間には昭和56年開通のJR石勝線が通っている。（鎌田）

表1 占冠の気象統計1981～2005年平均値

降水量	1229.8mm	平均気温	4.5℃	真夏日（30℃以上）	2.2日
日照時間	1422.7時間	最高気温	30.5℃	夏日（25℃以上）	28.9日
最深積雪*	91.6cm	最低気温	-31.9℃	冬日（最低気温0℃未満）	187.8日
*1981・82は未計測、83・84・94は推定値のため除外				真冬日（最高気温0℃未満）	89日

気象庁ホームページ>気象統計情報>気象観測（電子閲覧室）>地点ごとのデータ（昨日まで）を基に作成した。

## 5 周辺の遺跡

北海道教育委員会作成の埋蔵文化財包蔵地カードによれば、占冠村には平成18年12月末現在11か所の遺跡が登載されている。いずれも鶴川・双珠別川流域にあり、河岸段丘や自然堤防、川沿いの平坦部に立地する。これまでに表面採集された遺物は縄文時代～続縄文時代が主体であるが、占冠中央2遺跡では須恵器片が出土している。今回の占冠原野1遺跡がこの村で行われた最初の発掘調査である。占冠原野1遺跡から鶴川を挟んだ北岸の畑からは縄文時代晩期～続縄文時代の遺物が出土している。（鎌田）

表2 周辺の遺跡一覧

番号	遺跡名称	所在地	種別	時代	立地	標高(m)	遺構・遺物
1	クテクウンナイ	中央47-7・44、1307	遺物包含地	縄文、続縄文	段丘	370	
2	五番滝	双珠別五番滝	遺物包含地	縄文	川沿いの狭い平坦面	500	土器
3	了古院裏	中央46-6・74	遺物包含地	縄文	段丘	350	土器、石器
4	占冠中央1	中央60-1・17	遺物包含地	不明	自然堤防	335	
5	中央スキー場	字占冠原野66-5	遺物包含地	不明	河岸段丘	350	
6	双珠別1	双珠別199-1	遺物包含地	縄文	段丘	370	石鏃、石槍
7	双珠別2	双珠別497-1・2・7・8	遺物包含地	縄文	段丘	370	石斧、石器
8	占冠中央2	中央62-1	遺物包含地	縄文・擦文	段丘	340	須恵器、石器
9	マカウシ沢	中央51-6	遺物包含地	不明	河岸段丘	360	
10	双珠別3	双珠別301-1・2	遺物包含地	不明	段丘	370	
11	占冠原野1	字占冠原野96-1、2319-1	遺物包含地	縄文	段丘	360	Tピット127基、土坑1基 石鏃、Rフレイク、 フレイク、チップ

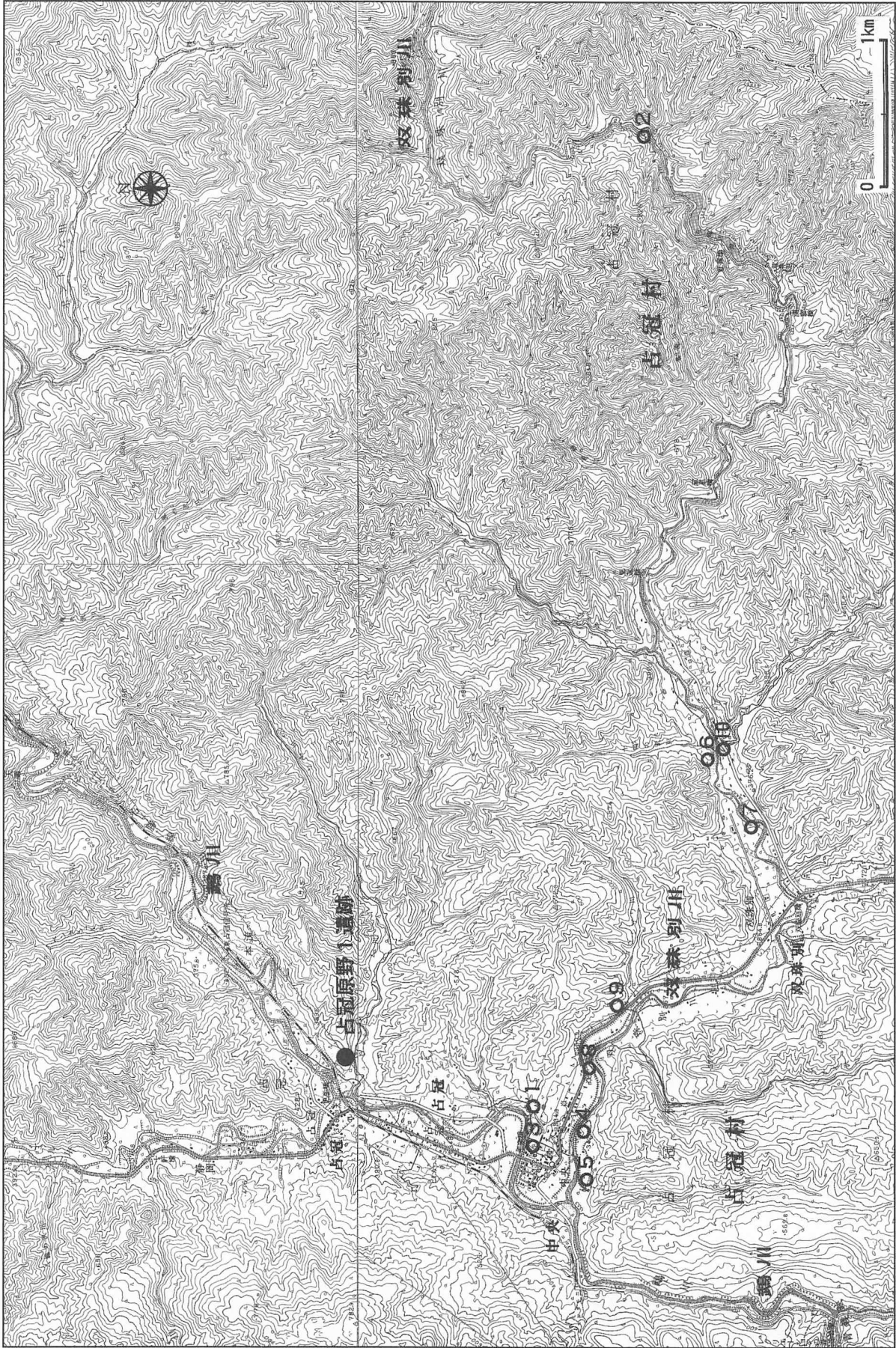


図2 占冠野1遺跡の位置と周辺の遺跡

この図は、国土地理院発行5万分の1地形図「石狩金山」(昭和61年3月30日発行)、「日高」(平成5年6月1日発行)、「落合」(昭和59年3月30日発行)、「千栄」(平成5年6月1日発行)を、複製加筆したものである。

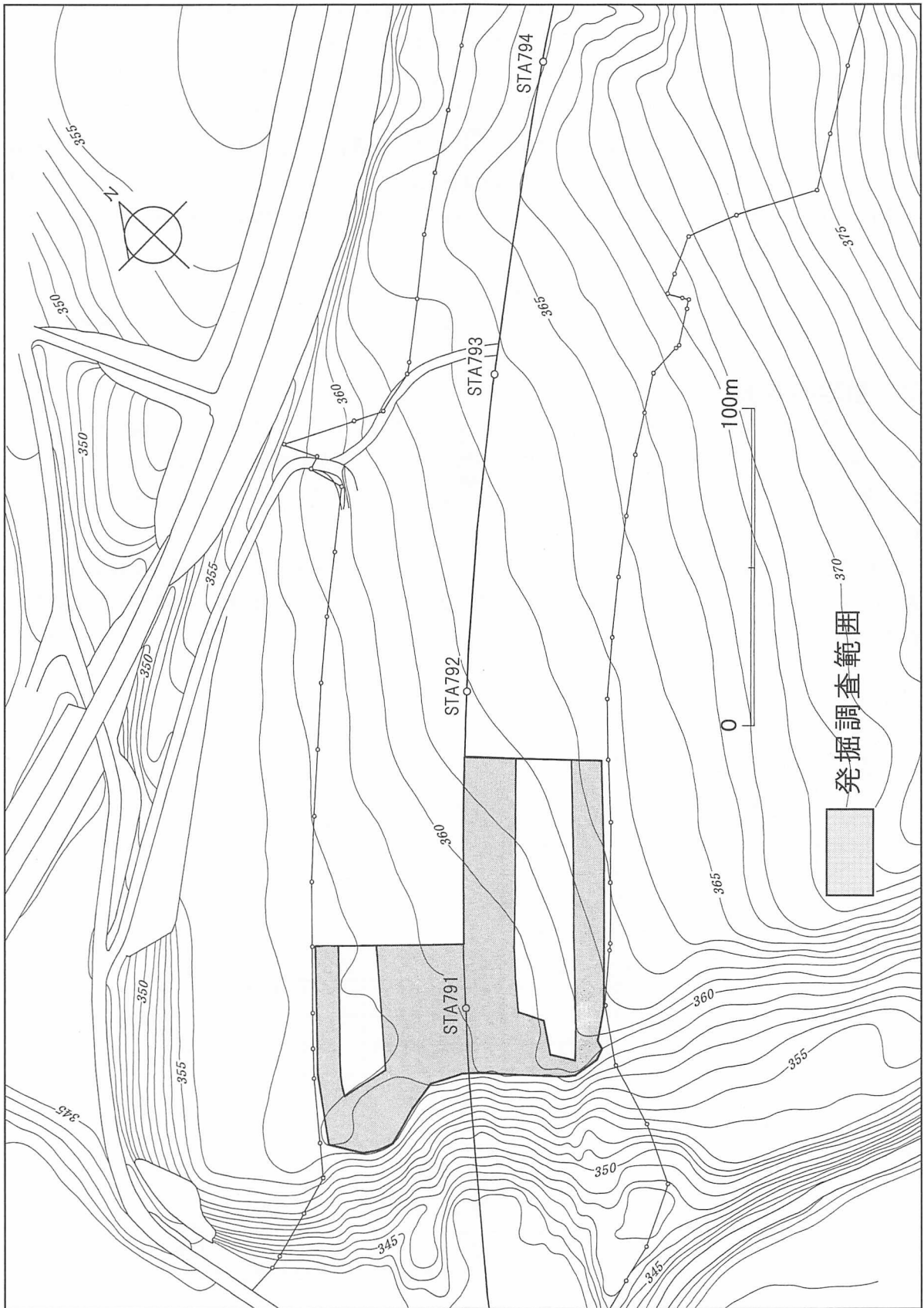


図3 調査範囲と周辺の地形

## 6 調査区の設定と座標値

占冠原野1遺跡の調査区は、北海道横断自動車道工事用地内の基準杭STA791=K10とし、STA792と結んだ線を基準のKラインとして、調査区域4,702㎡を5×5mメッシュの区画を用いて設定した。区画(グリッド)の名称は、Kラインと平行する南西-北東方向ラインにアルファベット、北西-南東方向のラインにアラビア数字を用い、それぞれ交差する地点にグリッド名を付した。「L7」のように表記し、アルファベットと数字の間にハイフンは入れずに、遺構名と区別した。図中のグリッド名称は右下のグリッドを示す。アラビア数字で示す直線は真北に対して、47°50′西偏する。STA791の位置は北緯43°00′14″、東経142°24′48″である。基準点の平面直角座標Ⅱ系の座標値は下記の通りである。

世界測地系

STA791 X = -110578.432 Y = 13385.835

STA792 X = -110652.799 Y = 13319.026

(新家水奈)

## 7 整理の方法

取り上げた遺物は水洗・乾燥後、遺跡名の略称シム1、グリッド名、出土層位、遺物番号を注記した。また、遺物分類カードを作成し、日付、層位、点数、分類名、重量計測値、石材等を記入し、それぞれ遺物に添付してビニール袋に収納した。その後センターにおいて分類カードの情報をもとに台帳を作成した。

現地調査終了後は江別市内の整理作業所において、現地での実測図面の整理、遺跡全体図・地形図・遺構図の作成、トレース、報告書掲載遺物の実測、トレース図作成、写真撮影等の報告書作成作業をおこなった。(新家)

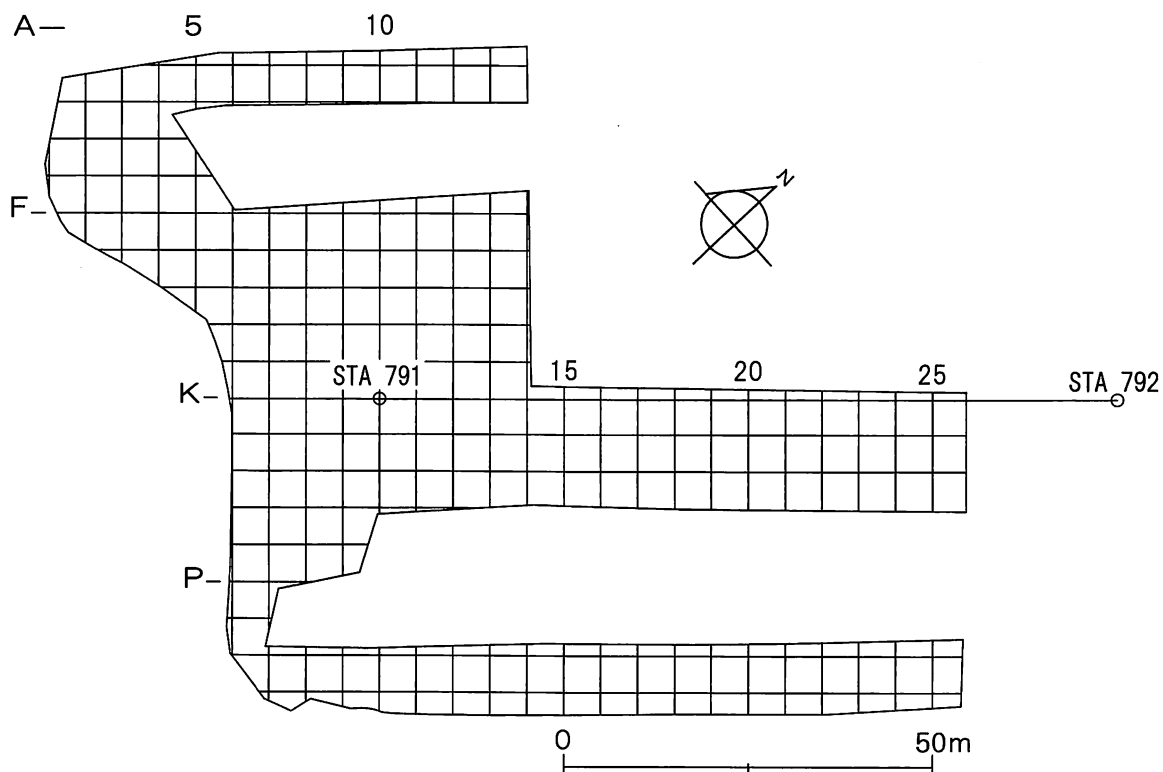


図4 グリッド設定図

## 8 土層の区分

### (1) 観察項目と記載順序

土層表記中、土層の混在状態を、基本土層記号などを用いて次の様に表している。

A + B : AとBがほぼ同量混じる                      A > B : AにBが少量混じる

土層の観察には『新版標準土色帖』(小山・竹原 2004) および 『土壌調査ハンドブック 改訂版』(日本ペトロロジー学会編 1997) を用いた。観察項目と記載順序は以下の通りである。

1. 土性区分 砂土 (S)、砂壤土 (SL)、壤土 (L)、シルト質壤土 (SIL)、埴壤土 (CL)、埴土 (C) に分けられる。
2. 色調 色相、明度、彩度を記号および数値で表した。
3. 粘着性 なし、弱、中、強に分けられる。
4. 堅密度 すこぶるしょう、しょう、軟、堅、すこぶる堅、固結に分けられる。
5. 下位の層との層界の明瞭性 明瞭、判然、漸変、散漫に分けられる。
6. 層界の起伏 平坦、波状、不規則、不連続に分けられる。
7. 礫の混入状況 混入面積の割合(%)、石礫の大きさ(細礫0.2~1cm、小礫1~5cm、中礫5~10cm、大礫10~20cm、巨礫20~30cm、巨岩30cm以上)、石礫の形状(角礫、亜角礫、亜円礫、円礫)、石礫の風化の度合い(未風化、半風化、風化、腐朽)、石礫の種類(軽石、堆積岩等)を記入。

### (2) 基本層序 (表3、図5・6、口絵2-5・6)

- I層 : 表土・耕作土。
- II層 : 黒~黒褐色土。遺物包含層。I層とあわせて層厚40~50cm。調査区内のII層はほとんどが耕作による攪乱を受け、純粹に堆積しているものはなく、I層との区別がつかない。
- III層 : 暗褐色~にぶい黄褐色土層。漸移層。この面でTPのプランを確認した。層厚40~60cm。
- IV層 : 褐~黄褐色。ローム層。層厚30~50cm。
- V層 : 褐色土層。恵庭岳起源降下軽石(E<sub>n-a</sub>)層。層厚20~40cm。
- VI層 : 暗褐~にぶい黄褐色土。ローム層。場所により層質が異なり、砂礫層の部分もある。
- VII層 : にぶい黄褐~にぶい黄橙色土。粘土層。湧水もあり。層厚20~50cm。
- VIII層 : 暗褐~灰色。砂利・石礫層。0.5~50cm長の礫が入る。 (新家)

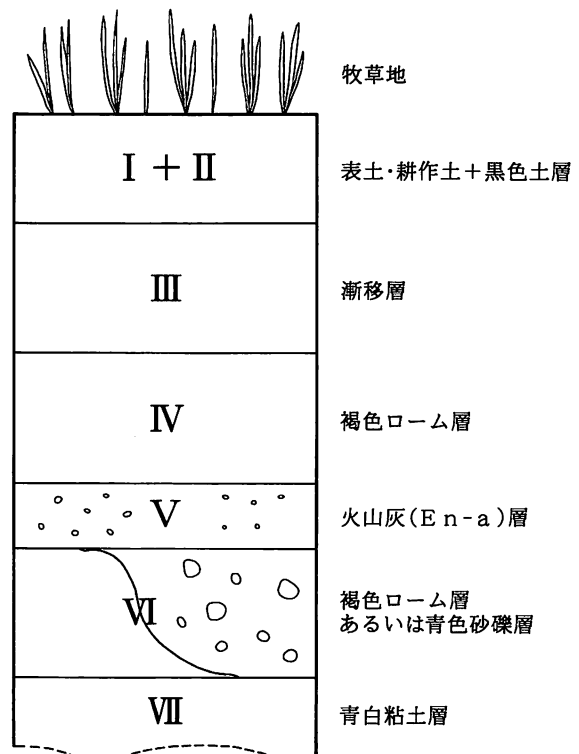


図5 基本土層柱状図

表3 基本層序属性一覧 (a-b)

層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	耕作土		その他
								表	作	
I	墾壤土	黒褐色	10YR 2/2	強	堅	明瞭	平坦	明瞭	耕作土。プラマイマリーにII層が残っている所は殆んど無し。	
II	墾壤土	暗褐色	10YR 3/3	強	すこぶる堅	判然	波状	判然	II層とIV層の漸移層。	
III	墾壤土	褐色	10YR 4/4	強	すこぶる堅	明瞭	平坦	明瞭	ローム層。	
IV	墾壤土	褐色	10YR 4/6	無し	すこぶる堅	明瞭	平坦	明瞭	恵庭岳起源降下軽石(En-a)層。	
V	砂土	にぶい黄褐色	10YR 5/4	強	軟	判然	波状	判然	φ 1mm未満の鉄粉混入。	
VI	墾壤土	にぶい黄褐色	10YR 6/3	強	しよう	判然	波状	判然	粘土層。所々、酸化した鉄の粒混入。	
VII	砂土	灰色	10Y4/1	強	軟~堅	不明	不明	不明	石礫はφ 1cm。30~40%、青粘土の中に混入。	
VIII	砂土	灰色	10Y4/1	無し	固結	不明	不明	不明	石礫層。φ 3~10cmの岩礫50%以上。	

(c-d)

層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	耕作土		その他
						表	作	
I	墾壤土	黒色	10YR 1.7/1	強	すこぶる堅			
II	墾壤土	にぶい黄褐色	10YR 4/3	強	すこぶる堅			
III	墾壤土	黄褐色	10YR 5/8	強	すこぶる堅			
IV	砂土	褐色	10YR 4/6	弱	すこぶる堅			恵庭岳起源降下軽石(En-a)層。
VI	砂土	暗褐色	10YR 3/4	無し	すこぶる堅			砂礫層。角礫、泥岩? φ 0.1~3cmの礫層。
VII	墾壤土	にぶい黄褐色	10YR5/4	強	堅			粘土層。
VIII	砂土	暗褐色	10Y3/3	無し	堅			砂利層(IV層より礫が大きい)。礫、泥岩? φ 0.5~4cm。10~50cmある巨礫も混入。

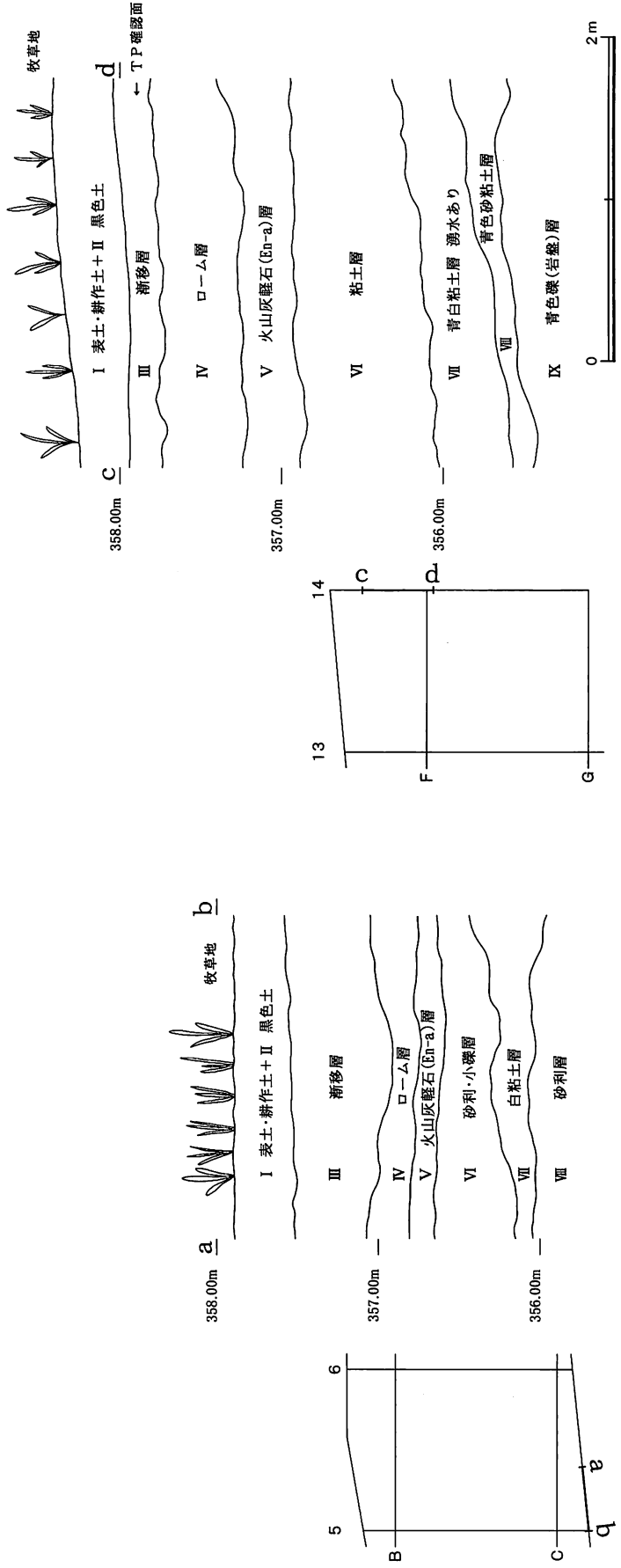


図6 土層断面観察位置図・土層断面図



## 9 調査の経過

### (1) 表土除去作業と計画変更

5月15日からの表土除去作業は、工事施工者の要請により二段階に分けて行った。まず、表土から黒色土層までの耕作土を旧地権者の指定する場所に運搬して畑を造成した。その後で漸移層を除去してローム層の面を露出させた。

この段階で、シム川に面した崖付近に当初計画を大幅に上回る数のTピットを確認したので、急遽調査計画の再検討を行った。遺構数の増加に応じて、調査員1名の増員と、重機併用により調査を行うことになった。この対応策は、①調査範囲が概ね平坦である、②遺構の分布が崖付近に集中している、③調査員2名・作業員10名と少人数での調査である、④調査期間が短期間である、などの点を考慮したものである。

### (2) 遺構調査の準備

6月1日（木）から6月8日（木）の6日間で調査範囲全体にジョレンをかけてローム層の上面を完全に露出させた。この作業の終了した区域から、並行して測量基準杭を打設しながら地形測量を行ない、ローム層上面のコンター図を作成した。次に、Tピットの輪郭を石灰でマーキングし、その分布状況の写真撮影を行った。さらに、Tピットの確認面での平面図を作成した。

### (3) 重機を併用した遺構調査

6月8日（木）からは重機を併用して遺構調査を開始した。その調査実務は次のとおりである。

①重機によりTピット短軸もしくは長軸方向で半截し底部を確認。②人力により土層断面清掃・底部調査。③写真撮影・土層断面図作成。④残り半分を重機で掘削し底部確認。⑤人力により底部調査。⑥底部平面図・遺構断面図作成、必要に応じて完掘写真撮影。

以上の手順で、シム川（占冠村の水道水となっている）に面した崖側に、汚濁防止のためのクリアランス部分を残して遺構調査を行った。①④の段階では長さ2mのピンポールを地上から突き刺して底部を確認しながら慎重に掘り下げた。

しかし、6月中旬・下旬に数回の強い雨があり、調査区域の外から大量の泥水が流れ込み、調査中のTピットが土砂で埋没した。この復旧作業と雨天休業による作業の遅れのため調査期間を7月上旬まで延長することとした。その後、天候が安定した段階で、崖側のクリアランス部分から斜面の表土を除去し、その部分の遺構調査を行った。7月7日（金）までに全ての遺構の調査を終え、調査区域の埋め戻し作業を完了した。

（鎌田）

## 10 調査結果の概要

検出遺構は土坑1基、Tピット127基である。出土遺物は石鏃1点、Rフレイク4点、フレイク9点の計14点（いずれも石材は黒曜石）である。出土層位はIV層である。

Tピットのほとんどは段丘縁辺部の崖付近に構築されており、等高線と直交して列をなす。分布密度は1基/37㎡である。地形と遺構の位置については、図7に調査最終面地形図、図8に遺構位置図で示した。

（鎌田）

表4 検出遺構数一覧

種別	Tピット	土坑	計
基数	127	1	128

表5 出土遺物点数一覧

種別	石鏃	Rフレイク	フレイク	計
点数	1	4	9	14

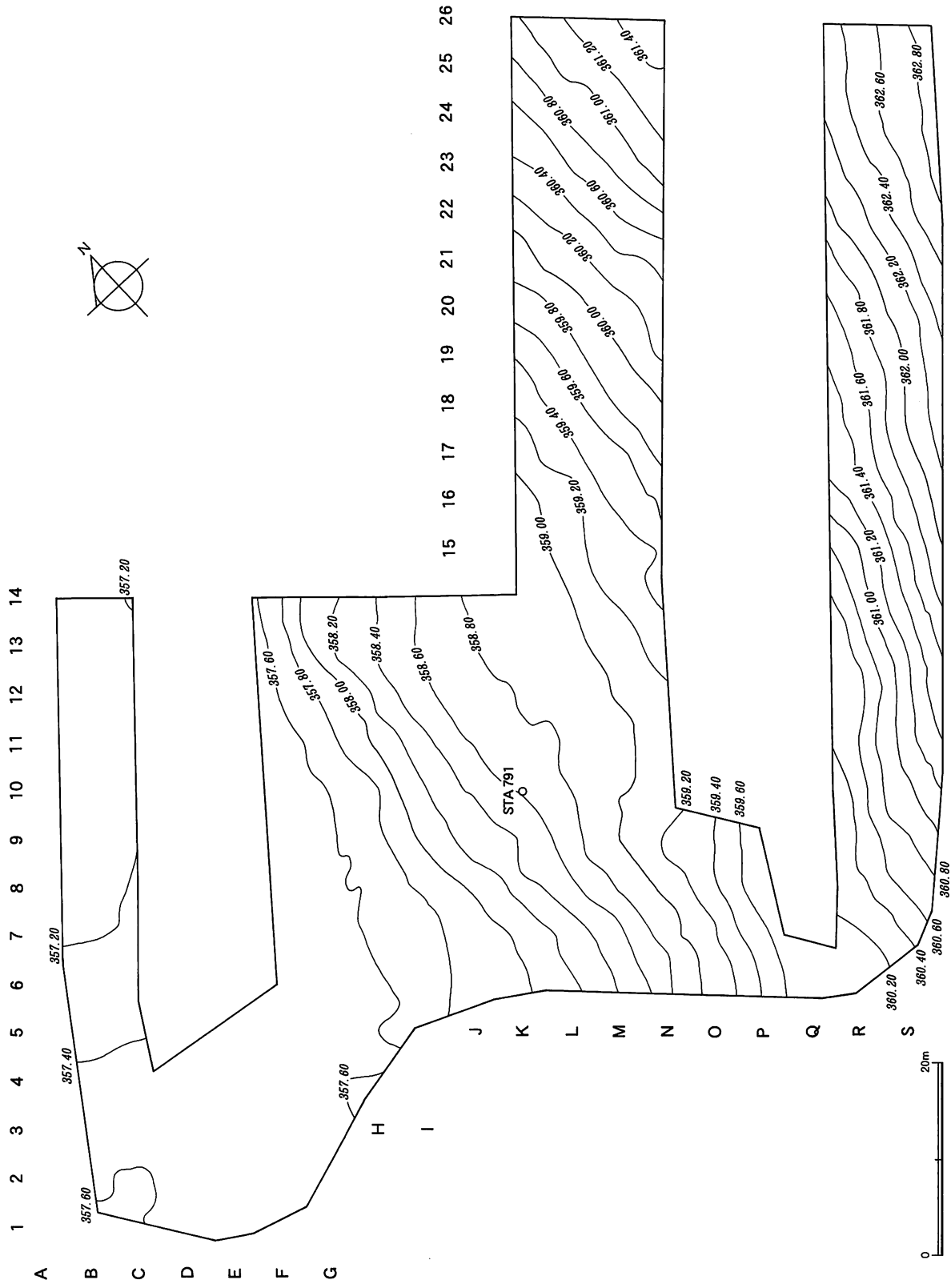


图7 調查最終面地形図

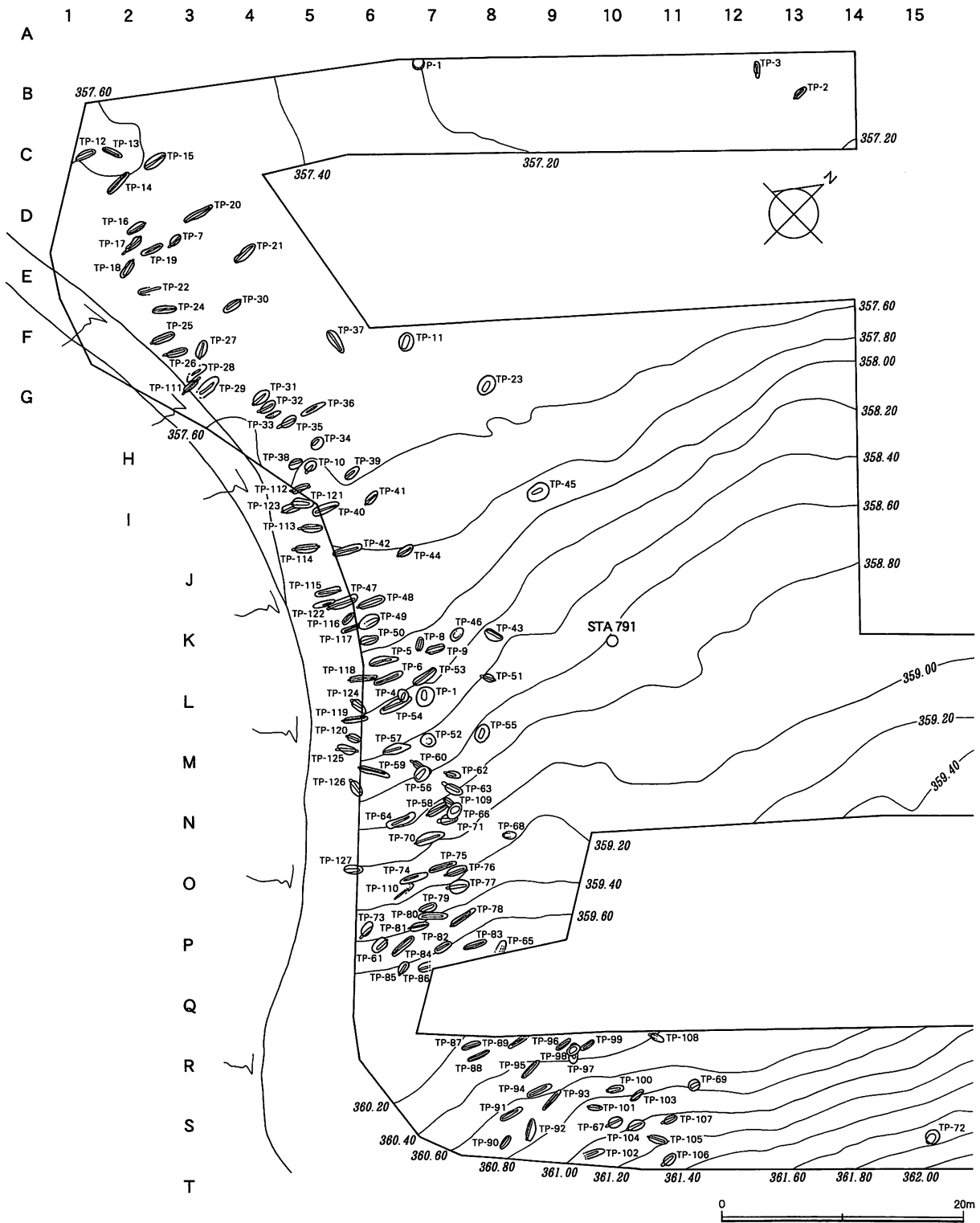


図8 遺構位置図

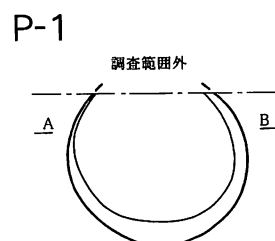
## Ⅱ 遺 構

### 1 概 要

検出した遺構は土坑1基、Tピット127基である。

Tピットのほとんどは山地から段丘の縁辺部に向かって傾斜する緩斜面から平坦面部分で検出した。段丘縁辺部斜面で検出したものもある。形態は長径1.5mから2mの溝状のものが多く、底面が幅広のものは全体の2割未満である。前者には1m程度の短いものから2.4mを超える狭長なものまで見られる。後者のうちの半数には杭跡があり、多いものでは6本検出した。これらのうち5基は杭跡が長軸に沿って2列に並列する。Tピット同士の重複は8例ある。長径の短いものが後に構築されている例が多い。覆土の観察によりほとんどは自然に埋没したものとみられるが、ある程度埋没した後、窪みにたまった黒色土の上がロームで覆われたのものもある。規模や分類を同じくするものには、数基が組になって配列の想定されるものもある。

構築時期については土器が出土していないことから明確にしない。しかし、当遺跡と同様の立地である夕張市十三哩遺跡や滝の上4遺跡、由仁町川端遺跡、厚真町厚幌1遺跡や上幌内モイ遺跡、日高山脈から海岸へと移動する経路にある鶴川町宮戸3遺跡、宮戸4遺跡、厚真町浜厚真3遺跡などで検出されたTピット群の構築時期から類推すると、縄文時代中期後半から後期初頭の可能性がある。(鎌田)



### 2 土 坑

1基のみ検出した。A6c・d区のIV層上面で暗褐色円形の落ち込みを確認した。北西の一部は調査範囲外にかかっている。

規模は確認面で0.95×0.87m、底面で0.85×0.78m、確認面からの深さは0.38mを測る。底面の長軸はN-87°-Wである。楕円形を呈する底面は平坦である。

ほぼ垂直に立ち上がる壁と、IV・V層との層界は明瞭であることから土坑と判断した。覆土は坑底の暗褐色土の上に粘性の強い黒褐色土が堆積する。暗褐色土と黒褐色土との層界は明瞭である。その上にレンズ状に堆積した褐色土を暗褐色土が覆っている。覆土3層に黒色土であるII層が混じることから、II層中位くらいから掘り込まれたものと推定する。遺物は出土していないため時期は不明であるが、Tピットと相前後する時期のものと考えられる。(鎌田)

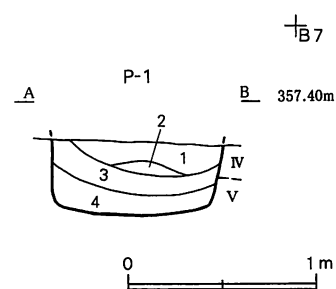


図9 P-1

表6 土坑覆土土層注記一覧

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
P-1	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	2	壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層
	4	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層

### 3 Tピット

Tピットは127基検出した。分類別の分布図は図11～14、各Tピットの図は図15～44、土層注記は表11、属性は表12に示した。ここではTピットの種類、地形、検出状況、覆土、形態・規模、杭跡、重複、分布・配列、時期について概括して述べる。

#### Tピットの種類

形態分類にあたっては、「苦東分類（大泉 1987）（①底面の長短比、②底面の長径、③杭穴の有無による分類）」によって分類した。図10の各分類の形態模式図を転載した。

A型：長短比が9以上のもの

A1型：長径2m以上（杭跡なし）

A2型：長径2m未満（杭跡なし、例外的に本遺跡ではA2型で杭をもつものが1基あった）

B型：長短比5～8のもの

B1型：杭跡なし

B2型：杭跡あり

C型：長短比4以下のもの

C1型：杭跡なし

C2型：杭跡あり（杭跡が1列のもの2列のものがある）

D型：長さ1m、幅0.2m前後の小規模なタイプで深さ0.5m以下のもの

なお、本遺跡ではB2型、D型に分類されたものはない。

表7 Tピット分類結果

分類	A型					B型		C型					合計
基数	74					31		22					127
%	58.3					24.4		17.3					100
細分	A1	推定A1	A2			B1	推定B1	C1	推定C1	C2			合計
			杭跡なし	杭跡あり	推定A2					杭跡1列	杭跡2列	推定杭跡2列	
基数	18	2	49	1	4	30	1	7	3	5	5	2	127
%	14.2	1.6	38.6	0.8	3.1	23.6	0.8	5.5	2.4	3.9	3.9	1.6	100
	15.7		42.5			24.4		7.9		9.4			

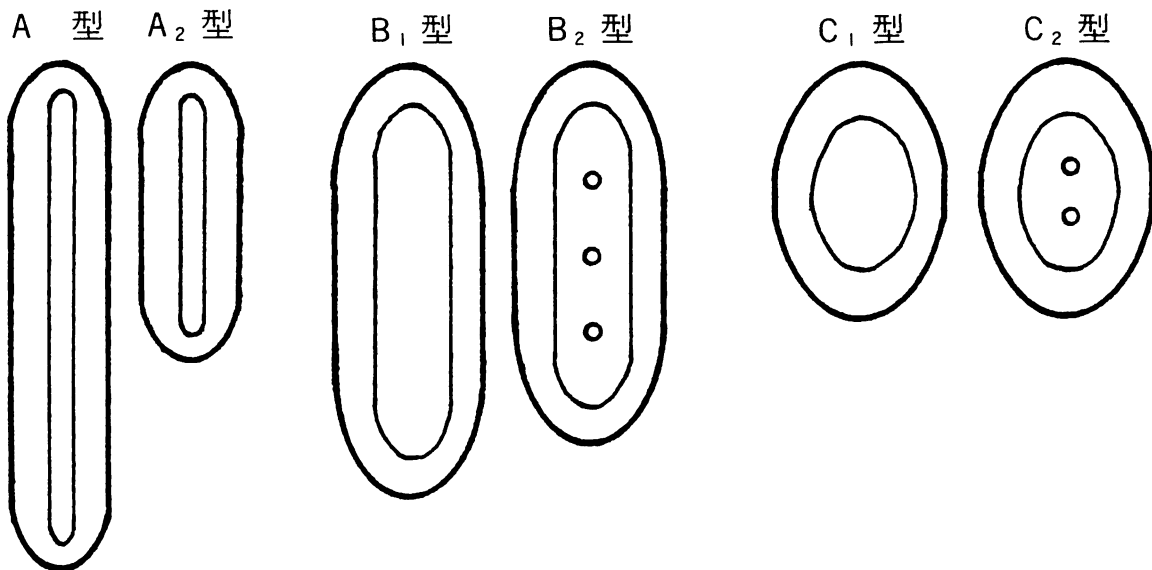


図10 Tピットの種類

## 地 形

遺跡は段丘縁辺部に立地することから、調査区域内の地形は緩斜面から平坦面、段丘斜面へと連続的に変化している（図7）。山地から段丘縁辺部、段丘崖、平地、川へと至る経路の中で地形の変換点の手前である段丘縁辺部において大規模なTピット群を検出した。

## 確認状況

本遺跡の調査では前述のように表土除去作業を二段階に分けて行なった。耕作土を除去した後、漸移層の上面でTピットの輪郭が確認されたが、この層を構築面とする遺構や遺物がなかったため、IV層上面まで重機により土砂を除去してから調査を行った。このため、いずれもIV層上面から調査を行っている。調査範囲境界の壁面などにかかるものでは漸移層であるIII層よりさらに上から掘り込まれている。I・II層は耕作により攪乱されているため明らかではないがII層中位～上位から掘り込まれたものと考えられる。

## 覆 土

覆土は基本的に短軸で観察した。自然に埋没したものがほとんどであるが、覆土上部に掘り上げ土と思われる土が入っているものが22基ある。

### (a) 自然埋没

自然埋没と判断した覆土は、上部と下部に大別される。下部ではII・III層とIV～VI層が混在、または交互に重なり合い底部は黒色土主体のものが多いが、壁面の崩落により褐色土で埋まっているものもある。堅密度（土層の固さ）は「しょう」、「軟」と判断されるものが多い。これらは開口部から枯葉などの土壌母材等の流入や壁面の崩落が繰り返された結果である。また、上部ではIV層の崩落により幅が広がる状況が観察される。この窪みに黒～暗褐色土が堆積している。堅密度は「堅」と判定されることが多い。

### (b) 掘り上げ土

覆土上部に掘り上げ土と思われる土が入っているものについて、表8で確認面の最上層覆土とその直下の覆土を比較した。覆土下部はいずれも自然埋没したものと同様である。ある程度埋まってから上部の窪みに掘り上げ土が入ったものと考えられる。掘り上げ土が入ったと考えられるTピットは、TP-9・16・32・38・47・48・49・54・63・86・105の11基である。これらは覆土上層にII・III層が堆積し、その上をIV・Vが覆っている。また、TP-67・74・77・80・86・94・113の7基はTP-86の上部をIV層上面まで掘り下げた状況に類似する。これらは表8に記載した隣接するTピットの構築の際に、その掘り上げ土が入ったものと考えられる。

## 形態・規模

### (a) 平面形

確認面の形態は底面と比べて幅広になっている。土層断面の観察から、壁面の崩落により広がったと考えられる。底面の形態は長短比5以上の溝状を呈するA型やB型が82.7%、長短比4以下の幅広のC型は17.3%である。

### (b) 断面形

短軸断面形には、①底面から垂直ぎみに立ち上がる「U」字形のもの（TP-117）、②底面から壁面の中ほどまで垂直に近く、上部で広がる「Y字状」のもの（TP-2・17など）、③底面から確認面まで直線的に広がる「V」字状のもの（TP-6・22など）、④壁の左右で異なる形態のもの（TP-12）などがある。また、「Y字状」のものの途中が崩落して大きいY字に小さいY字を重ねた形のもの（TP-16）もある。

表8 掘り上げ土の入ったTピット一覧

遺構名	分類	確認面の最上層覆土			直下の覆土			切り合い・隣接関係 (切る→/切られる←)(◇隣接遺構)
		土性	土色1	その他	土性	土色1	その他	
TP-9	B1	壤土	褐色	IV層	埴壤土	黒色	II>III層	◇TP-8・46・53
TP-16	A2	砂壤土	褐色	IV+V層、ローム +砂利のフタ?	埴壤土	暗褐色	III+IV層	◇TP-7・8・14・17・19・20
TP-32	A2	埴壤土	にぶい黄褐色	IV>III層	埴壤土	黒褐色	II>III層	◇TP-31・33
TP-38	B1	壤土	褐色	IV層	埴壤土	黒色	II層	◇TP-10・34・112
TP-47	A1	壤土	褐色	IV>V層	砂壤土	黒褐色	II+III層	→TP-122,◇TP-48・49・116・117
TP-48	A1	埴壤土	褐色	IV>III層、フタ?	埴壤土	黒褐色	II層	◇TP-47・49・116・117
TP-49	C1	砂壤土	褐色	V層	埴壤土	暗褐色	III層	→TP-117,◇TP-48・50・116
TP-50	A2	壤土	暗褐色	III層	埴壤土	黒褐色	II層	◇TP-5・8・49・117
TP-54	A1	埴壤土	褐色	IV>III層	埴壤土	黒褐色	II層	←TP-4,◇TP-1・6・53・119・124
TP-56	C2	壤土	暗褐色	IV>III層	埴壤土	黒褐色	II+III層	→TP-60,◇TP-58・62・63・66・71・109
TP-63	B1	壤土	褐色	IV層	埴壤土	暗褐色	III層	◇TP-56・58・62・66・71・109
TP-67	A2	壤土	暗褐色	IV>III層	埴壤土	黒色	II層	◇TP-101~104
TP-74	A2	壤土	褐色	IV層	埴壤土	黒褐色	III>II層	◇TP-75・76・79・110
TP-77	B1	壤土	褐色	IV>III層	埴壤土	黒褐色	II+III層	◇TP-76・78・79・80
TP-78	A2	壤土	褐色	IV層	埴壤土	暗褐色	II>III層	◇TP-80~83
TP-80	A2	壤土	黄褐色	IV層	埴壤土	暗褐色	II>III層	◇TP-78・79・81
TP-86	A2	壤土・砂壤土	褐色	IV+V層、ローム	埴壤土	黒褐色	II+III層	◇TP-82~85
TP-89	A2	壤土	褐色	IV層	埴壤土	黒褐色	II+III層	◇TP-87・88・95・96
TP-94	A2	壤土	暗褐色	IV>III層	埴壤土	黒褐色	II層	◇TP-91~93・95
TP-104	B1	埴壤土	暗褐色	III>IV層	埴壤土	黒褐色	II層	◇TP-67・102・103・105・107
TP-105	A2	壤土	褐色	IV層、ロームのフタ	埴壤土	黒褐色	II層	◇TP-104・106・107
TP-113	A2	壤土	褐色	IV層	埴壤土	黒褐色	II>III層	◇TP-40・42・114・121・123

長軸断面形には、①両端がオーバーハングするもの5基(3.9%)、②片端がオーバーハングするもの68基(53.5%)、③オーバーハングしないもの49基(38.6%)がある。また5基(3.9%)は不明である。①にはTP-24・111・112・114・125がある。TP-111はA1型、ほかはA2型である。②にはA型のうちの52.7%に当たる39基、B型のうち71%に当たる22基、C型のうち31%に当たる7基がある。A型では59.5%に当たる44基、B型では71%に当たる22基、C型では31.8%に当たる7基に、両端あるいは片端にオーバーハングが見られる。片端がオーバーハングするものでは段丘の崖側がオーバーハングしているものが多い。

## (c) 深さ

確認面からの深さは1m内外のものが最も多い。浅いものではTP-108(B1型)やTP-127(C1型)の0.47m、深いものではTP-79(B1型)やTP-86(A2型)の1.46mである。

## 杭 跡

TP-64(A2型)、TP-1・4・11・23・45・46・55・56・66・69・72・98(C2型)の13基で検出した。

## (a) A2型

TP-64は底面長径1.57m、短径0.11m、長短比14の幅狭なものである。長軸上の北寄りに1本だけ検出した。

## (b) C2型

C型は22基検出したが、そのうち12基は杭跡のあるC2型である。C2型では杭跡は1~6本検出しており、このうちTP-11・23・45・46・55の5基では長軸に沿って2列に並ぶ。またTP-69は3本の杭跡が底面にL字形に並ぶ。近隣では類例がみられないため表12の「重複等」の欄に「占冠タイプ」と表示した。

## 重 複

重複は8例ある。各々の重複関係は表9に示した。全て異なる分類のTピットの重複である。

A 2型 (先)・C 2型 (後) の重複は2件ある。A 1型 (先)・A 2型 (後)、A 1型 (先)・C 1型 (後)、A 1型 (先)・C 2型 (後)、A 2型 (先)・A 1型 (後)、B 1型 (先)・C 2型 (後)、C 1型 (先)・C 2型 (後) の先後関係は各1件である。

A 1型とA 2型ではA 1型が先に構築されている例、A 2型が先に構築されている例がある。それ以外では、長軸の短いC型が後から構築されている。

表9 Tピット重複一覧

先		後	
遺構番号	分類	遺構番号	分類
TP-54	A 1	TP-4	C 2
TP-58	A 1	TP-109	(A 2)
TP-60	A 2	TP-56	C 2
TP-71	B 1	TP-66	C 2
TP-97	C 1	TP-98	C 2
TP-109	(A 2)	TP-66	C 2
TP-117	(A 1)	TP-49	(C 1)
TP-122	A 2	TP-47	A 1

## 分布・配列

図11~14に分類ごとのTピット分布図を示した。形態・規模や長軸方向を同じくするTピット間には配列の想定されるものもある。A型とB型に分類されるものはTP-2・3を除き、段丘縁辺部の崖の落ち際から30m以内に、等高線と直交して列をなす。分布域はA型が崖寄り、B型はやや山寄りである。C型のうちC 1型は前2者と分布域が重複している。C 2型では前2者と分布域が重複しているもの (TP-1・4・46・55・56・66・69・98) と、前2者よりも山側に列をなしているもの (TP-11・23・45・72) がある。

## 時 期

本遺跡では、Tピットの構築時期を特定する資料は得られていない。鹿は季節的に大移動をする習性があり、同様の立地である日高山脈から平地・海岸への経路に所在するTピット群が検出されたいくつかの遺跡の調査結果を参考にしてみる。表10ではこれらの遺跡で検出されたTピット分類別の基数と%を密度の順に並べている。報告書によっては分類の基準が異なる場合があるため、全て「苦東分類」に準拠して分類し直した。

夕張市滝の上4遺跡 (谷岡ほか 1996) では、Tピットの掘り上げ土に含まれるEn-aパミスがV層中にかなり多く含まれていることから、Tピットの構築面をV層中と推察している。同層出土の土器が北筒式、余市式土器が主であったことから、Tピットの構築時期は縄文時代中期後半~後期初頭と考えられている。

由仁町川端遺跡 (土肥・森本 1996) では一括で検出された縄文時代後期末葉の土器が下から検出されたBP-3の埋土と不連続であったことと、Tピット構築時に排出された土砂による盛土の上から縄文時代後期前葉の土器片が出土していることから後期前葉以前と考えられており、BP-1の焼土から採取された炭化物の年代測定結果 (3,590±100/years BP) から縄文時代中期末~後期初頭にかけると考えられている。

厚真町厚幌1遺跡 (乾・小野 2004) ではTP-57 (A 1型) とTP-60 (A 2型) が古手の余市式土器を伴う住居跡VH-02と切り合い関係にあり、TP-60はVH-02より古く、TP-57はVH-02より新しいとされている。また、地割れ跡により歪んだTP-52 (B 2型) と地すべり堆積土を被覆するTP-39 (C 2型) の例では、地すべりの発生は補正年代で約4,600年B.P以降から約3,000年B.P (Ta-c) 以前までの間とされている。

厚真町上幌内モイ遺跡 (乾・小野ほか 2006) では縄文時代早期後葉の中茶路式期とされる住居跡VH-04がTP-18 (A 1型) に切られている。TP-18覆土1層から余市式土器がまとまって出土し



ていることから、縄文時代早期後葉～後期初頭と時期が限定された。

鶴川町宮戸3遺跡（(財)北海道埋蔵文化財センター、以下道埋文と略、2001）、宮戸4遺跡（道埋文 2002・03・04）、厚真町浜厚真3遺跡（道埋文 2003・04）では苫小牧東部工業地帯の遺跡群（佐藤・工藤ほか 1986・87・90・92・95・97、宮夫 2002、宮夫・工藤ほか 2002a・b）での調査結果から、Tピットの構築時期を縄文時代中期後半～後期初頭と類推している。

以上から本遺跡で検出したTピットの構築時期の可能性のひとつとして、縄文時代中期後半～後期初頭があげられる。  
(鎌田)

表10 遺跡別Tピット一覧

市町村名 (調査時)	遺跡名	立地	標高 (m)	調査 面積 (㎡)*a	検出数 (基) (基)*b	密度 a/b ㎡/基	分 類										合計	文献
							A1	A2	B1	B2	B	C1	C2	C	D	不明		
厚真町	浜厚真3	台地～ 低地	7～12	3,804	187	20.3	37	22	74	3		1	9	1	0	40	187	1・2
							20	12	40	2		1	5	1		21	100	
静内町	駒場7	段丘	20～29	6,300	175	36	166	3			4			2			175	3
							95	2			2			1			100	
占冠村	占冠原 野1	段丘	約360	4,702	127	37	19	55	31			10	12				127	4
							15	43	24			8	9				100	
夕張市	滝の上 4	段丘	133～ 146	9,703	163	59.5	59	67	19	8				1		9	163	5・6
							36	41	12	5				1		6	100	
由仁町	川端	台地	約110	8,380	110	76.2	74	19	4	7		2	2			2	110	7
							67	17	4	6		2	2			2	100	
夕張市	十三哩	段丘	153～ 156	4,060	53	76.6	19	10	12					8		3	52	6
							37	19	23					15		6	100	
厚真町	厚真7	台地	15～19	7,185	79	90.9	27	10	10			10	1		21		79	8
							34	13	13			13	1		27		100	
厚真町	厚幌1	段丘	56～63	9,360	95	98.5	29	5	13			13	35				95	9
							31	5	14			14	37				100	
鶴川町	宮戸3	台地	20～30	3,600	32	112.5	12	3	13	1		3					32	2・10
							38	9	41	3		9					100	
苫小牧市	静川14	台地	12～ 18.5	15,608	120	130.1	41	13	23	8		12	23				120	11
							34	11	19	7		10	19				100	
厚真町	上幌内 モイ	段丘	61～73	8,460	40	211.5	15	4	6	1		4	9			1	40	12
							38	10	15	3		10	23			3	100	
鶴川町	宮戸4	台地	20～30	16,410	57	287.9	26	5	14	1		7	1		1	2	57	2・13・ 14
							46	9	25	2		12	2		2	4	100	
苫小牧市	静川8	台地	13～ 19.5	15,660	50	313.2	25	1	6	3					13		50	15
							50	2	12	6			4		26		100	

(注1) 分類は「苫東分類」に拠った。分類欄・合計欄の上段は基数、下段は%（四捨五入して整数とした）。

(注2) 駒場7遺跡では杭跡の有無不明。川端遺跡の調査面積は川端2遺跡との合計。

(文献)

- 1 (財)北海道埋蔵文化財センター 2003 『厚真町 浜厚真3遺跡』(北埋調報第186集)
- 2 (財)北海道埋蔵文化財センター 2004 『鶴川町 米原4遺跡(3)・宮戸4遺跡(3)』(北埋調報第202集)
- 3 古原敏弘 1982 『駒場7遺跡における考古学的調査』静内町教育委員会
- 4 (財)北海道埋蔵文化財センター 2007 『占冠村 占冠原野1遺跡』(北埋調報第239集)(本書)
- 5 谷岡康孝ほか 1996 『夕張市 十三哩遺跡・滝の上4遺跡』北海道文化財保護協会
- 6 谷岡康孝ほか 1997 『夕張市 十三哩遺跡(2)・滝の上4遺跡(2)』北海道文化財保護協会
- 7 土肥研晶・森本 薫 1996 『川端遺跡・川端2遺跡』由仁町教育委員会
- 8 佐藤一夫・工藤肇ほか 1987 『苫小牧東部工業地帯の遺跡群Ⅱ』苫小牧市教育委員会
- 9 乾 哲也・小野哲也 2004 『厚幌1遺跡』北海道厚真町教育委員会
- 10 (財)北海道埋蔵文化財センター 2001 『鶴川町 米原3遺跡・宮戸3遺跡・米原4遺跡』(北埋調報第153集)
- 11 宮夫康夫 2002 『苫小牧東部工業地帯の遺跡群Ⅵ』苫小牧市教育委員会
- 12 乾 哲也・小野哲也ほか 2006 『上幌内モイ遺跡(1)』北海道厚真町教育委員会
- 13 (財)北海道埋蔵文化財センター 2002 『鶴川町 宮戸4遺跡』(北埋調報第168集)
- 14 (財)北海道埋蔵文化財センター 2003 『鶴川町 米原4遺跡(2)・宮戸4遺跡(2)』(北埋調報第185集)
- 15 佐藤一夫・工藤肇ほか 1990 『苫小牧東部工業地帯の遺跡群Ⅲ』苫小牧市教育委員会

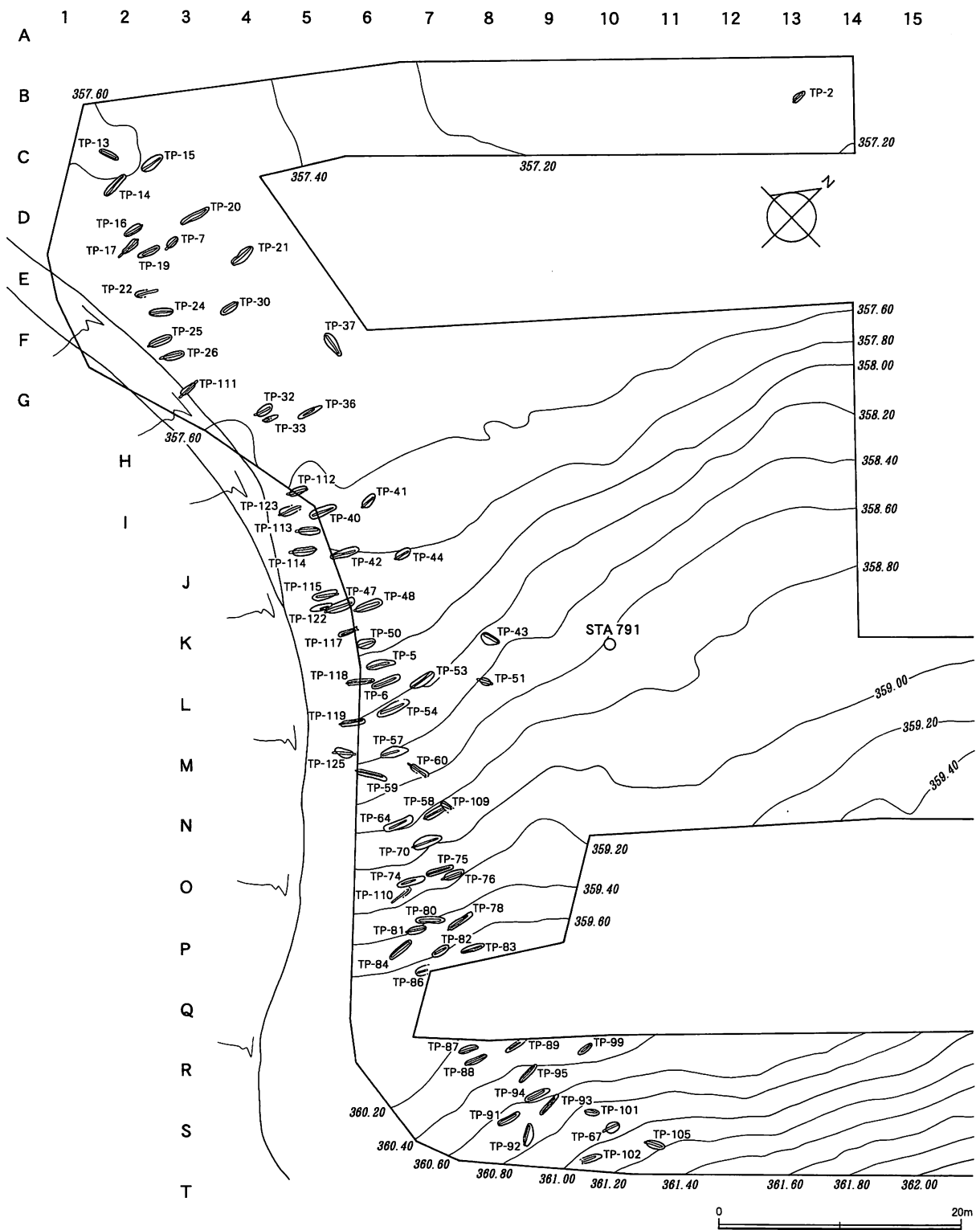


図11 A型Tピット分布図

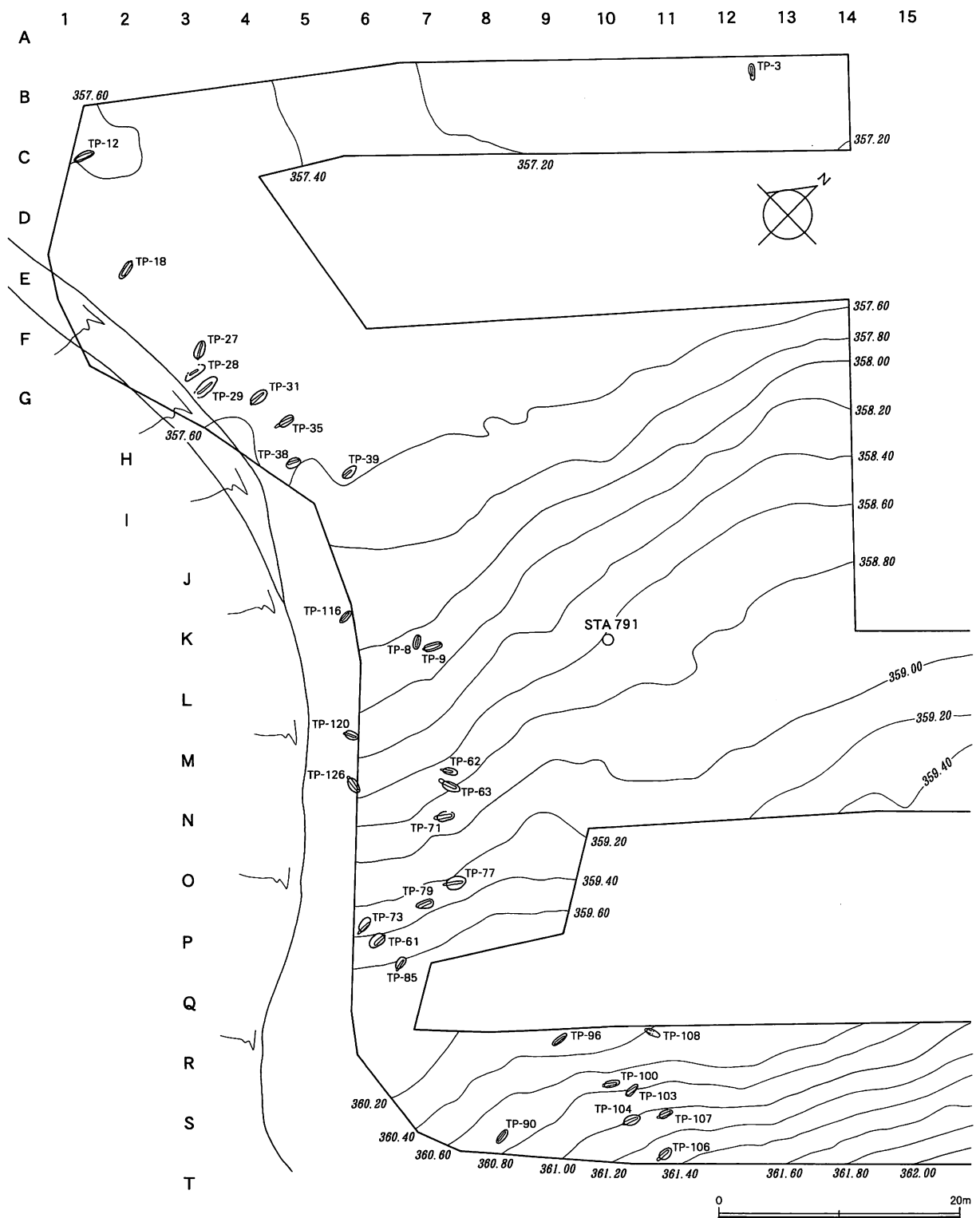


図12 B型Tピット分布図

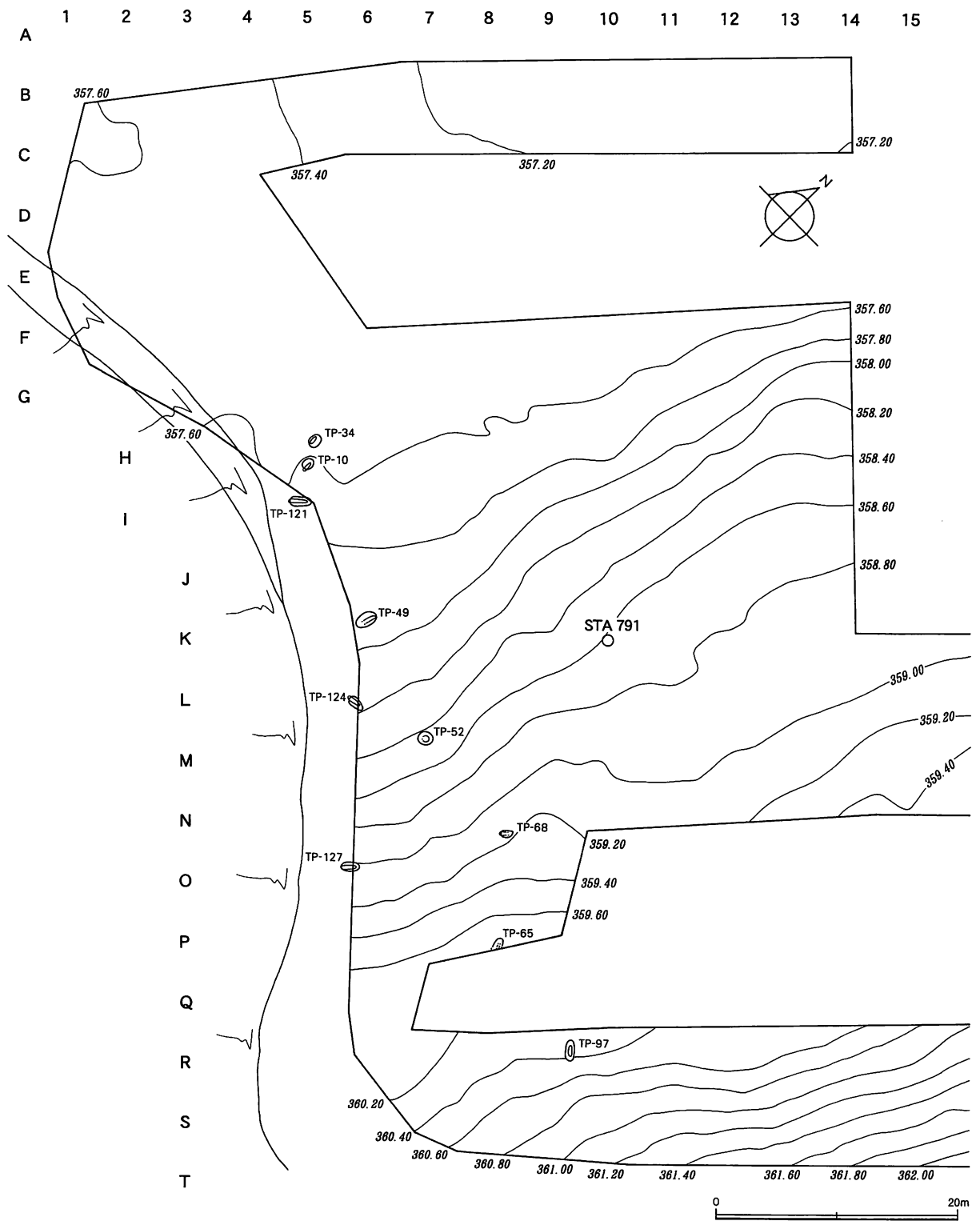


図13 C1型Tピット分布図

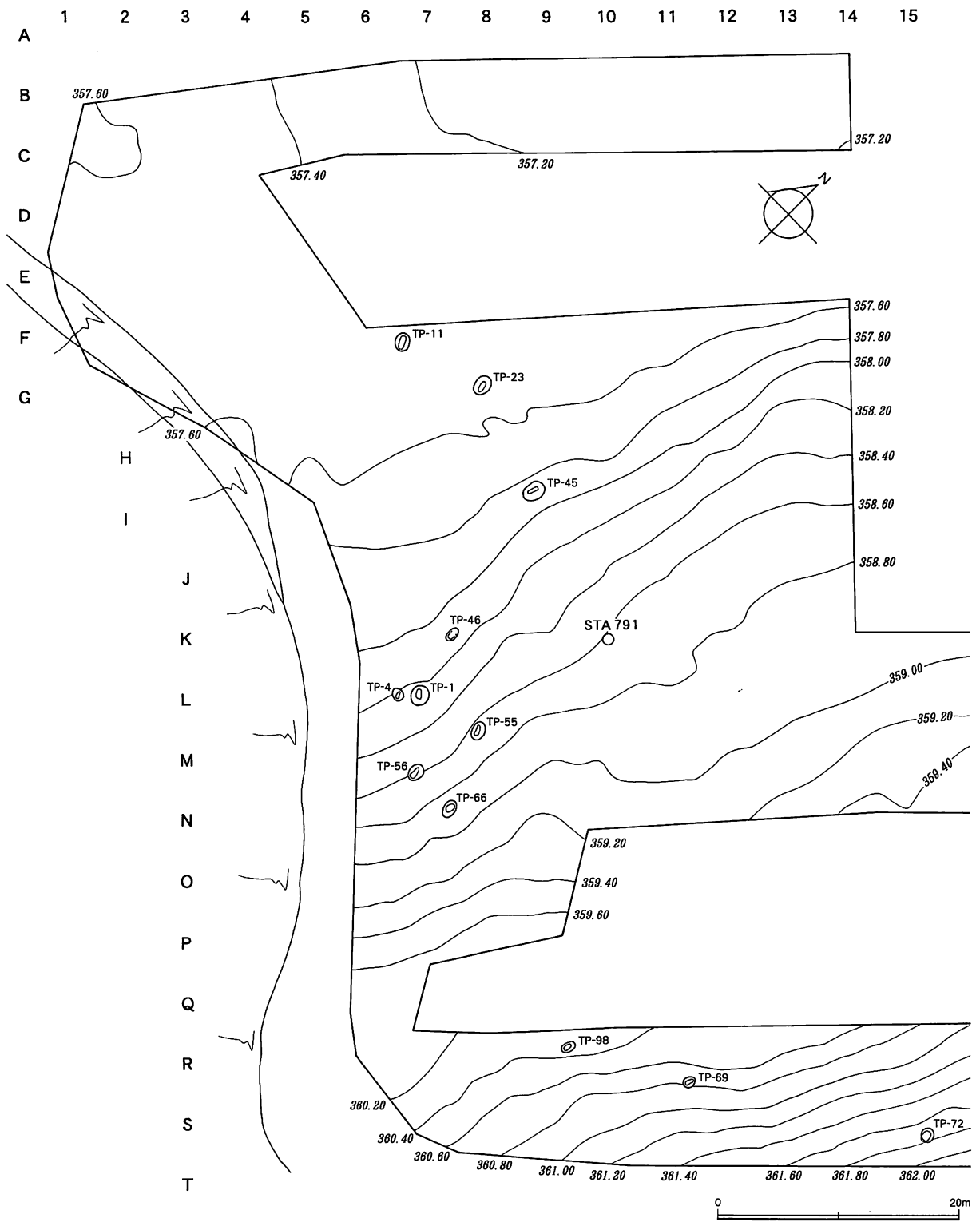


図14 C2型Tピット分布図

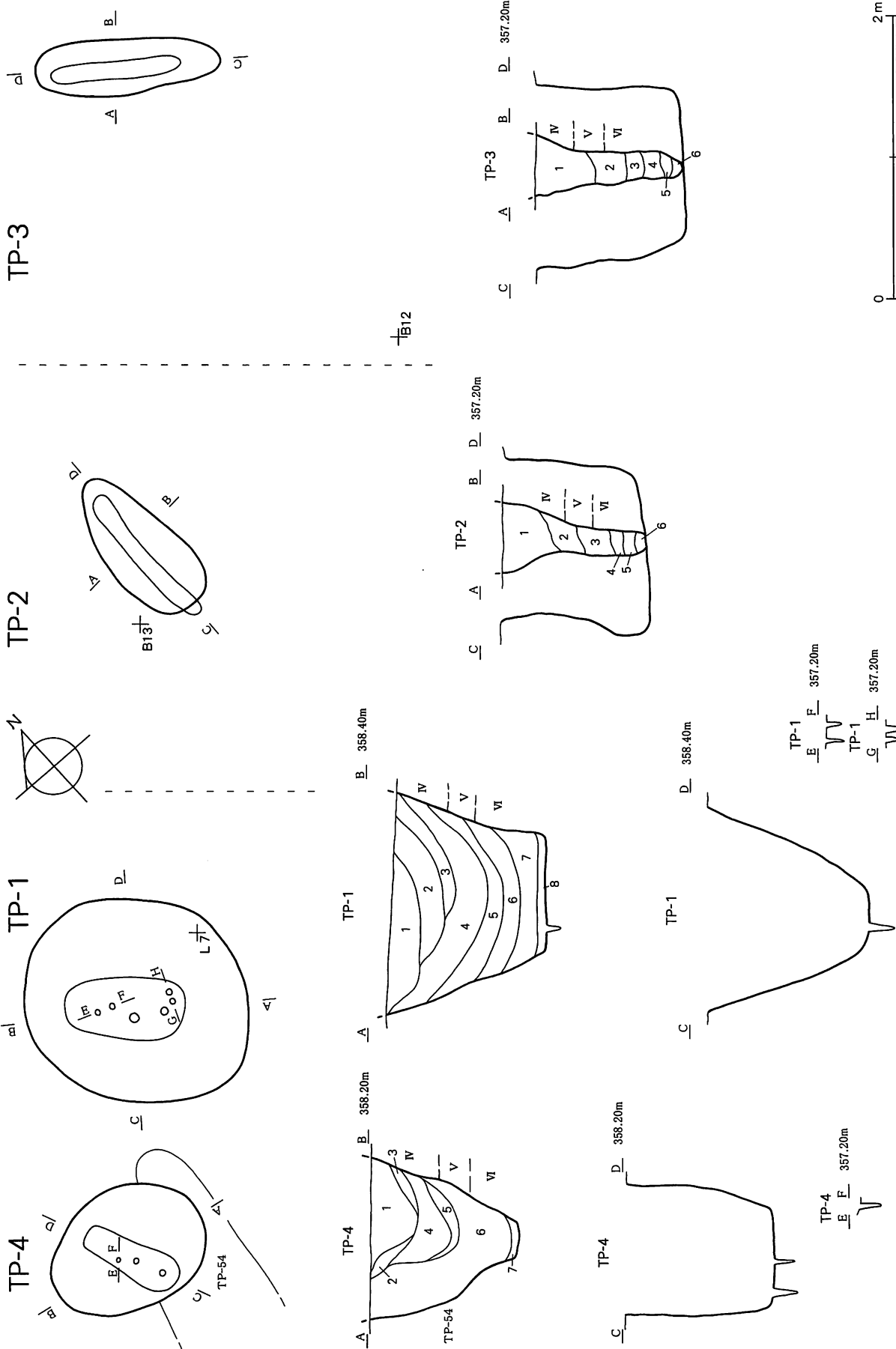


图15 TP-1~4

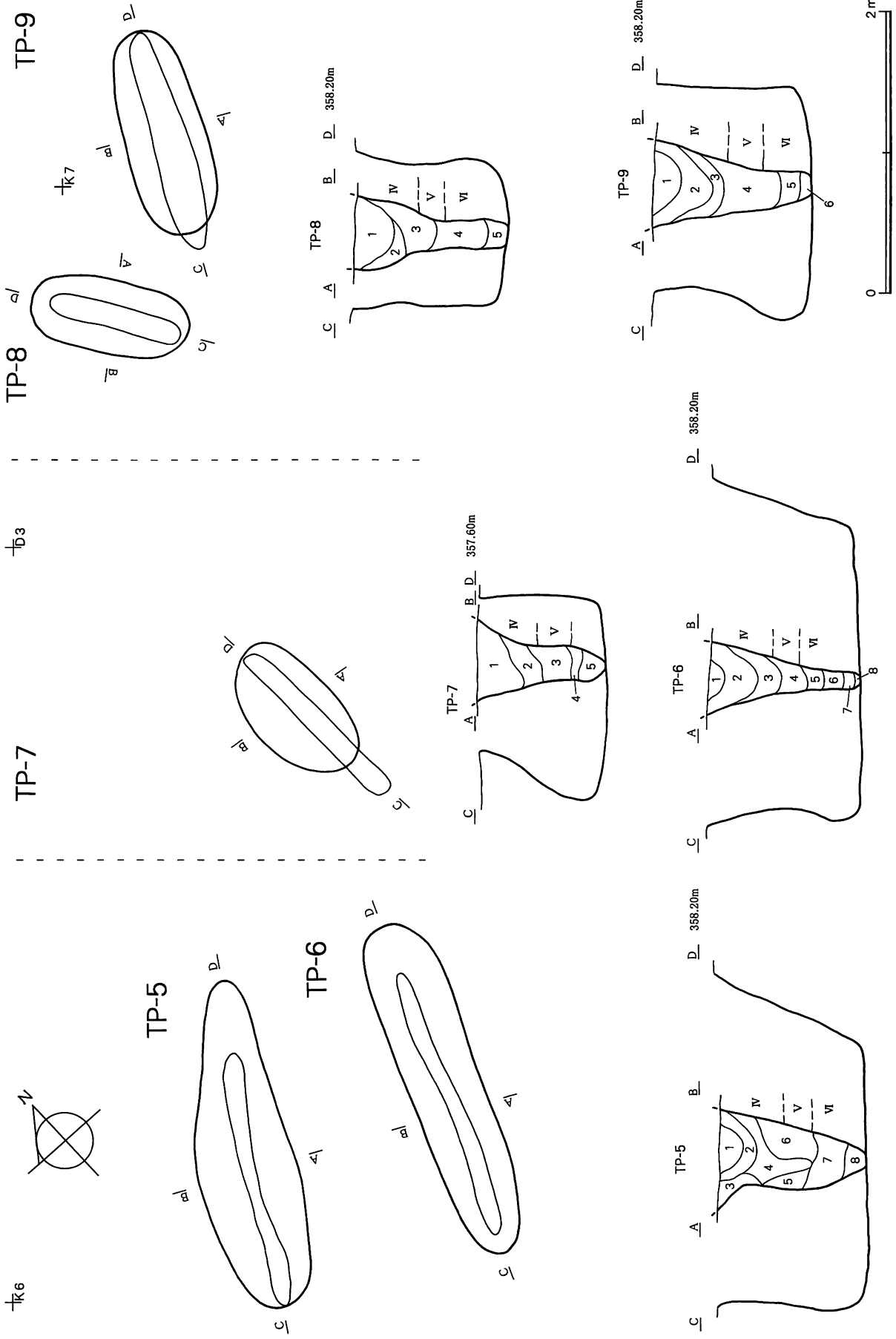
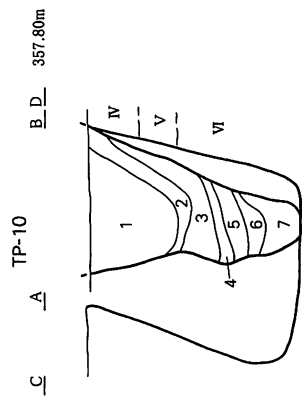
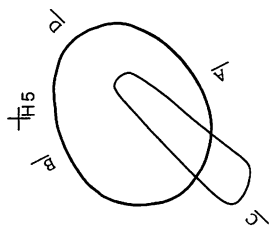
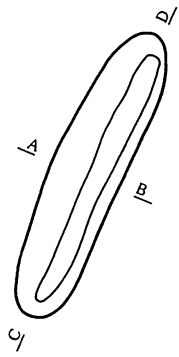
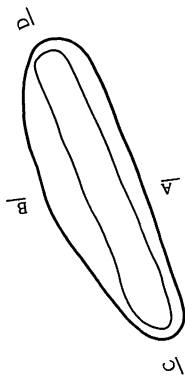


図16 TP-5~9

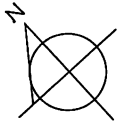
TP-10



TP-12



TP-13



±62

TP-11

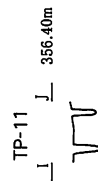
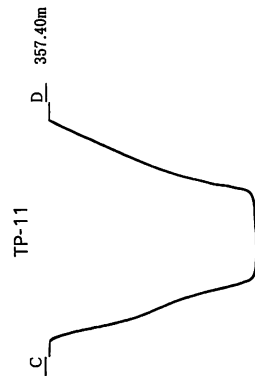
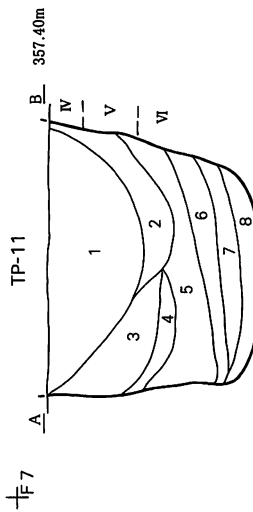
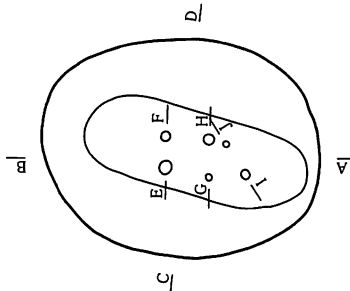


图17 TP-10~13





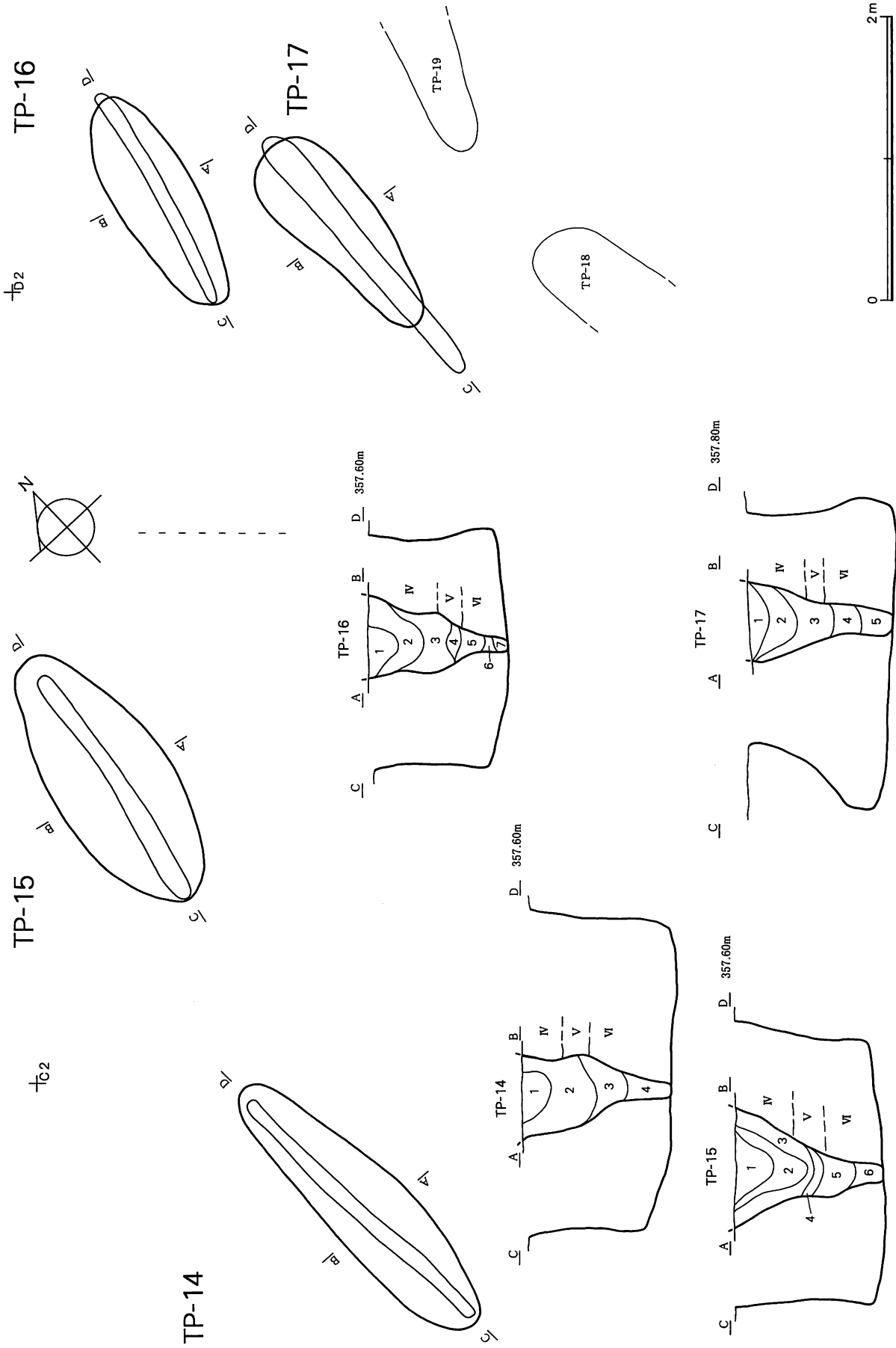


図18 TP-14~17

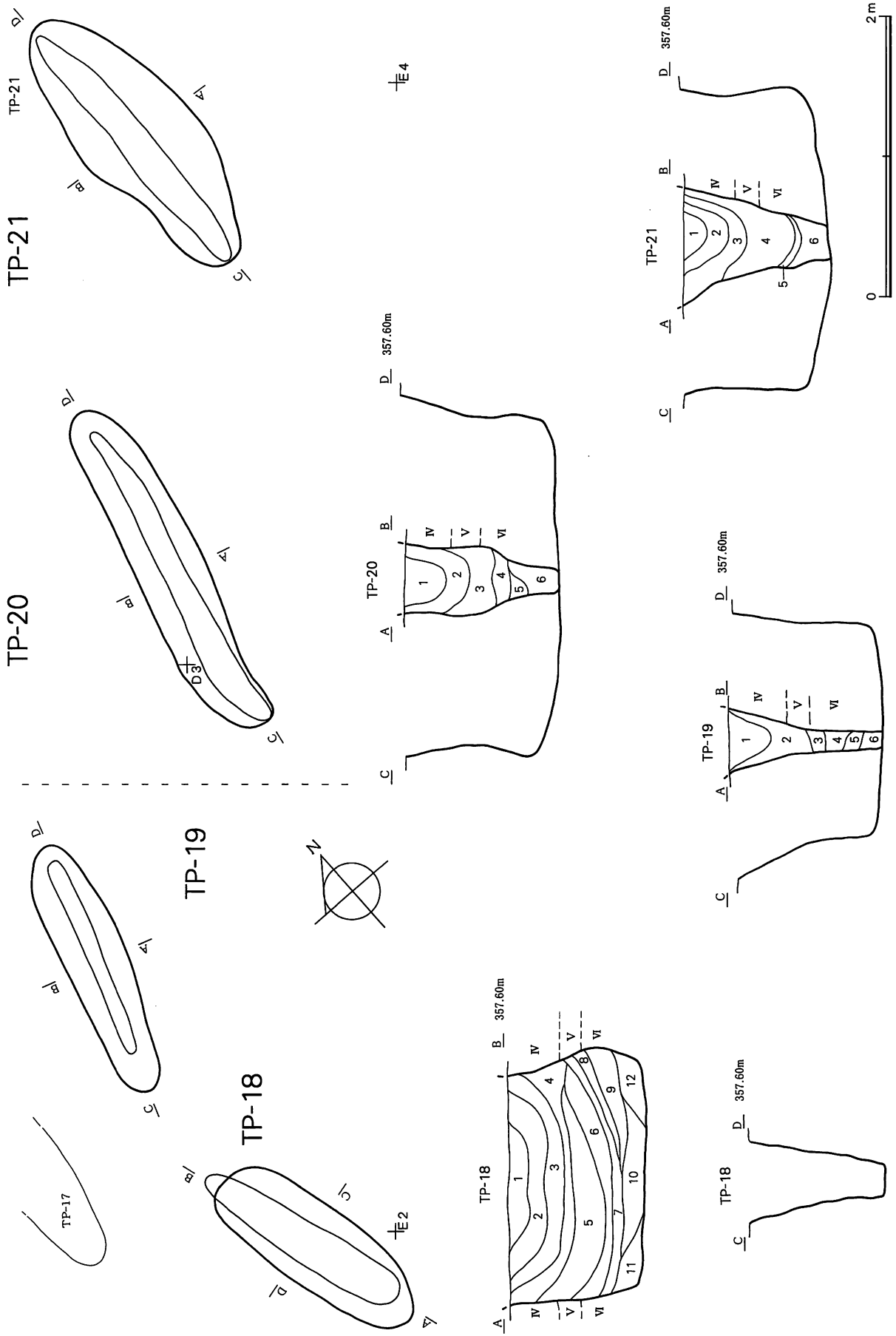


图19 TP-18~21

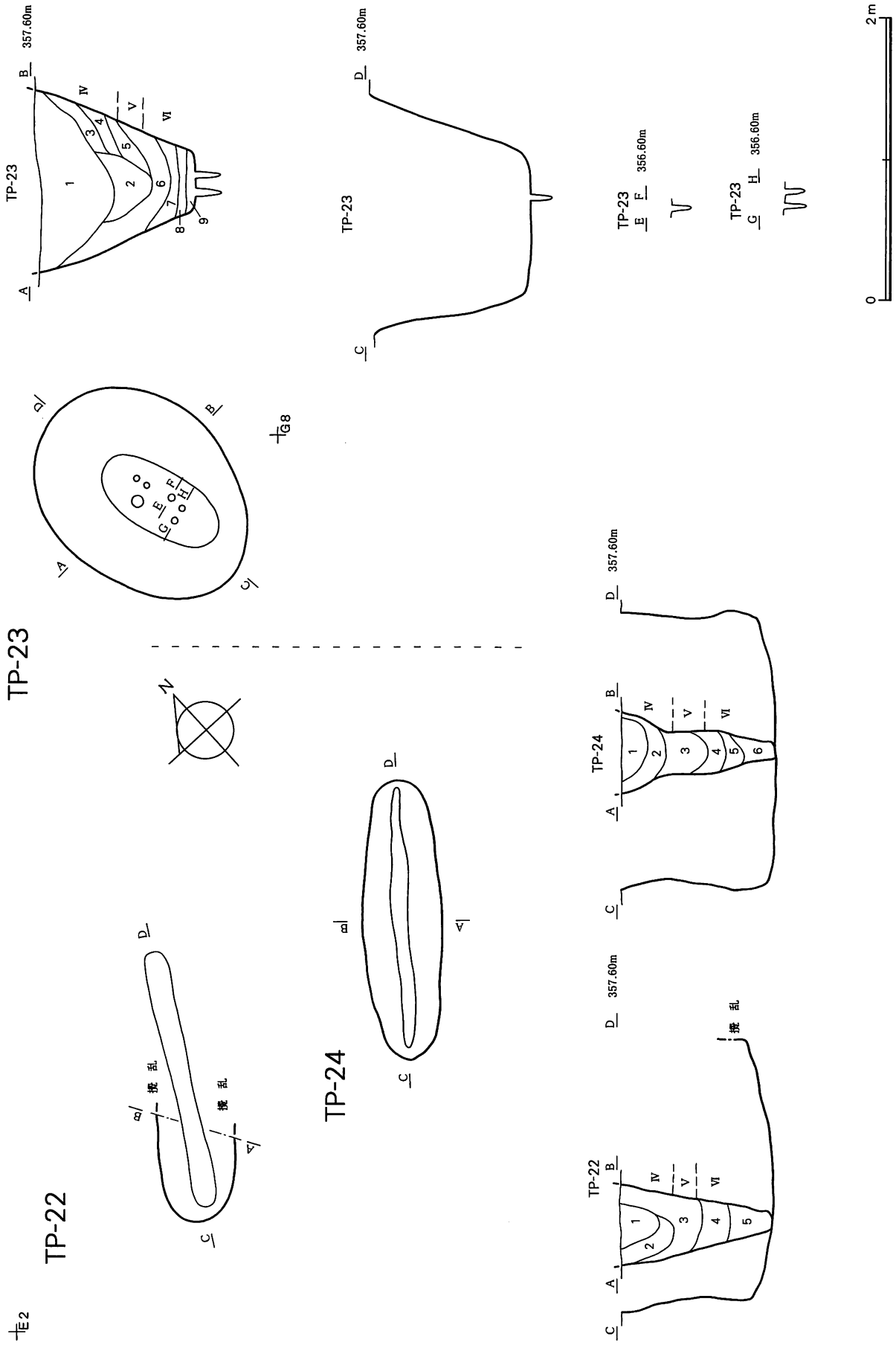
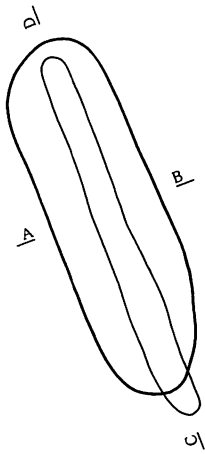


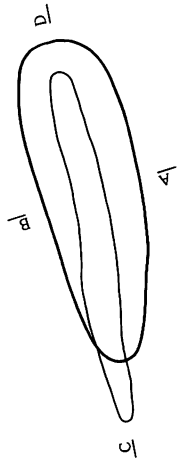
図20 TP-22~24

TP-25

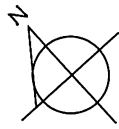


±F3

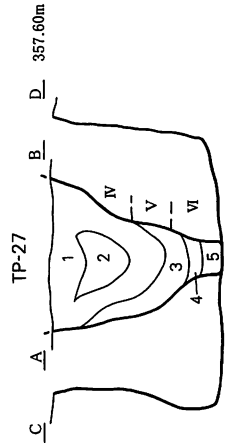
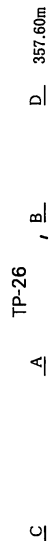
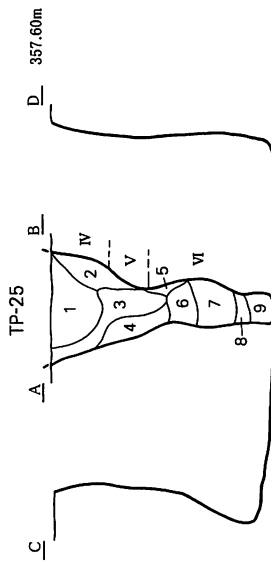
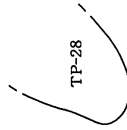
TP-26



TP-27

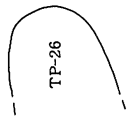
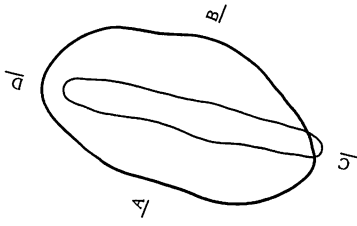


TP-28



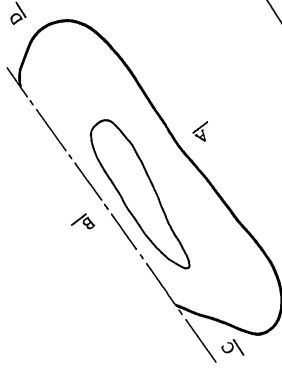
±F3

TP-27



TP-26

TP-28



TP-29

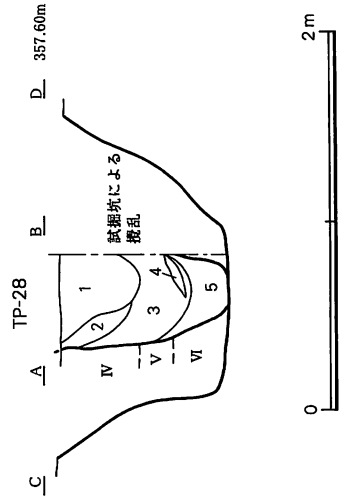
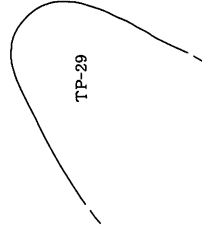


図21 TP-25~28

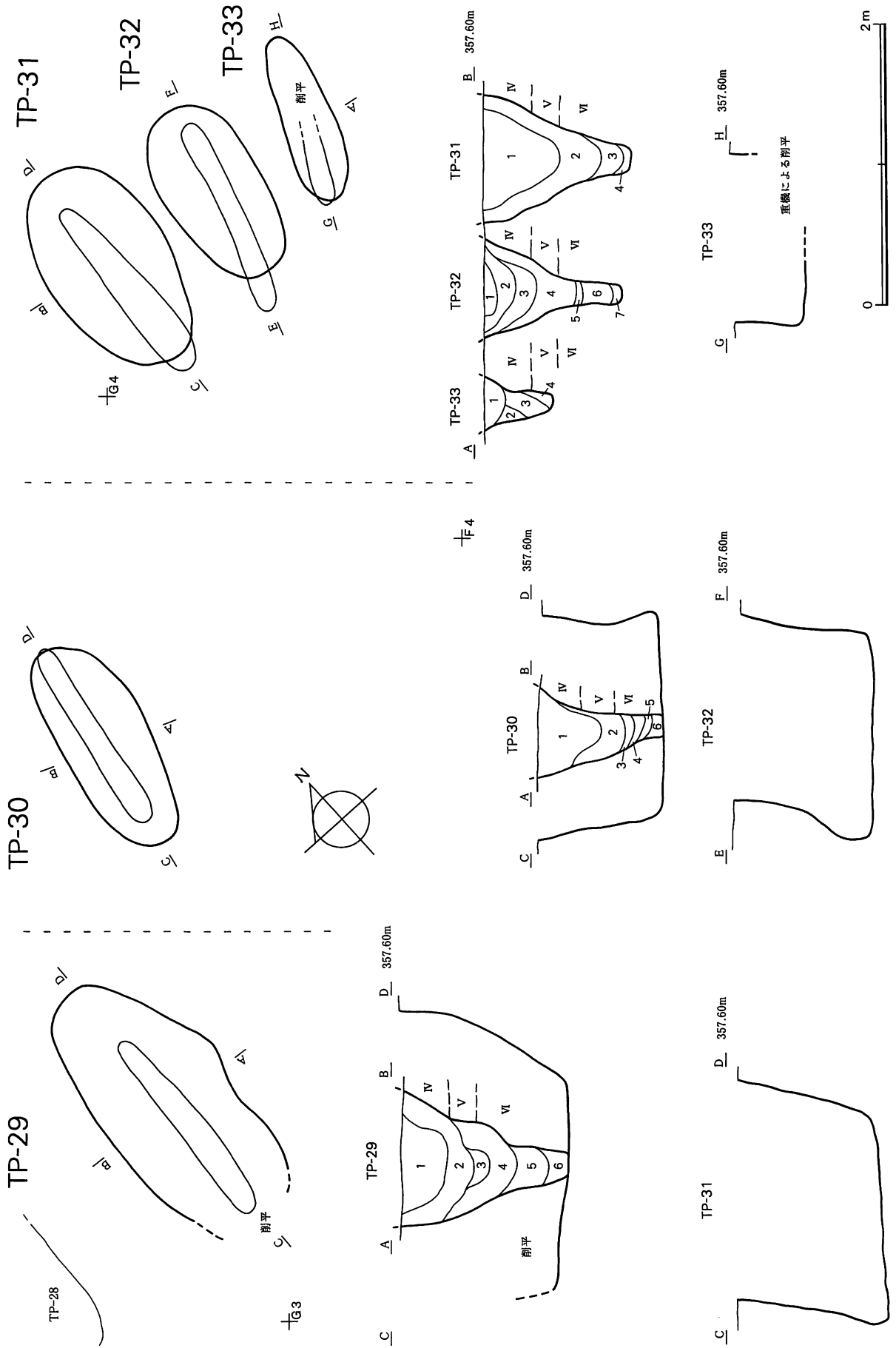
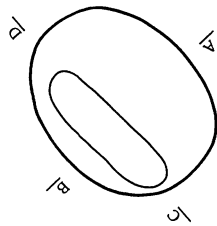


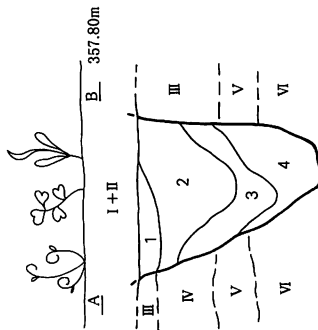
図22 TP-29~33

TP-34



±H5

TP-34

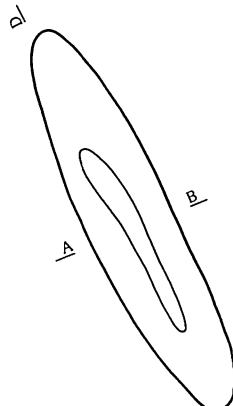


TP-34

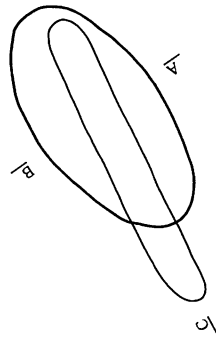
D 357.80m



TP-36

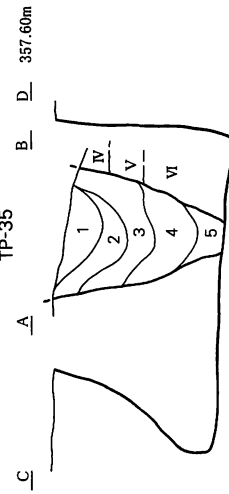


TP-35



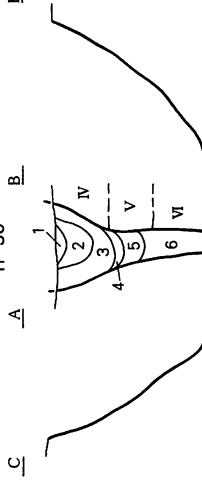
±F5

TP-35

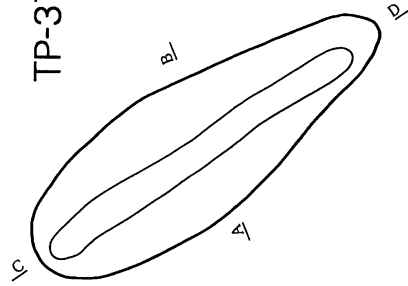


TP-36

D 357.60m



TP-37



TP-37

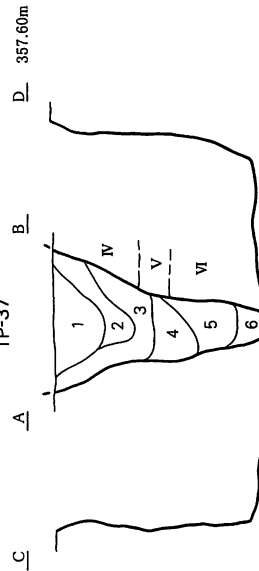
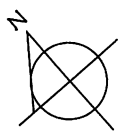
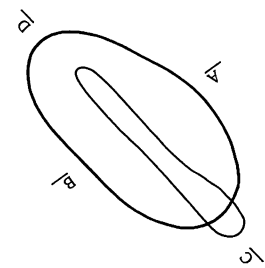
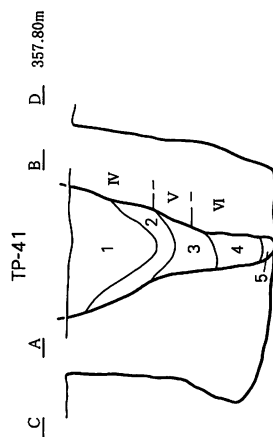


图23 TP-34~37

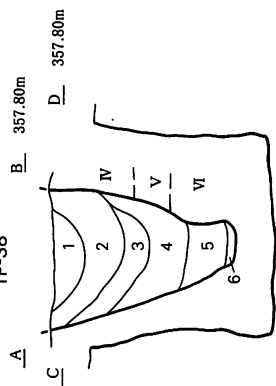
TP-41



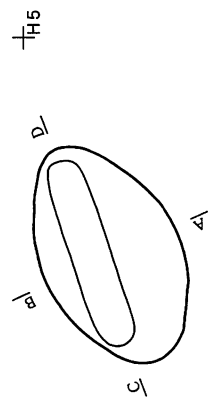
†H6



TP-38

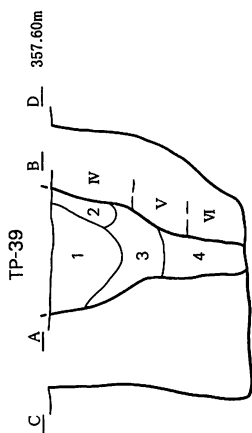


TP-38

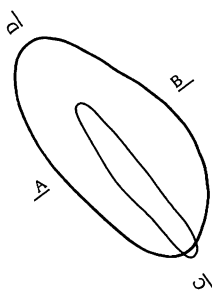


†H5

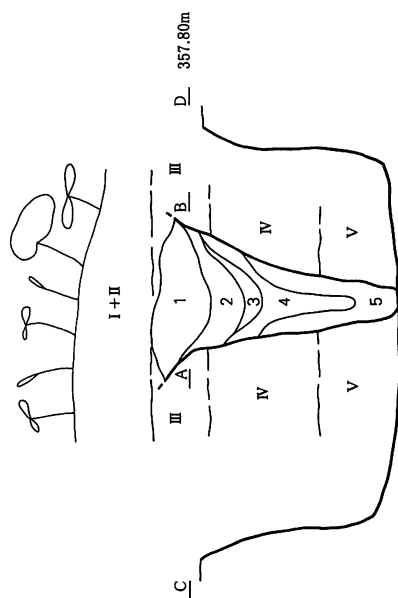
TP-39



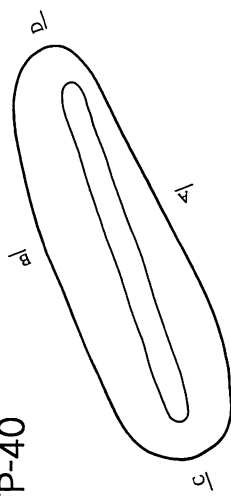
†H6



TP-40



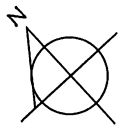
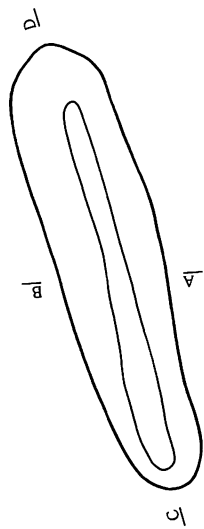
TP-40



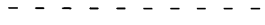
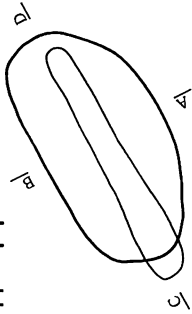
†H5

図24 TP-38~41

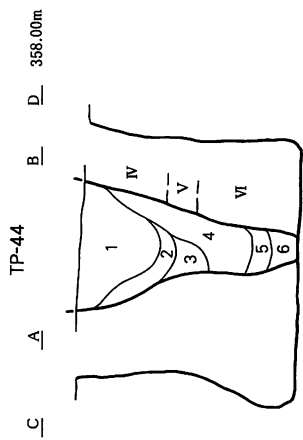
TP-42



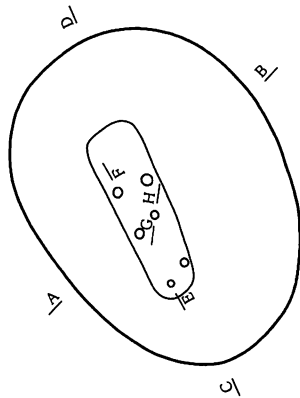
TP-44



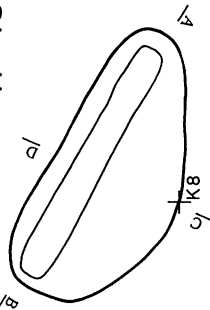
TP-44



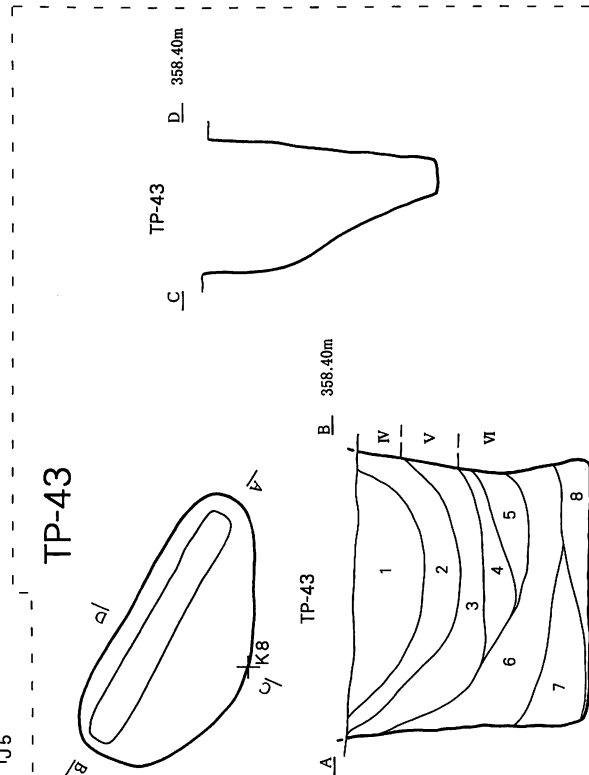
TP-45



TP-43



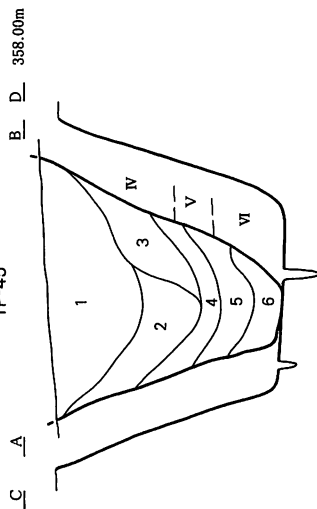
TP-43



TP-43

TP-43

TP-45



TP-45



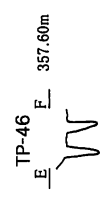
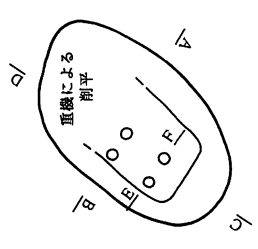
TP-45



图25 TP-42~45

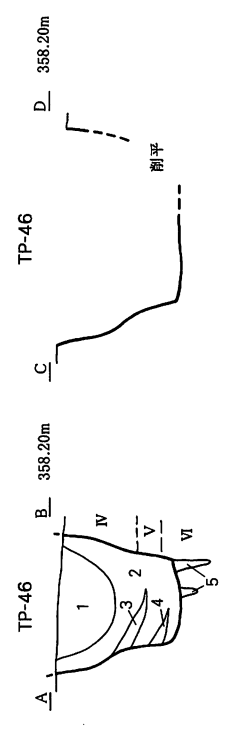


TP-46



TP-46 E 357.60m

1/7

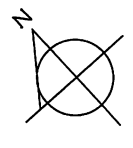


TP-46

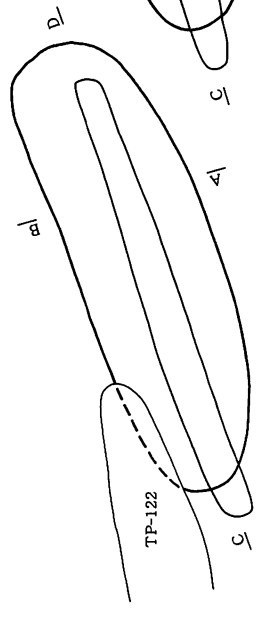
B 358.20m

D 358.20m

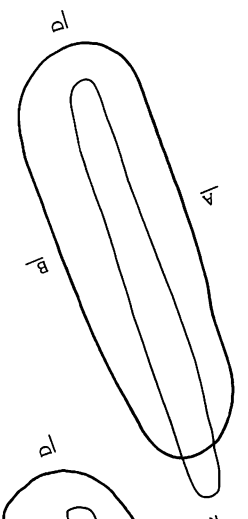
1/6



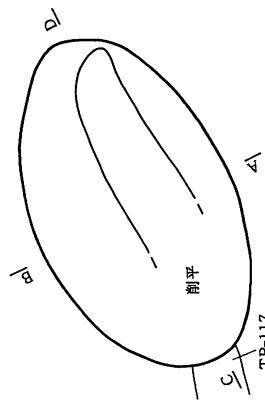
TP-47



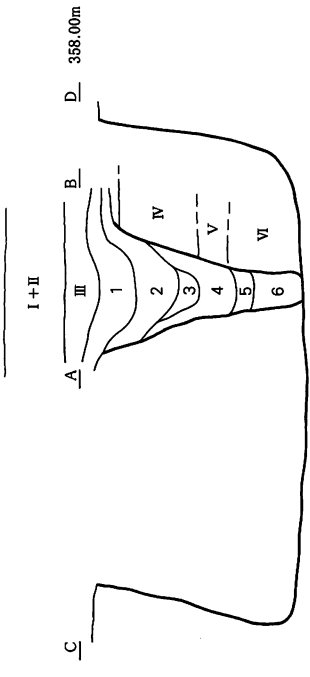
TP-48



TP-49

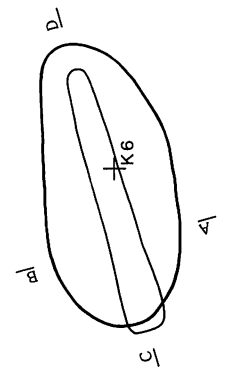


TP-47

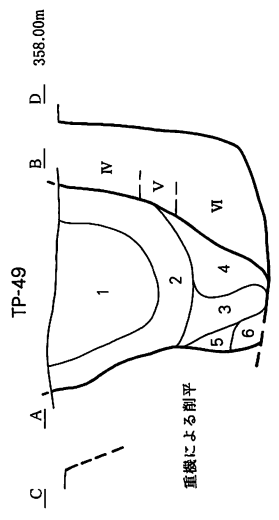


D 358.00m

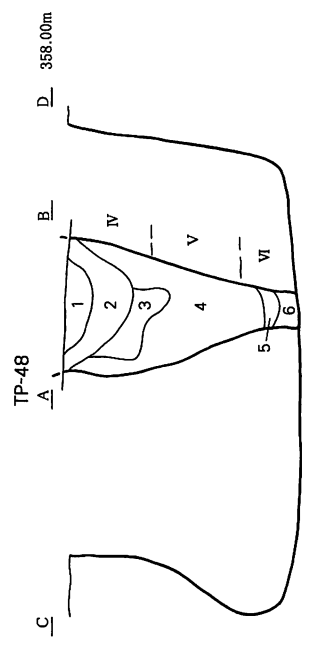
TP-50



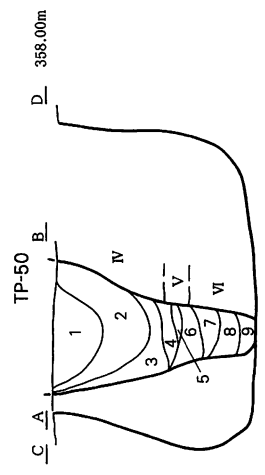
TP-49



D 358.00m



D 358.00m

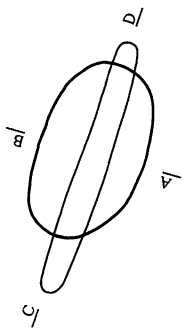


D 358.00m



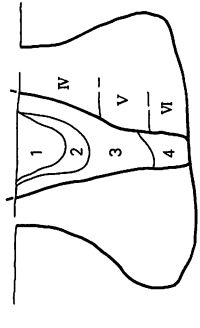
図26 TP-46~50

TP-51



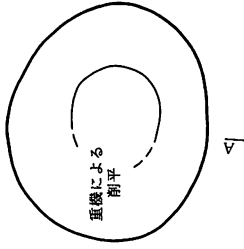
TP-51

D 358.60m



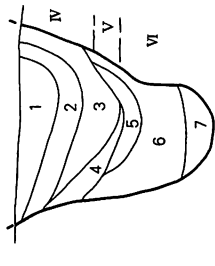
TP-52

ca/



TP-52

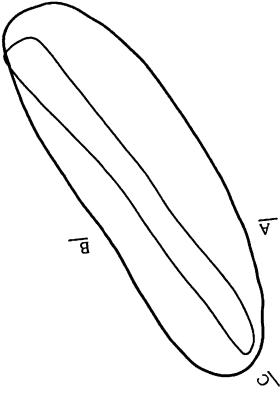
B 358.60m



±L8

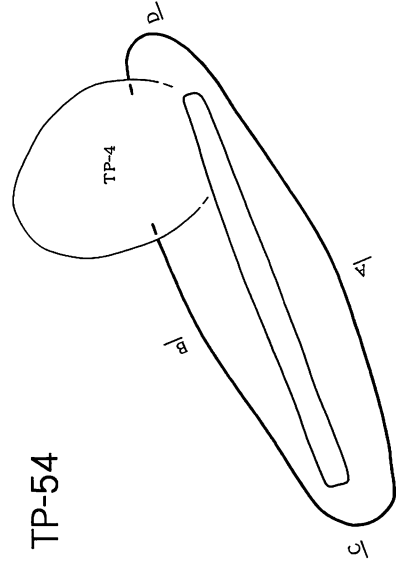
TP-53

ca/



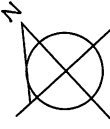
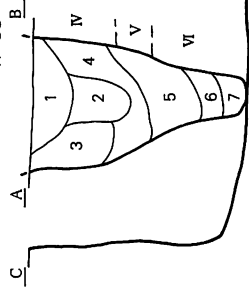
±L7

TP-54



±L6

TP-53



TP-54

D 358.40m

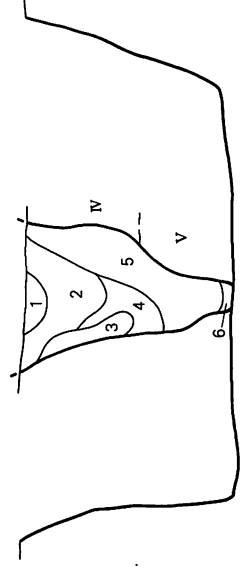
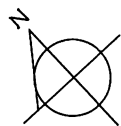
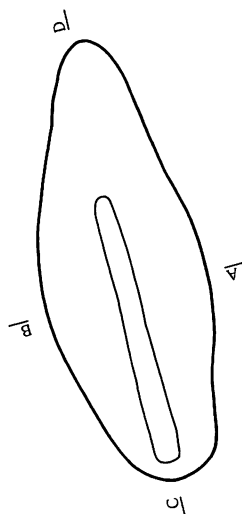


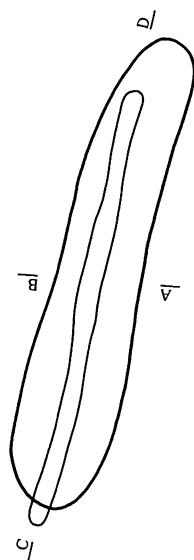
図27 TP-51~54

TP-57

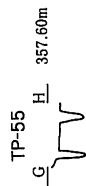
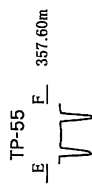
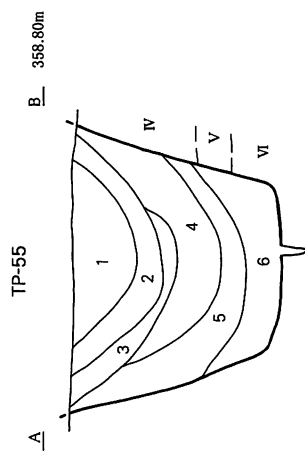
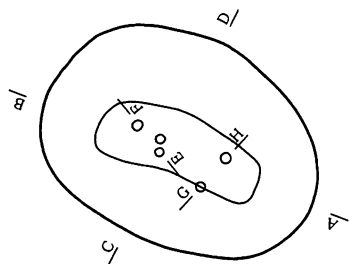


TP-59

1/16

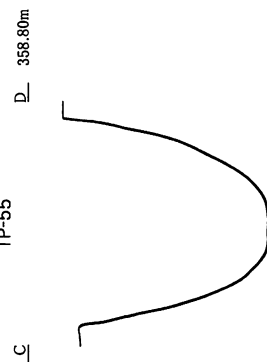


TP-55

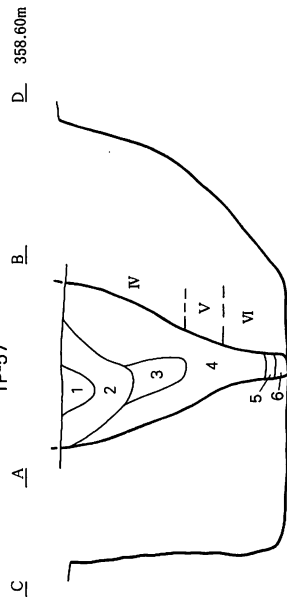


1/18

TP-55



TP-57



TP-59

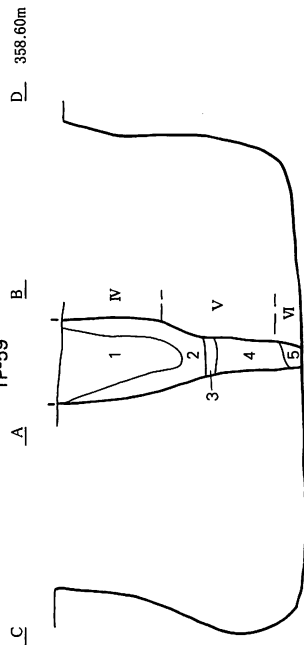


図28 TP-55・57・59

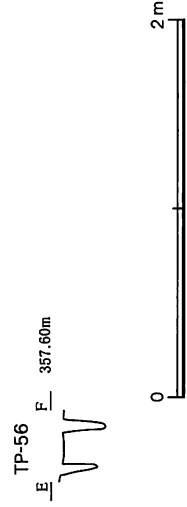
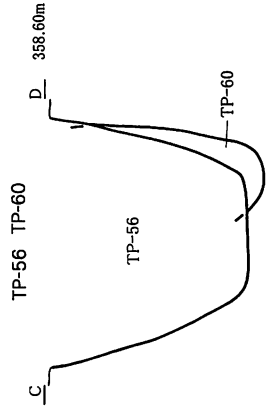
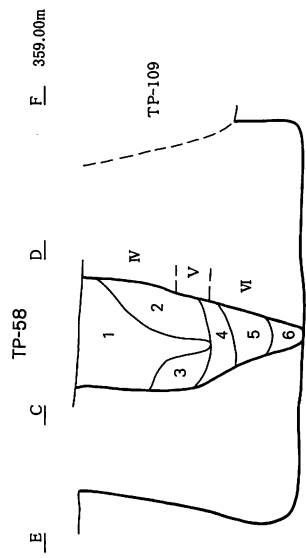
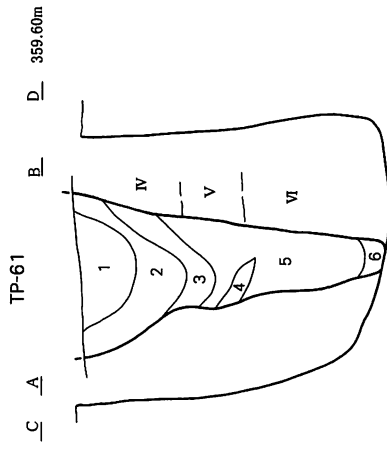
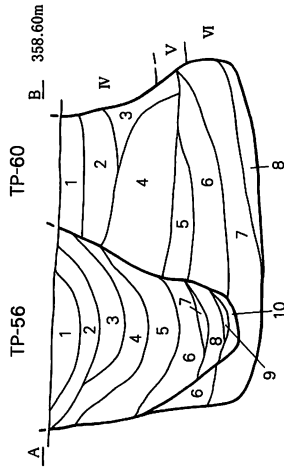
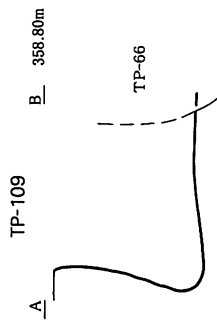
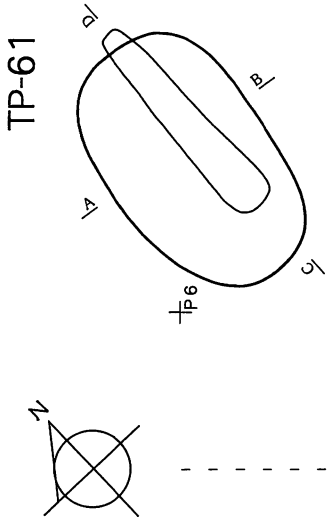
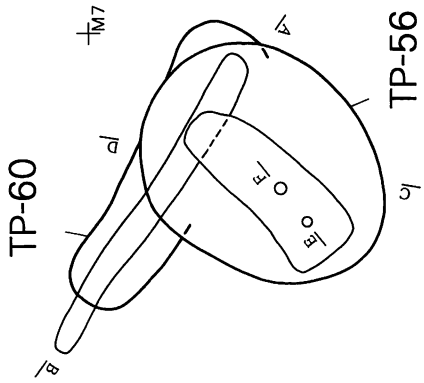
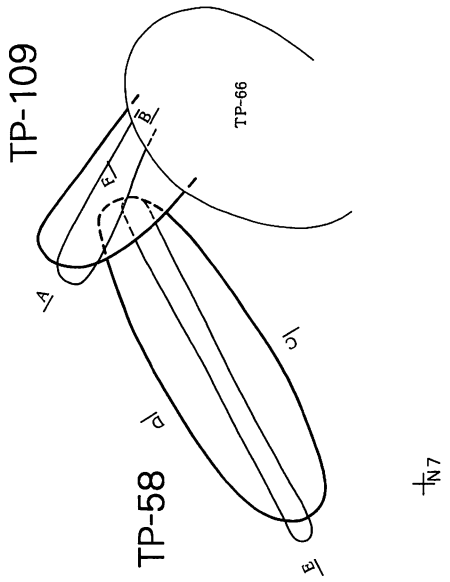
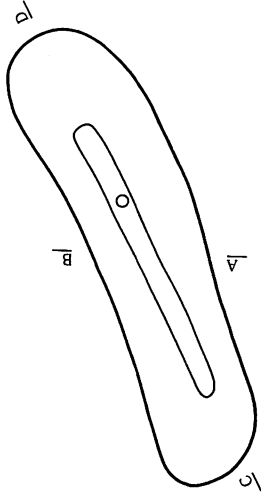
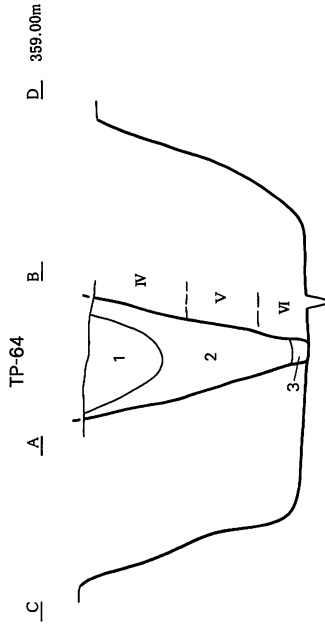


图29 TP-56·58·60·61·109

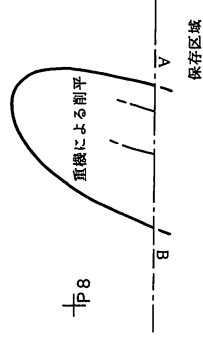
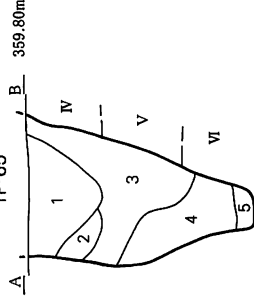
TP-64



↑N6

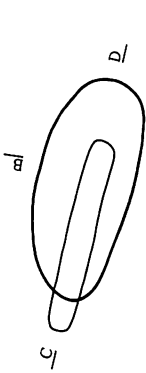


TP-65

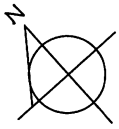
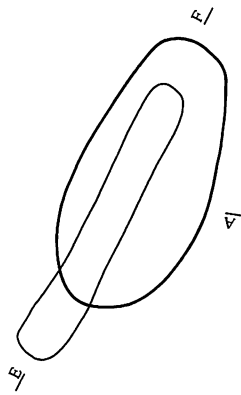


↑M7

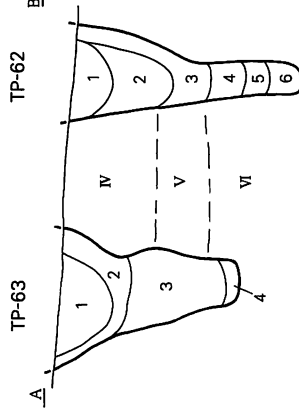
TP-62



TP-63



TP-62



TP-63



図30 TP-62~65

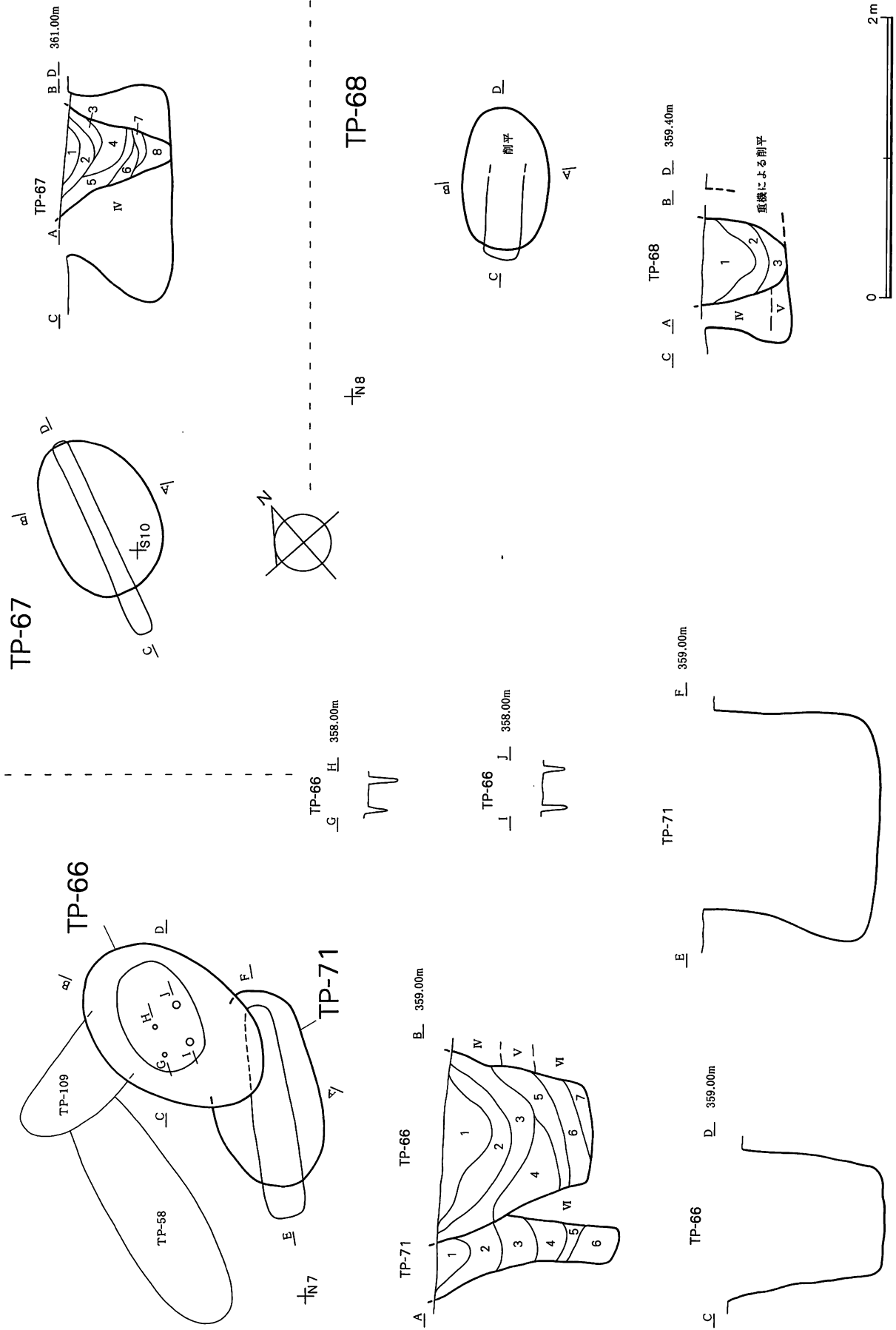


図31 TP-66~68・71

TP-69

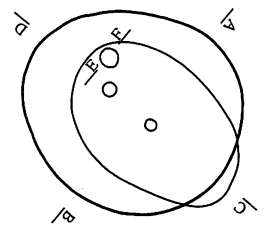
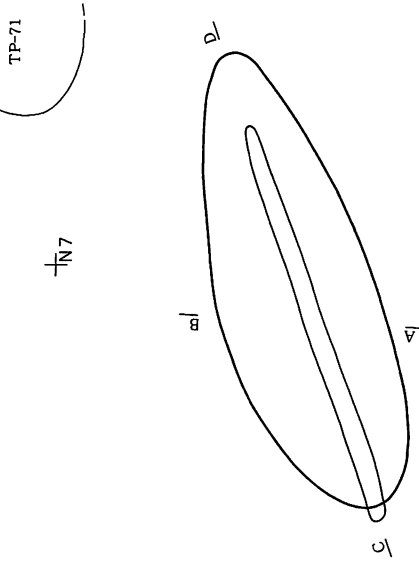
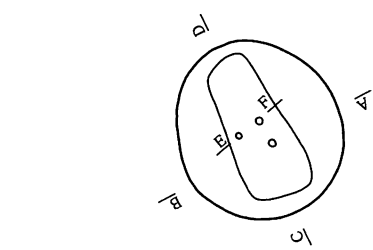
TP-70

TP-72

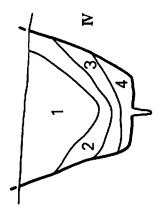
1515

7

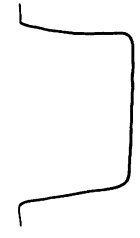
15



A TP-69  
B 361.00m  
C  
D 361.00m



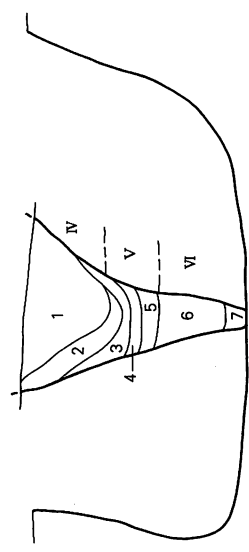
A TP-69  
B 361.00m  
C  
D 361.00m



TP-69  
E 360.40m  
F



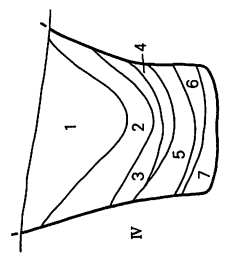
A TP-70  
B  
C  
D 359.20m



TP-70  
E 361.00m  
F



A TP-72  
B 362.00m  
C  
D 362.00m



A TP-72  
B 362.00m  
C  
D 362.00m

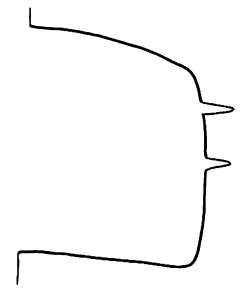
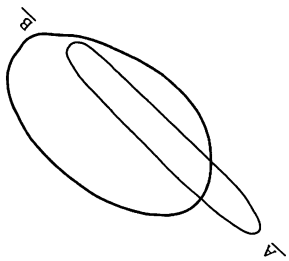
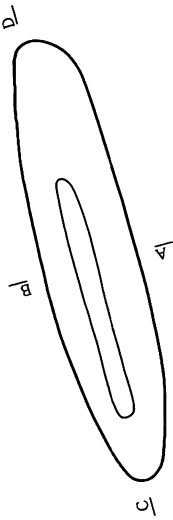


図32 TP-69・70・72

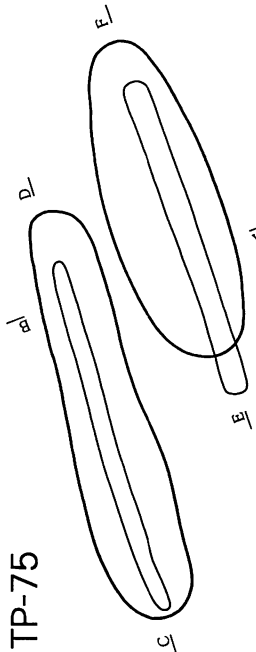
TP-73



TP-74

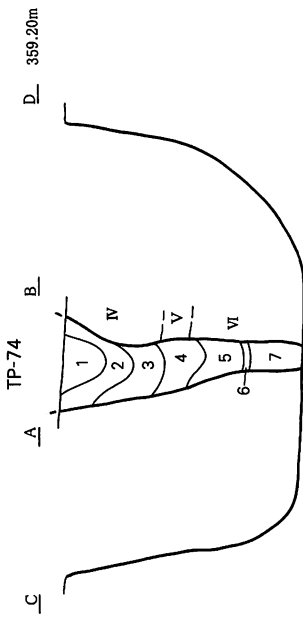


TP-75

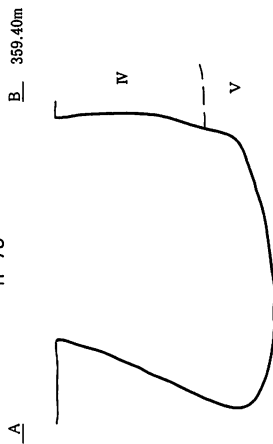


TP-76

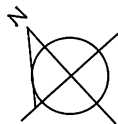
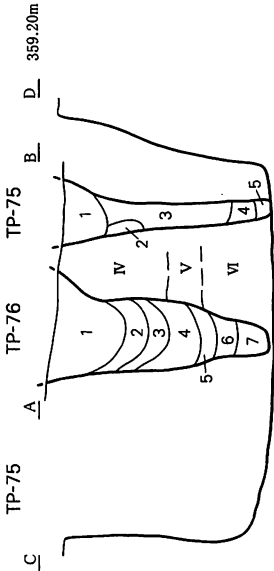
↑07



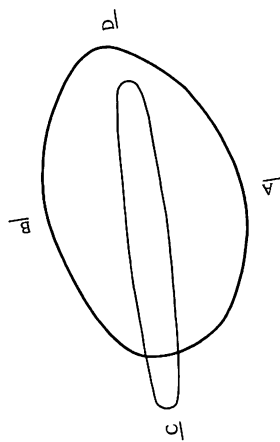
TP-73



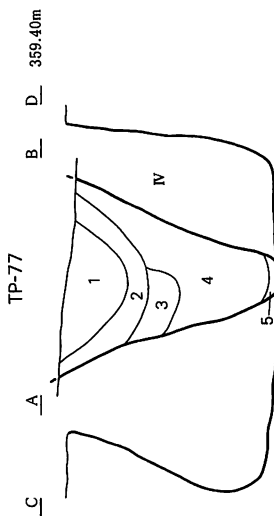
TP-75 TP-76 TP-75 TP-76



TP-77



TP-77



TP-76

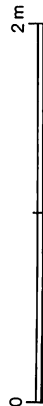
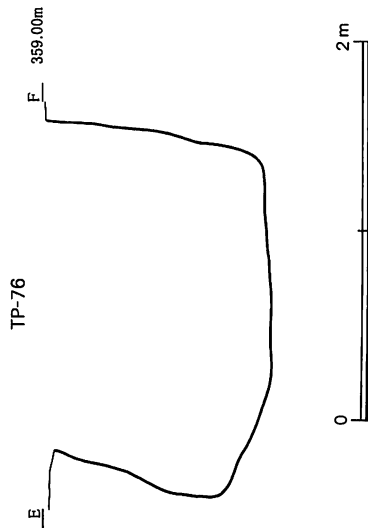
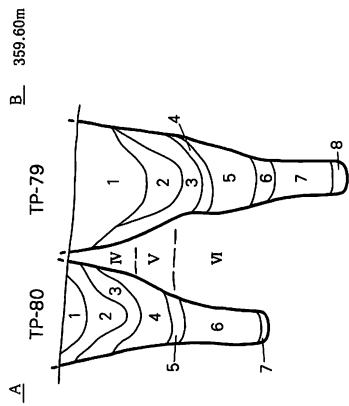
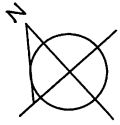
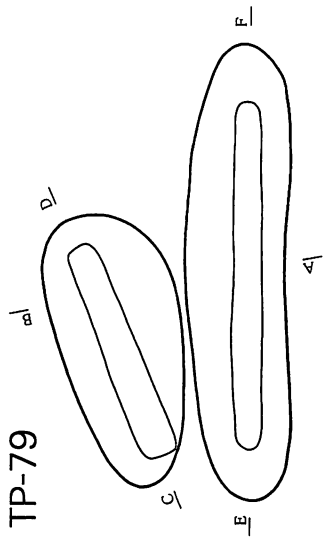
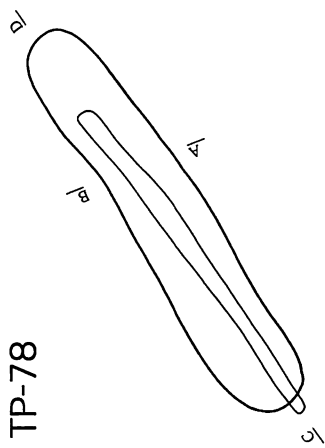


图33 TP-73~77





↑p8

↑p7

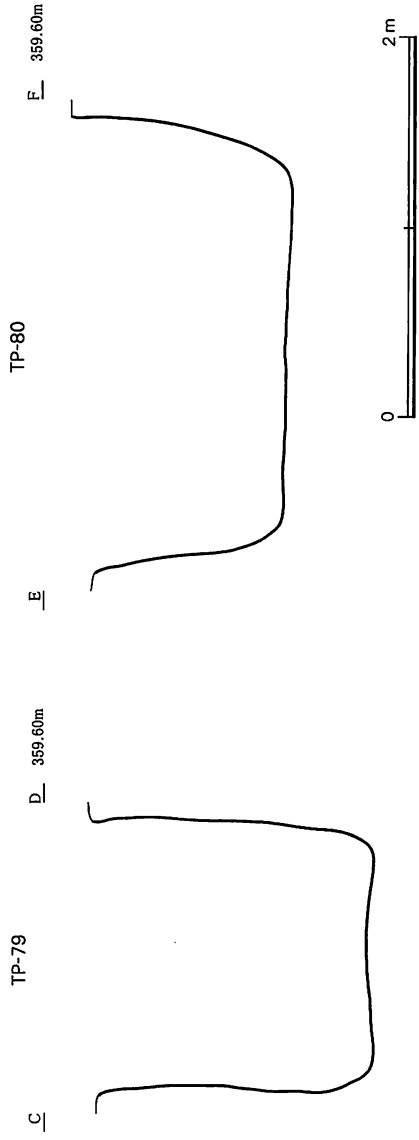
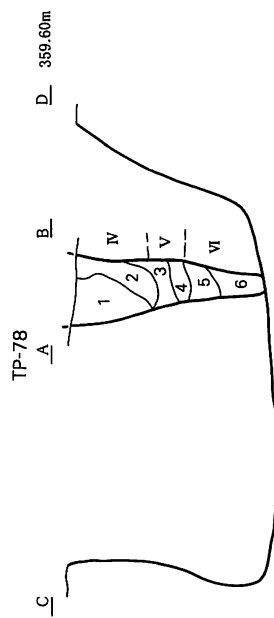
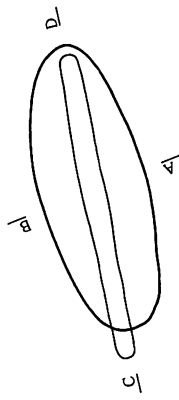


図34 TP-78~80

TP-81



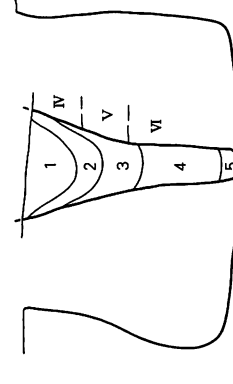
TP-81

D 359.60m

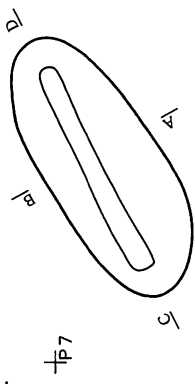
A

B

D 359.80m

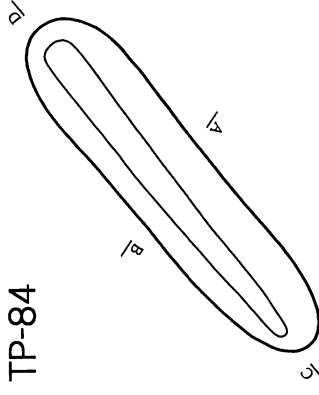


TP-82



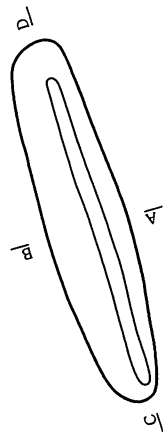
TP7

TP-84



TP7

TP-83



TP8

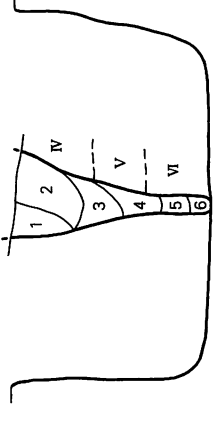
TP-83

D 359.80m

A

B

D 359.60m



0 2m

图35 TP-81~84

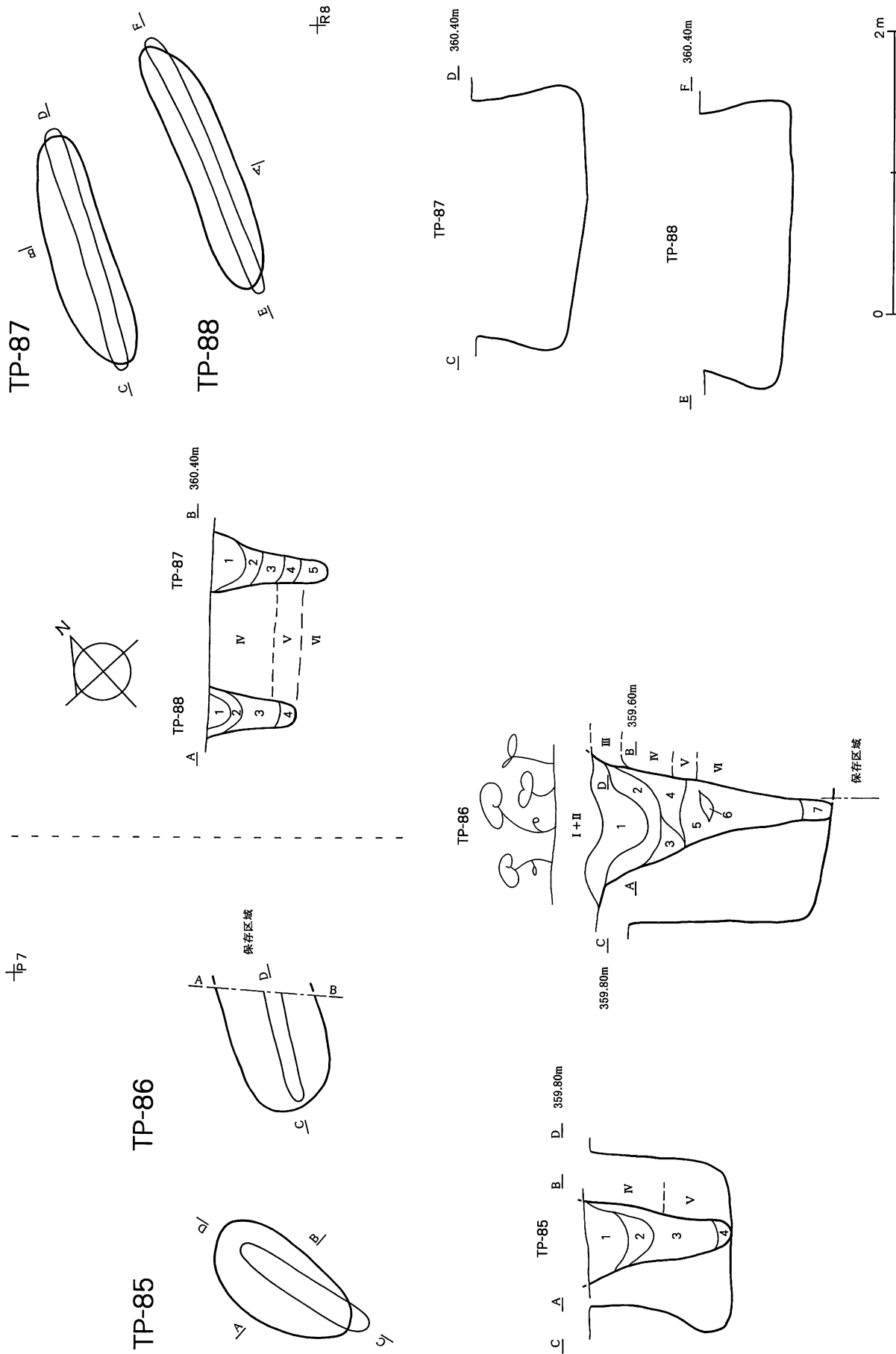


図36 TP-85~88

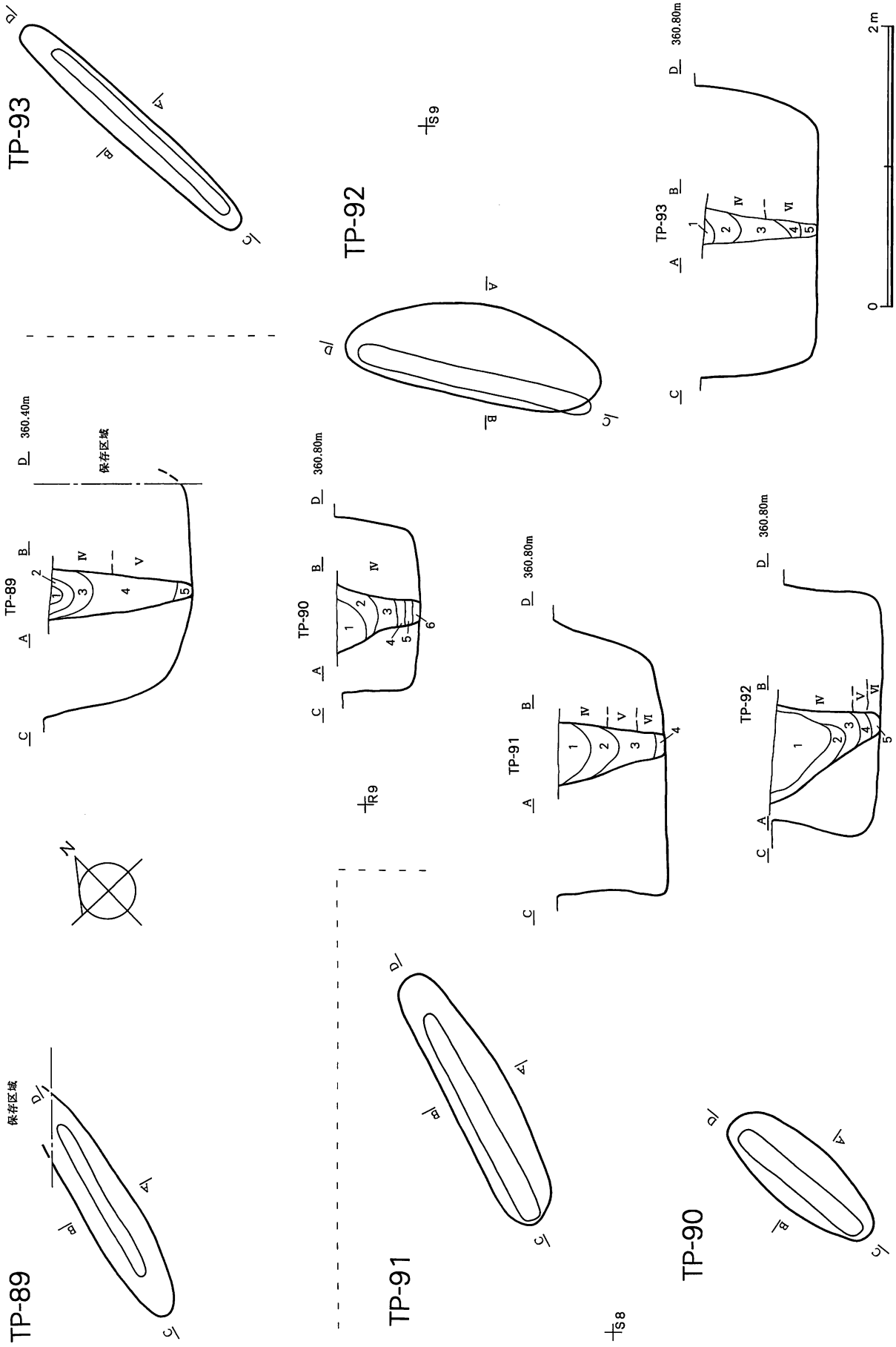


图37 TP-89~93

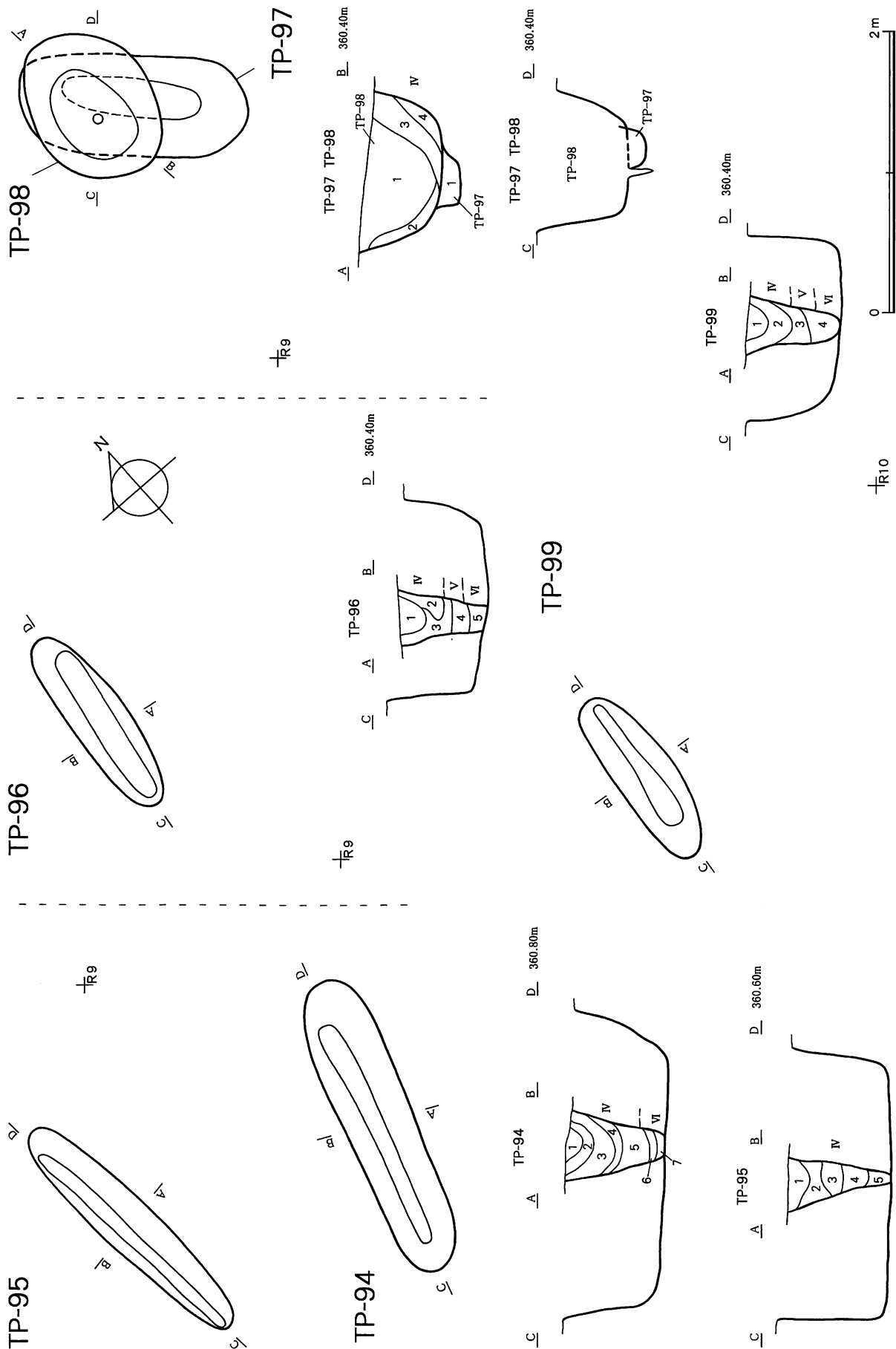
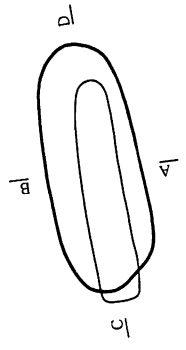
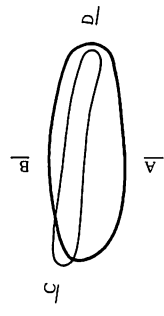


図38 TP-94~99

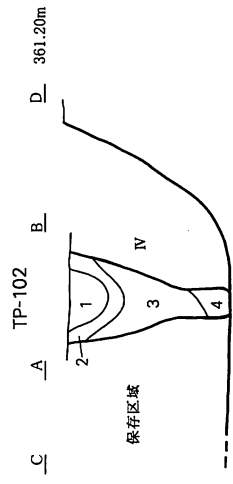
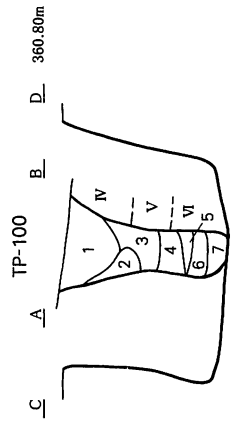
TP-100



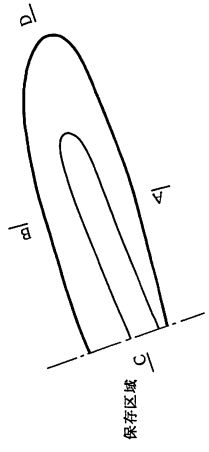
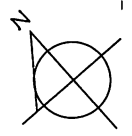
TP-101



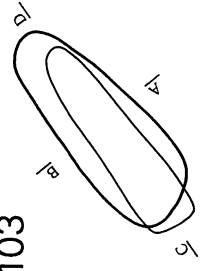
1510



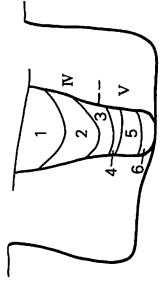
TP-102



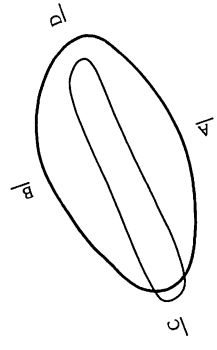
TP-103



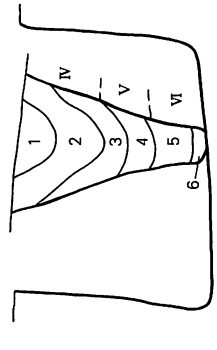
TP-103



TP-104



TP-104



1510



图39 TP-100~104

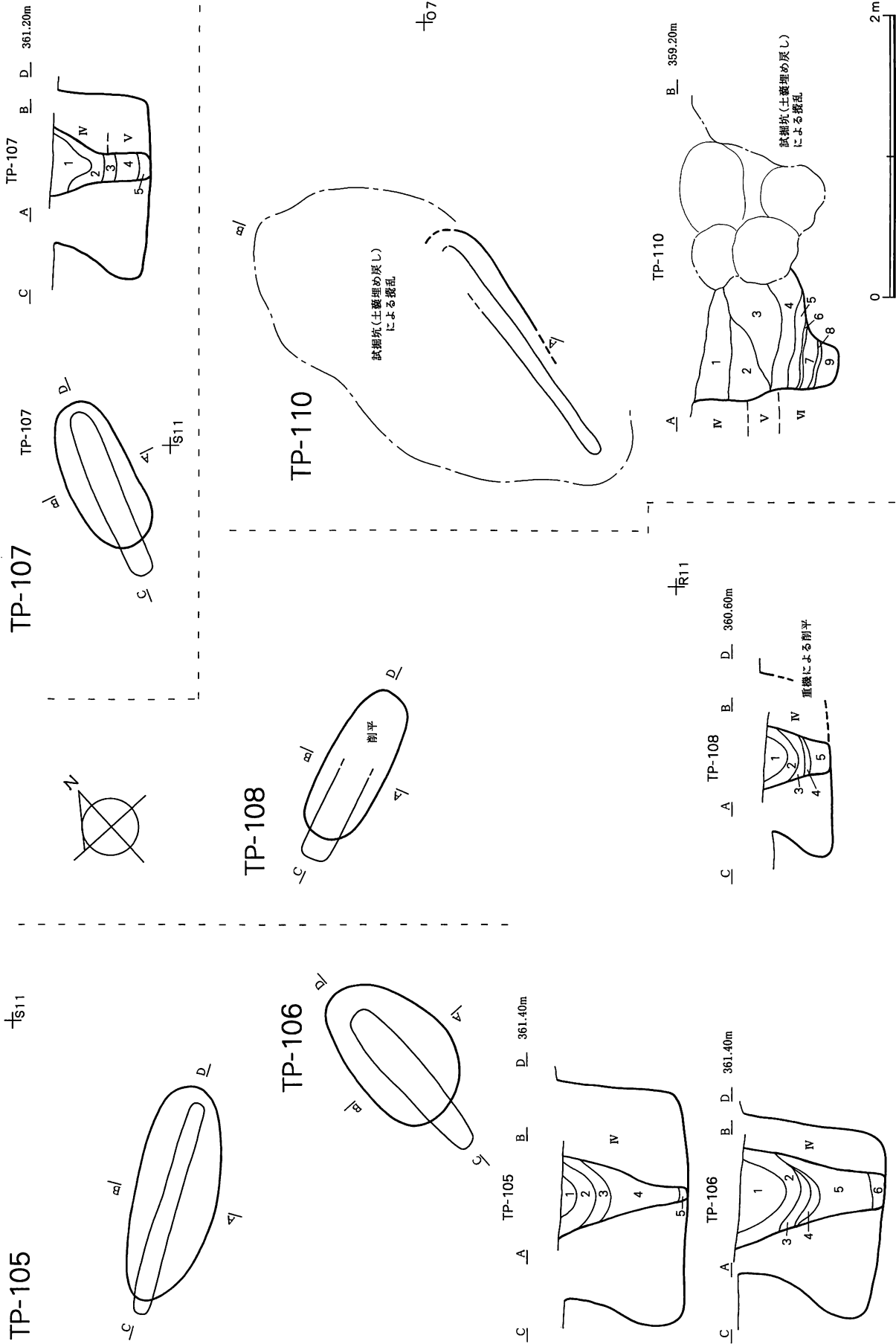
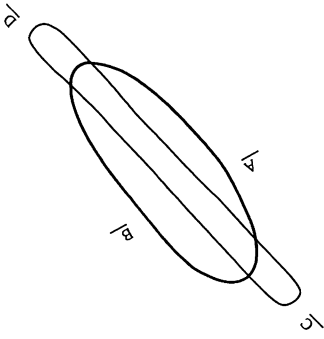
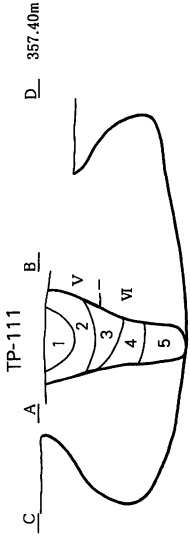


図40 TP-105~108・110

TP-111



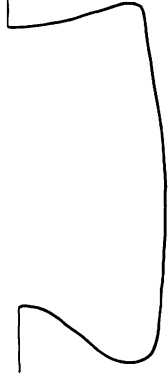
1:5



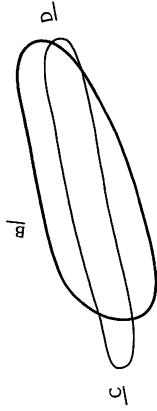
D 357.40m

TP-112

D 357.80m



TP-112



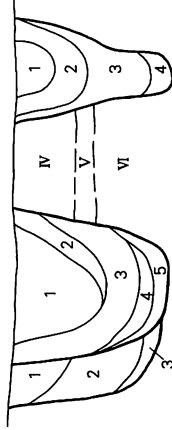
TP-123 TP-121

TP-112

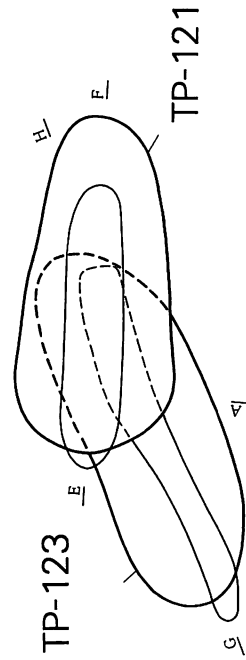
B 357.80m

TP-121

E 357.80m



TP-123



TP-121

H 357.80m



1:5



图41 TP-111·112·121·123



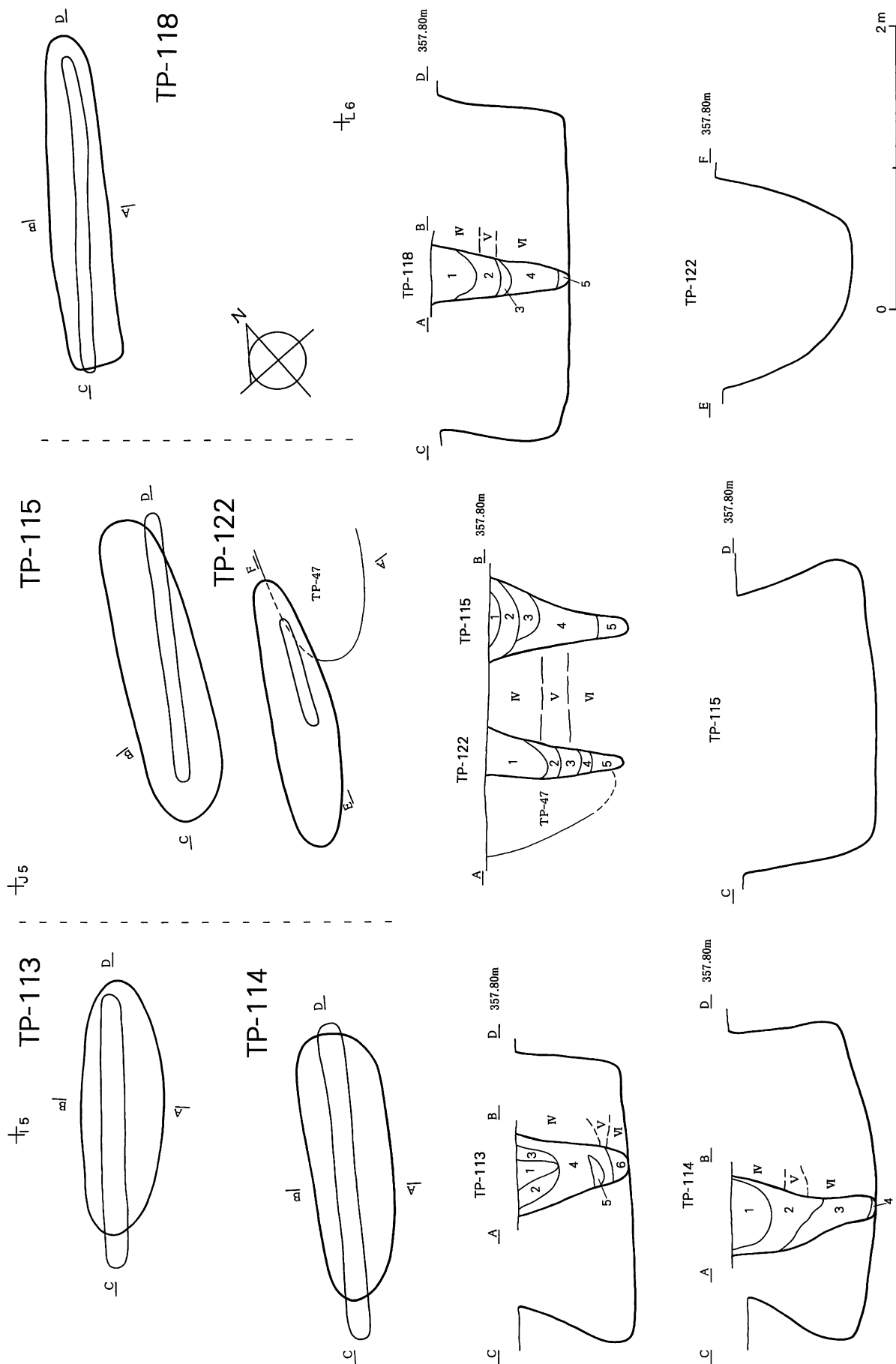


図42 TP-113~115・118・122

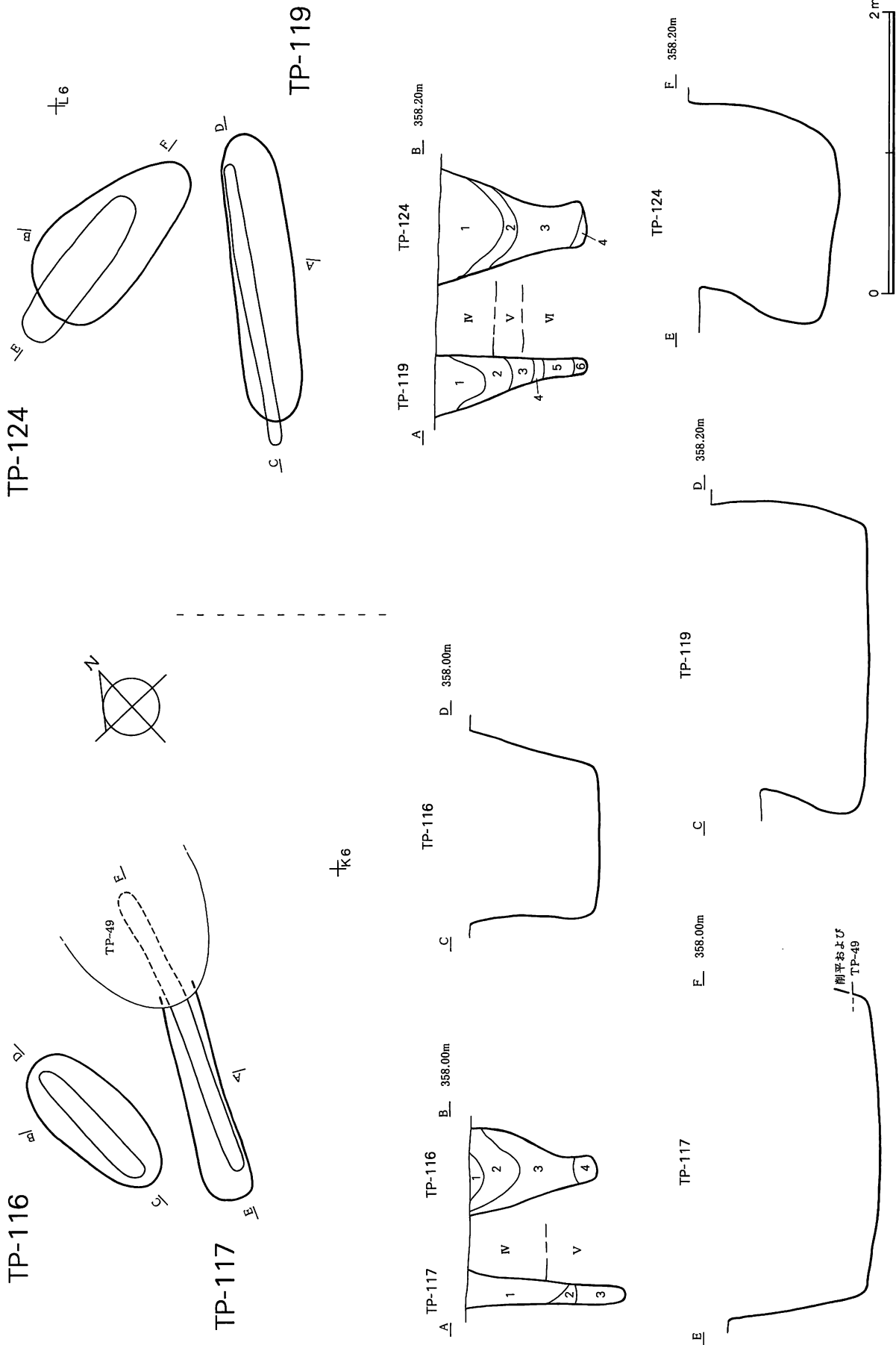


図43 TP-116・117・119・124

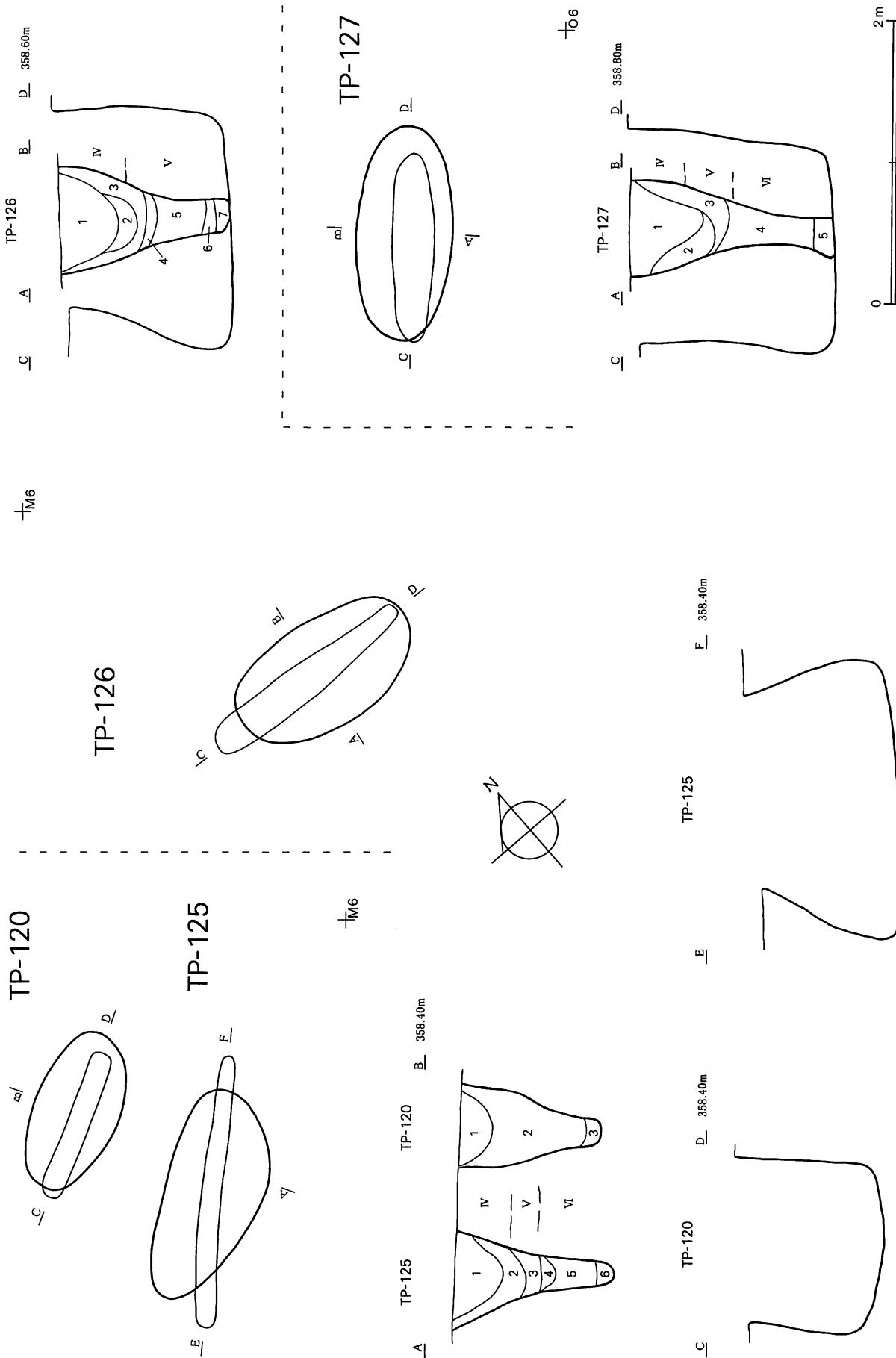


図44 TP-120・125~127

表11 Tピット覆土土層注記一覧

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他	
TP-1	1	植壊土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層	
	2	植壊土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	明瞭	平坦	III+IV層	
	3	植壊土	黒色	10YR1.7/1	強	軟	明瞭	平坦	II層より黒い	
	4	砂壊土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	平坦	III>IV層	
	5	砂壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	明瞭	平坦	III+IV層	
	6	植壊土	暗褐色	10YR3/3	弱	しよう	明瞭	平坦	III層	
	7	砂壊土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV層	
	8	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	しよう	明瞭	平坦	III層	
TP-2	1	植壊土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	III層	
	2	壊土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層	
	3	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III>IV層	
	4	壊土	褐色	10YR4/6	強	しよう	明瞭	平坦	IV層	
	5	植壊土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層	
	6	壊土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV層	
TP-3	1	植壊土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	III層	
	2	植壊土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	IV層	
	3	壊土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	III>IV層	
	4	砂壊土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	II層	
	5	植壊土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	III層	
	6	壊土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	II層	
TP-4	1	植壊土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	IV>III層	
	2	植壊土	黒褐色	10YR3/2	強	堅	判然	平坦	III>IV層	
	3	植壊土	黒褐色	10YR3/2	強	堅	判然	平坦	II層	
	4	壊土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	III層	
	5	植壊土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	平坦	IV>III層	
	6	壊土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層	
TP-5	7	植壊土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II+III層	
	1	植壊土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	判然	不連続	II+IV層	
	2	植壊土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	III>II層	
	3	壊土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	不連続	IV層	
	4	植壊土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	不連続	III+IV層	
	5	砂壊土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	不連続	IV層	
	6	壊土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	V層	
	7	砂壊土	褐色	10YR4/4	弱	軟	判然	平坦	V層	
TP-6	8	砂壊土	にぶい黄褐色	10YR4/3	中	しよう	明瞭	平坦	V+VI層	
	1	壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	IV>III層	
	2	植壊土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	III>II層	
	3	植壊土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	IV>III層	
	4	壊土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	IV層	
	5	植壊土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	V層	
	6	砂土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	V層	
	7	植壊土	暗褐色	10YR3/3	弱	しよう	明瞭	平坦	III>IV層	
TP-7	8	砂壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	明瞭	平坦	III>IV層	
	TP-8	1	植壊土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II>VI層、黒に砂利少々
		2	植壊土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
		3	壊土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV>III層
		4	砂壊土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	V>IV層
		5	植壊土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
		1	壊土	褐色	10YR4/6	弱	堅	明瞭	平坦	IV層
		2	植壊土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	II>III層
3		砂壊土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	IV>III層	
TP-9	4	壊土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV層	
	5	砂土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV+V層	
	6	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	しよう	明瞭	平坦	III層	
	TP-10	1	植壊土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II>VI層(小砂利入る)
		2	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	波状	III+IV層
		3	壊土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	V>IV層
		4	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	IV>III層
		5	砂壊土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	V>IV層
6		植壊土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV>III層	
7		砂壊土	褐色	10YR4/6	中	しよう	明瞭	平坦	VI>V層	
8		植壊土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層	
TP-11	1	植壊土	黒褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層	
	2	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層	
	3	壊土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	IV>III層	
	4	植壊土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	明瞭	平坦	III>IV層	
	5	壊土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層	
	6	植壊土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	堅	判然	平坦	III+IV層	
	7	砂壊土	褐色	10YR4/4	中	軟	判然	平坦	IV>III層	
	8	植壊土	黒褐色	10YR3/2	中	しよう	明瞭	平坦	III>IV層	
TP-12	1	植壊土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	波状	III>II層	
	2	植壊土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	不連続	V>IV層	
	3	砂壊土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	V>IV層	
	4	砂壊土	にぶい黄褐色	10YR4/3	弱	しよう	明瞭	平坦	IV+VI、砂利層	
TP-13	1	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層	
	2	植壊土	褐色	10YR4/4	強	すこぶる堅	漸変	不規則	IV>V層	
	3	植壊土	褐色	10YR4/6	強	すこぶる堅	漸変	不規則	V>IV層	
	4	植壊土	暗褐色	10YR3/4	強	しよう	明瞭	平坦	III層	
TP-14	1	植壊土	暗褐色	10YR2/3	強	すこぶる堅	明瞭	波状	II+III層	
	2	植壊土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV>III層	
	3	砂土	黄褐色	10YR5/6	弱	軟	明瞭	平坦	V層、砂の層	
	4	砂壊土	褐色	10YR4/4	中	しよう	明瞭	平坦	IV?(粘土)+V?(砂利)層	

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-21	1	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	たふる壁 すたふる壁	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	すたふる壁	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	たふる壁	判然	波状	Ⅲ>Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	5	砂土	褐色	10YR4/4	なし	軟	明瞭	平坦	V>Ⅵ層、砂の層
TP-22	6	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	1	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	4	砂土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	軟	明瞭	平坦	平坦	V>Ⅵ層 (砂利)
TP-23	5	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	しよう	明瞭	平坦	V>Ⅵ層 (砂利)
	1	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
TP-24	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層
	6	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	V>Ⅲ層
	7	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	8	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	9	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
TP-25	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	波状	Ⅲ+Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	波状	Ⅲ>Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	不規則	Ⅳ>Ⅲ層
	5	砂壤土 にぶい黄褐色	10YR5/4	中	軟	明瞭	不規則	不規則	Ⅳ層
TP-26	6	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	波状	Ⅱ+Ⅲ層
	7	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	8	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	9	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	しよう	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	1	埴壤土	暗褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
TP-27	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	波状	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	4	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	しよう	明瞭	平坦	V>Ⅳ層
	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	波状	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	堅	判然	不連続	不連続	Ⅳ+Ⅴ層、砂利入りローム

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-15	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	波状	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	波状	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	5	埴土	黄褐色	10YR5/6	中	軟	明瞭	平坦	V>Ⅳ層
	6	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	弱	しよう	明瞭	平坦	Ⅵ>Ⅴ層、砂利層
TP-16	1	砂壤土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	不連続	Ⅳ+Ⅴ層、ローム+砂利のフタ?
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	波状	Ⅲ+Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	5	砂壤土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	軟	明瞭	平坦	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	6	砂土	褐色	10YR4/4	弱	しよう	明瞭	平坦	V層、砂の層
TP-17	7	砂土	褐色	10YR4/4	弱	しよう	明瞭	平坦	Ⅵ層、礫層
	1	埴壤土	暗褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	2	埴土	暗褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	4	砂壤土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	軟	判然	判然	平坦	V>Ⅳ層
	5	砂土	暗褐色	10YR3/4	中	しよう	明瞭	平坦	Ⅵ>Ⅴ層
TP-18	1	埴土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	4	埴土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	堅	判然	判然	平坦	Ⅳ層
	5	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
TP-19	7	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	8	埴壤土	褐色	10YR4/4	中	軟	判然	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	9	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	しよう	判然	平坦	Ⅳ>Ⅳ層
	10	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	11	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	弱	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	12	砂壤土 にぶい黄褐色	10YR4/3	弱	軟	明瞭	平坦	平坦	V>Ⅲ層
TP-20	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	2	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	4	砂土 にぶい黄褐色	10YR4/3	弱	しよう	明瞭	平坦	平坦	V>Ⅳ層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	明瞭	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	6	砂土 にぶい黄褐色	10YR4/3	中	堅	判然	明瞭	平坦	V>Ⅳ層
TP-21	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	波状	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	不規則	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	4	砂壤土	黄褐色	10YR5/6	弱	堅	明瞭	平坦	V>Ⅳ層
	5	砂土	褐色	10YR4/4	弱	軟	明瞭	不連続	V+Ⅵ層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/4	弱	しよう	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層、砂利層

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-37	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	黒褐色	10YR3/2	中	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層、崩落?
	3	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層、崩落?
	4	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	判然	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	5	埴土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	6	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
TP-38	1	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	2	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	4	埴土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
TP-39	1	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	2	埴土	黒褐色	10YR3/3	強	しょう	明瞭	平坦	Ⅲ>Ⅵ層
	3	埴土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	不連続	Ⅳ>Ⅲ層、砂利
	4	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	しょう	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	5	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	6	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	すぶる堅 たぶる堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
TP-40	1	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	すぶる堅 たぶる堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	3	埴土	暗褐色	10YR2/1	強	すぶる堅 たぶる堅	明瞭	平坦	Ⅱ層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	不規則	Ⅲ+Ⅳ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
TP-41	1	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	しょう	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ+Ⅴ層
TP-42	1	埴土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	不規則	Ⅲ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	4	砂壤土	黒色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	Ⅵ+Ⅴ層
TP-43	1	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層
	4	砂壤土	褐色	10YR4/6	弱	軟	判然	平坦	Ⅴ層(砂)
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	Ⅳ層、ローム
TP-44	1	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	3	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
	4	埴土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ>Ⅵ層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	不規則	Ⅲ>Ⅳ層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/6	強	しょう	明瞭	平坦	Ⅳ層
	7	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	8	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-28	1	埴土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	波状	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	不連続	Ⅳ層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	4	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	不連続	Ⅳ>Ⅲ層
	5	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	しょう	明瞭	平坦	Ⅴ>Ⅳ層
TP-29	1	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	不連続	Ⅳ>Ⅴ層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	5	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	明瞭	平坦	Ⅴ>Ⅳ層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	しょう	明瞭	平坦	Ⅴ>Ⅵ層
TP-30	1	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	波状	Ⅳ>Ⅲ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅴ>Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅴ+Ⅵ層
TP-31	1	埴土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/6	強	しょう	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	4	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅵ>Ⅴ層
TP-32	1	埴土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	波状	Ⅱ>Ⅲ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	波状	Ⅲ>Ⅳ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	波状	Ⅳ>Ⅴ層
	6	埴土	暗褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	7	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
TP-33	1	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	不規則	Ⅱ+Ⅲ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	不連続	Ⅲ>Ⅳ層
	4	砂壤土	黄褐色	10YR5/6	弱	堅	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
TP-34	1	埴土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	黒色	10YR1.7/1	強	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	3	埴土	黒褐色	10YR3/2	強	軟	判然	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
TP-35	1	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	波状	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	不規則	Ⅲ>Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	Ⅴ層、砂
	5	砂壤土	にぶい黄褐色	10YR4/3	弱	しょう	明瞭	平坦	Ⅵ層、砂利層
TP-36	1	埴土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	4	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/4	弱	しょう	明瞭	平坦	Ⅵ層、砂利層

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-45	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	II層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III>IV層
	4	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV>III層
	5	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III+IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	II層
TP-46	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II>V層、砂利
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	明瞭	平坦	II+III層
	3	壤土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	不連続	IV>III層
	4	壤土	褐色	10YR4/6	強	しよう	明瞭	不連続	IV>III層
	5	杭の層	暗褐色	10YR3/3	弱	しよう	明瞭	平坦	V層、砂
TP-47	1	壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV>V層
	2	砂壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II+III層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	II層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	砂壤土	黄褐色	10YR5/6	中	しよう	明瞭	平坦	V層
TP-48	1	埴壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	IV>III層、フタ?
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	不連続
	4	壤土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	しよう	明瞭	平坦	II>III層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	V>IV層
TP-49	1	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	不規則	V層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	不規則	III>II層
	4	壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	不規則	IV+V層
	5	砂土	褐色	10YR4/6	弱	堅	明瞭	不規則	V層
	6	壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-50	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	II層
	3	壤土	黄褐色	10YR5/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-51	7	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
	8	壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	IV層
	9	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III>V層
	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	波状	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	不規則	III層
	3	壤土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III+V層、(黒+砂)
	5	砂土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	明瞭	平坦	
TP-52	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II>III層
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II+III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
	6	壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV>V層
TP-53	7	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III>II層
	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	不連続	IV層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	不規則	III>IV層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV>III層
	5	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	V>IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	しよう	明瞭	平坦	III+V層
TP-54	7	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
	1	埴壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV>III層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	II層
	3	砂壤土	黄褐色	10YR5/8	中	堅	判然	不連続	V層
	4	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	判然	不規則	III層
	5	壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	しよう	明瞭	平坦	III層
TP-55	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II>III層
	2	埴壤土	黒色	10YR1/7	強	軟	判然	平坦	II層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	III層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III>V層
	5	壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV+V層
TP-56	1	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	IV>III層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II+III層
	3	壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	軟	判然	平坦	II層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III>IV層
	6	壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	IV>III層
TP-57	7	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	しよう	明瞭	平坦	III>II層
	8	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV+V層
	9	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
	10	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	しよう	明瞭	平坦	IV+V層
	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	軟	判然	不連続	II>III層
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	II層
	3	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	不連続	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	すこぶる堅	明瞭	平坦	IV+V層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	6	砂土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV層

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-66	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II>III層 (>VI粒入り)
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層 (>VI粒入り)
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	III層 (>VI粒入り)
	4	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	IV+V層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	平坦	III層 (>IV粒入り)
	6	砂埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層 (>V粒入り)
	7	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
TP-67	1	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	IV>III層
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	黄褐色	10YR5/6	中	堅	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	5	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV>III層
	6	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	III+IV層
	8	埴壤土	褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	III>II層
TP-68	1	埴壤土	黒色	10YR1/7/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	III層
	3	砂埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV>III層
TP-69	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	黄褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III>II層
TP-70	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV>III層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III+IV層
	5	砂埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV+V層
	6	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	7	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	IV>III層
TP-71	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	不規則	II層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV>III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	砂埴土	褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	V層
	6	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	平坦	IV層
	7	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
TP-72	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	III>II層
	2	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	明瞭	平坦	III層
	7	埴土	黄褐色	10YR5/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の 明瞭性	層界の 起伏	そ の 他
TP-58	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	不規則	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	不連続	IV層
	3	埴土	黄褐色	10YR5/6	強	堅	明瞭	不連続	V層
	4	砂埴土	褐色	10YR4/6	弱	軟	判然	平坦	IV層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-59	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	暗褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	IV+V層
	4	砂埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	II層
	5	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	軟	明瞭	平坦	II層
TP-60	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	しよう	判然	平坦	IV>III層、崩落
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III>IV層
	6	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV層
	7	砂埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV+V層
	8	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
TP-61	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層
	5	砂埴土	褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	不連続	III層
	6	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	IV+V層
TP-62	1	埴壤土	暗褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II>III層
	2	砂埴土	黒褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	砂埴土	暗褐色	10YR3/4	中	しよう	判然	平坦	III+IV層 (黒い砂)
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	しよう	明瞭	平坦	IV>III層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	しよう	明瞭	平坦	III層
TP-63	1	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV層、黄ロームでフタ
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層
	3	砂埴土	暗褐色	10YR3/4	弱	軟	明瞭	平坦	III+IV+V層 (砂利)
	4	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	しよう	明瞭	平坦	II層
TP-64	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	III層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II>III層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	III層
TP-65	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	不連続	III層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	IV層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	III層
	4	砂土	黄褐色	10YR5/6	なし	堅	判然	しよる壁	V層、堅固な砂層
TP-66	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	しよう	明瞭	平坦	III層



遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-81	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	3	壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	Ⅳ層
	4	砂壤土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
TP-82	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	4	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
TP-83	1	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	不連続	Ⅱ>Ⅲ層
	3	埴壤土	褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
TP-84	1	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	判然	平坦	Ⅱ層
	4	埴壤土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
TP-85	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	Ⅱ>Ⅲ層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/4	中	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層、ローム
TP-86	1	埴土	暗褐色	10YR4/4	弱	堅	判然	平坦	Ⅳ+Ⅴ層、ローム
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	不規則	Ⅳ層、ローム
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	5	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層、ローム
TP-87	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	5	砂壤土	暗褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
TP-88	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	Ⅲ層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
TP-89	1	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	不連続	Ⅳ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	平坦	Ⅲ層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層
5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	強	明瞭	平坦	Ⅲ層	

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-74	1	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層
	3	埴土	黄褐色	10YR5/8	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	4	砂土	黄褐色	10YR5/6	弱	堅	明瞭	平坦	Ⅴ層(火山灰En-a)
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
TP-75	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ+Ⅴ層(青白粘土+砂利)
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	不規則	Ⅱ層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/4	強	明瞭	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
TP-76	1	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	明瞭	明瞭	平坦	Ⅲ+Ⅱ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	Ⅲ+Ⅳ層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ>Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	明瞭	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
TP-77	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	4	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	Ⅱ層
TP-78	1	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	明瞭	不連続	Ⅳ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	明瞭	不連続	Ⅱ>Ⅲ層
	3	埴土	黄褐色	10YR5/6	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	不連続	Ⅲ層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	Ⅳ層
TP-79	1	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	明瞭	平坦	Ⅲ層 (>Ⅴ層黒い砂)
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	Ⅱ層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	Ⅳ層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅳ層
	5	砂壤土	褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	Ⅴ>Ⅳ層
TP-80	1	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅱ+Ⅲ層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層
	4	埴土	黄褐色	10YR5/6	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層
	5	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	Ⅱ層
6	埴土	暗褐色	10YR2/3	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層	
7	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層	
8	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層	
9	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅲ層	
10	埴土	黄褐色	10YR5/6	強	堅	明瞭	平坦	Ⅳ層	
11	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅲ>Ⅱ層	
12	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層	
13	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層	
14	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	Ⅳ層	
15	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	Ⅳ>Ⅴ層	
16	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	判然	平坦	Ⅲ層	
17	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	強	明瞭	平坦	Ⅲ層	

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-100	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	不連続	II+III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	平坦	III層
	6	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-101	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	II>III層
	3	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	II>III層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	IV>III層
TP-102	1	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	波状	IV>III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	5	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-103	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	不連続	IV>III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	II層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	5	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II層
TP-104	1	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III>IV層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	4	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	III+IV層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-105	1	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV層、ロームのフタ
	2	埴土	褐色	10YR2/2	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	II層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	III層
TP-106	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	II層
	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II>III層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	IV>III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV+V層
TP-107	5	埴壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV>V層
	6	埴壤土	褐色	10YR4/4	強	しろう	明瞭	平坦	III>IV層
	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	不連続	II>III層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II>III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	波状	IV>III層

遺構名	層名	土性	土色 1	土色 2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-90	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	II>III層
	2	埴壤土	黒色	10YR1.7/1	中	堅	判然	平坦	II層
	3	砂壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	強	軟	明瞭	平坦	II層
	6	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-91	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	弱	軟	明瞭	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	しろう	明瞭	平坦	IV+VI層
TP-92	1	埴壤土	黒色	10YR1.7/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	堅	判然	平坦	IV>III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	5	埴土	にぶい黄褐色	10YR4/3	中	堅	明瞭	平坦	IV>III層
TP-93	1	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	2	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	判然	平坦	II+III層
	3	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	III+IV層
	5	埴土	にぶい黄褐色	10YR5/4	強	堅	明瞭	平坦	VI層(粘土)
TP-94	1	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	IV>III層
	2	埴土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	III+IV層
	4	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	IV>III層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	6	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	IV>III層
	7	埴土	黒褐色	10YR2/2	強	しろう	明瞭	平坦	II+III層
TP-95	1	埴土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	III>IV層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	中	軟	明瞭	平坦	IV>III層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	しろう	明瞭	平坦	III層
TP-96	1	埴土	黒色	10YR1.7/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	不規則	IV層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	不規則	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	III層
	5	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	しろう	明瞭	平坦	IV層
TP-97	1	埴土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	明瞭	平坦	VI層
	1	埴土	黒色	10YR1.7/1	強	堅	明瞭	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	埴土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
TP-98	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
	1	埴土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV+V層
TP-99	4	砂壤土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	明瞭	平坦	VI層

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-118	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	明瞭	平坦	IV層
	3	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層
	4	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	5	埴土	褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II層
TP-119	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	軟	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	砂土	暗褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	V層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-120	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-121	1	埴壤土	黒色	10YR1.7/1	強	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR3/2	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	4	砂壤土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV+V層
	5	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	IV+V層
TP-122	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	不連続	IV層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	判然	不連続	III層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-123	1	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV層
	2	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	V層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	IV層
TP-124	1	埴壤土	黒色	10YR1.7/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	波状	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-125	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	IV層
	5	砂土	褐色	10YR3/2	強	軟	判然	不規則	III層
	6	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	IV層
TP-126	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	軟	判然	平坦	IV層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	堅	判然	平坦	III層
	5	砂土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	6	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	明瞭	平坦	III層
	7	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-127	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	砂土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	V層
	4	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	埴壤土	にぶい黄褐色	10YR4/3	強	軟	明瞭	平坦	IV>III層

遺構名	層名	土性	土色1	土色2	粘性	堅密度	層界の明瞭性	層界の起伏	その他
TP-108	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	4	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	判然	不規則	II>IV層
	5	埴土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-110	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/6	強	軟	判然	平坦	IV層
	4	砂土	黄褐色	10YR5/6	強	軟	明瞭	V層	
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	弱	堅	判然	平坦	III層
	6	埴土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II>III層
	7	埴壤土	褐色	10YR4/6	強	軟	明瞭	平坦	IV層
	8	埴土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
	9	砂壤土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	IV+V層
TP-111	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	判然	平坦	IV層
	3	砂壤土	黄褐色	10YR5/6	中	堅	判然	平坦	IV+V層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	平坦	IV層
	5	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	明瞭	平坦	III>VI層
TP-112	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	中	堅	判然	平坦	II>III層
	2	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	4	砂壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	明瞭	平坦	III層
TP-113	1	埴土	褐色	10YR4/4	強	堅	判然	不連続	IV層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	不連続	II>III層
	3	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	不連続	II>III層
	4	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	強	軟	判然	不連続	III層
	6	砂土	褐色	10YR4/6	中	軟	明瞭	平坦	V>IV層
TP-114	1	埴壤土	黒褐色	10YR2/2	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	3	砂土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	IV>V層
	4	埴壤土	暗褐色	10YR3/4	中	軟	判然	平坦	III>V層
TP-115	1	埴土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	2	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	堅	明瞭	平坦	II層
	3	埴壤土	暗褐色	10YR3/3	強	堅	判然	平坦	III層
	4	砂土	褐色	10YR4/6	中	堅	判然	平坦	IV層
	5	埴壤土	黒褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	II層
TP-116	1	埴土	暗褐色	10YR3/3	中	堅	判然	平坦	III層
	2	埴壤土	黒色	10YR2/1	強	堅	判然	平坦	II層
	3	埴土	褐色	10YR4/4	中	堅	判然	平坦	III層
	4	砂土	褐色	10YR4/6	弱	軟	明瞭	平坦	IV層
	5	埴壤土	暗褐色	10YR2/3	強	軟	明瞭	平坦	IV層
TP-117	1	埴壤土	黒色	10YR2/1	中	堅	判然	平坦	II層
	2	埴土	褐色	10YR4/6	強	堅	明瞭	平坦	IV層
	3	埴壤土	黒色	10YR1.7/1	強	軟	明瞭	平坦	II層

表12 Tピット一覧

\*規模は、底面の長軸・短軸を基準として計測した。底面端部は、丸みを帯びたものは「丸」、角張り気味のものは「角」、尖り気味のものは「尖」とした。底面傾斜方向等は西洋十六方位のアルファベットで示した。長短比は四捨五入して整数にした。重複で→は切る、←は切られるを示す。

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)				底 面				底 面				分類	重複等		
				確認 長径	確認 短径	底面 長径	底面 短径	長さ	長軸方向	平面形	形 態	端 部	傾 斜		オーバー ハング			杭跡	長短比
													方 向	角 度					
1	15	4	11	K6c,K7b, L6d,L7a	1.58	1.42	0.85	0.45	1.10	N 37°	W	小判形	丸	なし	6	2	C2		
2	15	—	—	A13b,B13a	1.22	0.51	1.02	0.12	1.02	N 8°	E	溝状	丸	N → S	-6°	9	A2		
3	15	5	17	A12a・b	1.31	0.41	0.93	0.12	1.06	N 47°	W	溝状	丸	NW → SE	-3°	8	B1		
4	15	4	14	K6b・c, L6d	0.93	1.01	0.72	0.24	1.05	N 15°	W	小判形	NNW角 SSE丸	なし	3	3	C2	→TP54	
5	16	5	18	K5d,K6a	2.36	0.72	1.83	0.09	1.05	N 36°	E	溝状	丸	NE → SW	-1°	20	A2		
6	16	5	19	K6b・c	2.49	0.51	2.00	0.11	1.08	N 30°	E	溝状	丸	NNE → SSW	-2°	18	A1		
7	16	—	—	D2c・d	1.09	0.58	1.38	0.15	0.92	N 4°	E	溝状	角	S → 中央 N → 中央	-6° -4°	9	A2		
8	16	—	—	J6c,K6d	1.13	0.52	0.96	0.17	1.08	N 26°	W	溝状	丸	SSE → 中央 NNW → 中央	-6° -10°	6	B1		
9	16	5	20	K6d,K7a	1.48	0.58	1.60	0.24	1.13	N 34°	E	溝状	丸	SSW → 中央 NNE → 中央	-4° -10°	7	B1		
10	17	—	—	H4d,H5a	0.94	0.71	0.90	0.21	1.11	N 4°	E	溝状	角	S → 中央 ~ N	-12° 水平	4	C1		
11	17	—	—	E6b・c, F6a・d	1.50	1.16	1.44	0.44	1.11	N 26°	W	小判形		SSE → NNW	-1°	3	C2	占冠タイプ (2列)	
12	17	—	—	B1b,C1a	1.71	0.51	1.59	0.19	0.87	N 26°	E	溝状	丸	SSW → 中央 NNE → 中央	-4° -6°	8	B1		
13	17	—	—	B1c,C1d	1.62	0.38	1.43	0.11	0.97	N 74°	E	溝状	丸	ENE → 中央 ~ WSW	-7° 水平	13	A2		
14	18	—	—	C1c・d	2.34	0.57	2.20	0.11	1.06	N 5°	E	溝状	N丸 S角	S → 中央 ~ N	-18° 水平	20	A1		
15	18	6	21	B2b・c, C2a・d	2.05	0.85	1.87	0.11	1.09	N 15°	E	溝状	丸	NNE → 中央 SSW → 中央	-12° -11°	17	A2		
16	18	—	—	D1d,D2a	1.66	0.57	1.68	0.10	0.99	N 20°	E	溝状	丸	SSW → 中央 NNE → 中央	-12° -11°	17	A2		
17	18	—	—	D1c・d, D2a・b	1.52	0.48	2.15	0.17	1.01	N 9°	E	溝状	丸	S → N	-3°	13	A1		
18	19	—	—	D1c,D2b, E1d	1.64	0.58	1.60	0.29	0.98	N 8°	E	長楕円形	丸	水平		6	B1		

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)			底 面			傾 斜	オーバー ハング	杭跡	長短比	分 類	重 複 等					
				確 認 長径	面 短径	深 さ	長 軸 方 向	形 態	端 部							方 向		角 度		
																NE	SW		→	→
19	19	—	D2a~d	1.90	0.45	1.49	0.10	1.10	N 37° E	溝状	丸	NE SW	→ →	中央 中央	-9° -3°	なし	0	15	A2	
20	19	—	C2c,C3b, D2d	2.57	0.51	2.41	0.16	1.10	N 18° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-15° -2°	SSW	0	15	A1	
21	19	—	D3c, D4a·b	2.15	0.83	2.09	0.24	1.04	N 8° E	溝状	丸	S N	→ →	中央 中央	-11° -5°	N	0	9	A1	
22	20	—	E2a·d	(2.03)	(0.55)	1.85	0.13	1.08	N 38° E	溝状	丸	SW NE	→ →	中央 中央	-8° -12°	なし	0	14	A2	NE側攪乱
23	20	4 11	F7c,F8b	1.66	1.25	0.94	0.44	1.10	N 10° W	小判形		水平				6 (2列)	2	C2		占冠タイプ
24	20	—	E2a~d	1.98	0.57	1.85	0.10	1.08	N 45° E	溝状	NE丸 SW尖	NE 中央	→ →	中央 SW	-11° 水平	NE SW	0	19	A2	
25	21	—	E2c·d, F2a·d	1.95	0.60	2.04	0.16	1.18	N 27° E	溝状	丸	SSW	→	NNE	-1°	SSW	0	13	A1	
26	21	—	F2d	2.05	0.49	1.88	0.18	0.91	N 38° E	溝状	丸	SW NE	→ →	中央 中央	-7° -10°	SW	0	10	A2	
27	21	—	F3a	1.48	0.81	1.41	0.18	0.92	N 27° W	溝状	丸	NNW 中央	→ →	中央 SSE	-12° 水平	SSE	0	8	B1	
28	21	—	F2c, F3a·b	1.81	(0.71)	0.91	0.18	0.89	N 17° E	溝状	SSW尖 NNE丸	SSW 中央	→ →	中央 NNE	-6° 水平	なし	0	5	B1	W側 試掘攪乱
29	22	—	F3b	(2.18)	0.83	1.53	0.20	1.20	N 11° E	溝状	丸	S N	→ →	中央 中央	-5° -2°	なし	0	8	B1	S側攪乱
30	22	—	E3c·d	1.59	0.64	1.43	0.15	0.89	N 17° E	溝状	丸	NNE SSW	→ →	中央 中央	-3° -1°	NNE	0	10	A2	
31	22	—	F4b,G4a	1.58	0.89	1.44	0.24	1.05	N 11° E	溝状	丸	N	→	S	-4°	S	0	6	B1	
32	22	—	G4a	1.32	0.89	1.45	0.15	0.98	N 25° E	溝状	丸	水平				SSW	0	10	A2	
33	22	—	G4a·d	1.17	0.38	(1.14)	0.13	0.49	N 34° E	溝状	丸	水平?				SW	0	(9)	(A2)	NE側 重機削平
34	23	—	G5b	1.03	0.84	0.80	0.23	0.97	N 4° E	小判形	丸	水平				S	0	3	C1	
35	23	—	G4a~d	1.31	0.63	1.65	0.22	0.85	N 23° E	溝状	丸	SSW 中央	→ →	中央 NNE	水平 -6°	SSW	0	8	B1	
36	23	—	G4d,G5a	2.14	0.46	1.09	0.10	0.81	N 21° E	溝状	丸	NNE	→	SSW	-1°	なし	0	11	A2	

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規模 (m)			底面			底面			分類	重複等						
				確認面 長径	確認面 短径	深さ	長軸方向	形 平面形	態 端部	傾斜		オーバー ハンク			杭跡	長短比				
										方向	角度									
37	23	—	E5b, F5a・d	2.06	0.74	1.91	0.20	1.12	N 75° W	溝状	丸	WNW ESE	→ →	中央 中央	-1° -4°	なし	0	10	A2	
38	24	—	H4d	1.11	0.75	1.04	0.21	0.98	N 31° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-1° -4°	なし	0	5	B1	
39	24	—	H5d	1.40	0.65	1.02	0.16	1.03	N 11° E	溝状	丸	N	→	S	-3°	S	0	6	B1	
40	24	6	H5b	2.31	0.67	1.90	0.14	1.05	N 30° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-9° -6°	なし	0	14	A2	
41	24	—	H5c,H6b	1.32	0.69	1.22	0.10	1.08	N 6° E	溝状	丸	S 中央	→ →	中央 N	-13° -2°	S	0	12	A2	
42	25	6	I5a~d	2.43	0.57	2.01	0.10	0.93	N 34° E	溝状	丸	SW NE	→ →	中央 中央	-10° -2°	なし	0	20	A1	
43	25	—	J7c,J8b, K8a	1.54	0.70	1.38	0.16	1.24	N 78° E	溝状	丸	E	→	W	-1°	W	0	9	A2	
44	25	—	I6c・d	1.34	0.68	1.36	0.14	1.15	N 20° E	溝状	丸	SSW	→	NNE	-2°	SSW	0	10	A2	
45	25	4 11	H8c・d	1.84	1.35	0.97	0.78	1.28	N 24° E	小判形		SSW	→	NNE	-3°	なし	6 (2列)	1	C2	占冠タイプ
46	26	11	J7b・c	1.19	0.73	(0.82)	0.43	0.66	N 1° E	隅丸長方形		W E	→ →	中央 中央	-14° -13°	なし	4(6)? (2列)	(2)	(C2)	N側重機削平 占冠タイプ
47	26	10	J5a・d	2.46	0.76	2.46	0.20	1.25	N 29° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-2° -3°	SSW	0	12	A1	→TP122
48	26	6	J5d,J6a	2.27	0.69	2.30	0.21	1.24	N 32° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-7° -3°	SSW	0	11	A1	
49	26	—	J5c,J6b	1.83	1.08	(1.55)	0.37	1.12	N 23° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-7° -20°	不明	0	(4)	(C1)	SSW側 重機削平 →TP117
50	26	7	J5c,J6b, K5d,K6a	1.53	0.70	1.44	0.16	1.07	N 34° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-2° -7°	SSW	0	9	A2	
51	27	7	K7c,K8b	0.96	0.57	1.40	0.16	0.91	N 69° E	溝状	丸	ENE WSW	→ →	WSW 中央	-7° -22°	WSW	0	9	A2	
52	27	—	L6c,L7b	1.26	1.07	(0.54)	0.46	1.03	N 57° E	楕円形		SE NW	→ →	中央 中央	-12° -30°	なし	0	(1)	(C1)	WSW側 重機削平
53	27	—	K6c・d, K7a・b	2.17	0.70	2.04	0.14	1.14	N 12° E	溝状	角	S 中央	→ →	中央 N	-13° -1°	なし	0	15	A1	
54	27	4	K6b・c, L6a・d	2.75	0.79	2.22	0.15	1.10	N 28° E	溝状	角	NNE	→	SSW	-2°	なし	0	15	A1	←TP4

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)			底 面			傾 斜			分 類	重 複 等				
				確 認 長 径	面 短 径	深 さ	長 軸 方 向	形 態	傾 方 向	角 度	オ ー バ ー ハ ン グ	杭 跡			長 短 比			
55	28	—	L7c・d	1.52	1.12	0.89	0.32	1.11	N 16° W	小判形	SSW NNW	→ 中央 → 中央	-8° -3°	なし	5 (2列)	3	C2	占冠タイプ
56	29	12	M6d	1.38	1.11	1.02	0.35	1.05	N 0°	小判形	NNW	→ SSE	-2°	なし	2	3	C2	→TP60
57	28	7	L6b・c	2.31	0.85	1.45	0.11	1.20	N 35° E	溝状	SW角 NE丸	水平		なし	0	13	A2	
58	29	8	M6c,M7b	1.95	0.60	2.06	0.11	1.19	N 21° E	溝状	丸	SSW	→ NNE	-1°	0	19	A1	←TP109
59	28	—	M5d,M6a	2.48	0.45	2.35	0.11	1.28	N 63° E	溝状	ENE角 WSW丸	→ ENE	→ WSW	-1°	0	21	A1	
60	29	—	L6c,M6d	1.65	0.43	1.83	0.15	1.07	N 8° E	溝状	E角 W丸	→ 中央 → 中央	→ 中央 → 中央	-9° -5°	0	12	A2	←TP56
61	29	—	O6b,P6a	1.39	0.87	1.21	0.19	1.64	N 7° E	溝状	角	→ S → N	→ 中央 → 中央	-18° -8°	0	6	B1	
62	30	—	M7a	1.19	0.50	1.03	0.14	1.23	N 62° E	溝状	WSW角 ENE丸	→ WSW → ENE	→ 中央 → 中央	-8° -1°	0	7	B1	
63	30	—	M7a~d	1.48	0.73	1.62	0.21	0.98	N 77° E	溝状	WSW角 ENE丸	→ WSW → ENE	→ 中央 → 中央	-5° -5°	0	8	B1	
64	30	—	M6b・c, N6a・d	2.47	0.59	1.57	0.11	1.16	N 23° E	溝状	NNE角 SSW丸	→ SSW	→ NNE	-4°	1	14	A2	
65	30	7	O8b,P8a	(0.77)	(0.69)	(0.43)	0.22	1.20	N 22° E	溝状	不明					(C1)	N側重機攪乱 S側保存区域	
66	31	11	M7b・c	1.27	1.04	1.04	0.54	1.08	N 23° E	楕円形	丸	水平		なし	4	2	C2	→TP71 →TP109
67	31	—	R9c,R10b, S9d,S10a	1.14	0.78	1.50	0.12	0.77	N 24° E	溝状	角	NNE	→ SSW	-2°	0	13	A2	
68	31	—	N8a	1.01	0.62	(0.90)	0.25	0.61	N 50° E	隅丸長方形	角	NE	→ SW	-5°	0	4	C1	NE側 重機削平
69	32	—	R11a	0.98	0.88	0.80	0.33	0.57	N 23° E	小判形	SSW	→ SSW	→ NNE	-1°	3 (2列?)	2	C2	占冠タイプ
70	32	8 12	N6d,N7a	2.12	0.86	2.20	0.10	1.18	N 30° E	溝状	丸	SSW	→ 中央	-3°	0	22	A1	
71	31	—	M7b,N7a	1.42	1.28	1.54	0.29	1.23	N 40° E	溝状	SW角 NE丸	→ SW	→ 中央	-3°	0	5	B1	←TP66
72	32	—	S15a	1.19	1.07	1.10	0.69	0.98	N 2° W	楕円形	角	S N	→ 中央 → 中央	-6° -8°	3 (2列?)	2	C2	

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)				底 面				傾 斜 方 向	角 度	オーバー ハング	杭跡	長短比	分 類	重 複 等										
				確 認 長 径	面 短 径	底 長 径	面 短 径	深 さ	長 軸 方 向	形 態 平 面 形	端 部								方 向	角 度								
																					長 径	短 径	長 径	短 径	深 さ	長 軸 方 向	形 態 平 面 形	端 部
73	33	—	O5c,O6b	1.15	0.70	1.41	0.18	1.16	N 4° E	溝状	丸	S N	→ →	中央 中央	-11° -12°	S	0	8	B1									
74	33	8	N6b・c	2.39	0.52	1.31	0.11	1.27	N 33° E	溝状	丸	SSW	→	NNE	-3°	なし	0	12	A2									
75	33	12	N6c,N7b	2.23	0.42	1.92	0.09	1.10	N 32° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-9° -1°	なし	0	21	A2									
76	33	12		48 49	1.73	0.61	1.73	0.14	1.17	N 30° E	溝状	NNE丸 SSW角	→ →	中央 中央	-22° -2°	SSW	0	12	A2									
77	33	13	N7b・c, O7a・d	1.62	0.99	1.74	0.22	1.13	N 43° E	溝状	丸	SW NE	→ →	中央 中央	-6° -1°	SW	0	8	B1									
78	34	13	O7a~d	2.34	0.43	1.96	0.10	1.00	N 14° E	溝状	角	SSW NNE	→ →	中央 中央	-5° -11°	SSW	0	20	A2									
79	34	8	O6d,O7a	1.43	0.66	1.18	0.19	1.46	N 27° E	溝状	角	SSW NNE	→ →	中央 中央	5° 5°	なし	0	6	B1									
80	34	8	O6c・d, O7a・b	2.40	0.53	1.83	0.14	1.08	N 49° E	溝状	丸	SW	→	NE	-2°	なし	0	13	A2									
81	35	13	O6c	1.55	0.58	1.65	0.13	1.13	N 38° E	溝状	丸	SW NE	→ →	中央 中央	-7° -3°	なし	0	13	A2									
82	35	9	O7b,P7a	1.50	0.62	1.19	0.10	1.32	N 23° E	溝状	SSW角 NNE丸	→ →	中央 中央	-1° -12°	なし	0	12	A2										
83	35	9	O7c,P7d	1.98	0.44	1.70	0.08	1.04	N 31° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-3° -2°	なし	0	21	A2									
84	35	—	O6c, P7a・d	2.18	0.48	1.96	0.15	1.17	N 10° E	溝状	丸	N 中央	→ →	中央 S	水平 -1°	なし	0	13	A2									
85	36	—	P6a・d	1.10	0.55	1.08	0.18	1.03	N 8° W	溝状	丸	N	→	S	-1°	S	0	6	B1									
86	36	—	P6d,P7a	(0.84)	0.66	(0.80)	0.13	1.46	N 37° E	溝状	丸?	SW	→	NE	-9°	不明			(A2)	NE側保存 区域にあり								
87	36	4	Q7c	1.68	0.43	1.78	0.11	0.82	N 34° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-9° 3°	NNE	0	16	A2									
88	36	4	Q7c	1.80	0.36	1.97	0.10	0.62	N 35° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-5° -2°	NNE	0	20	A2									
89	37	—	Q8b・c	(1.90)	0.37	1.25	0.09	1.02	N 20° E	溝状	丸	SSW NNE	→ →	中央 中央	-17° -2°	なし	0	14	A2									
90	37	—	S8a	1.26	0.48	1.11	0.14	0.58	N 2° W	溝状	N丸 S角	S N	→ →	中央 中央	-5° -7°	なし	0	8	B1									



TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)				底 面				傾 斜 方向	角 度	オーバー ハング	杭跡	長短比	分 類	重 複 等
				確 認 長径	確 認 短径	底 面 長径	底 面 短径	深 さ	長 軸 方 向	形 態 平面形	形 態 端部							
91	37	—	R8b・c	1.97	0.45	1.65	0.15	0.76	N 21° W	溝状	NNE丸 SSW角	→ 中央 → SSW	-10° -1°	SSW	0	11	A2	
92	37	—	R8c,S8d	1.70	0.69	1.70	0.14	0.75	N 27° W	溝状	丸	→ SSE	-2°	SSE	0	12	A2	
93	37	9	R8c, R9a・b	2.08	0.25	1.70	0.09	0.81	N 2° E	溝状	丸	→ S	-1°	なし	0	19	A2	
94	38	—	Q8c,R8d	1.93	0.38	1.80	0.09	0.73	N 2° E	溝状	丸	→ S → N	-3° -1°	なし	0	20	A2	
95	38	—	R8c・d, R9a	2.20	0.49	1.71	0.12	0.71	N 25° E	溝状	丸	→ SSW	-2°	なし	0	14	A2	
96	38	—	Q9b	1.43	0.39	1.22	0.18	0.64	N 16° E	溝状	丸	→ SSW	-9°	なし	0	7	B1	
97	38	—	Q9b	1.65 (0.72)	1.00	1.00	0.27	0.69	N 34° W	長楕円形	不明	不明	不明	なし	0	4	C1	←TP98
98	38	—	Q9b	1.15	0.89	0.70	0.48	0.60	N 7° E	小判形	N 中央	→ 中央 → S	-28° -3°	なし	1	1	C2	→TP97
99	38	—	Q9a・d	1.32	0.42	1.02	0.11	0.66	N 15° E	溝状	丸	→ SSW → NNE	-8° -2°	なし	0	9	A2	
100	39	4	R9d,R10a	1.29	0.50	1.18	0.21	0.86	N 40° E	溝状	SW角 NE丸	→ SW → NE	-7° -12°	SW	0	6	B1	
101	39	—	R9c	1.11	0.41	1.16	0.10	0.89	N 57° E	溝状	丸	→ WSW → ENE	-11° -11°	WSW	0	12	A2	
102	39	9	S9a~d	(1.60)	0.48	(1.14)	0.16	0.85	N 28° E	溝状	丸	→ SSW	-2°	不明	不明		(A2)	SSW側保存 区域にあり
103	39	4	R10a・b・d	1.18	0.47	1.14	0.25	0.72	N 14° E	長楕円形	NNE丸 SSW角	→ SSW 中央→NNEに段あり	-2°	SSW	0	5	B1	
104	39	10	R10b,S10a	1.41	0.71	1.36	0.19	1.00	N 28° E	溝状	NNE丸 SSW角	→ 中央 → SSW	-6° -1°	SSW	0	7	B1	
105	40	10	S10d	1.56	0.59	1.57	0.12	0.80	N 66° E	溝状	丸	→ WSW → ENE → WSW~中央に起伏あり	-2° -7°	WSW	0	13	A2	
106	40	—	S10c・d, S11a・b	1.14	0.70	1.25	0.24	1.04	N 8° E	溝状	角	→ N	-6°	S	0	5	B1	
107	40	—	R10c,S10b	1.09	0.49	1.25	0.19	0.69	N 26° E	溝状	丸	→ SSW → NNE	-5° -1°	SSW	0	7	B1	
108	40	—	Q10c・d	1.14	0.45 (1.17)	1.25	0.21	0.47	N 74° E	溝状	WSW丸 ENE角	→ ENE → WSW	-1°	WSW	0	(6)	(B1)	

TP 番号	図 番号	図 版	調査区	規 模 (m)			底 面			底 面			傾 斜 方 向	傾 斜 角 度	オ-バー ハンダ	杭跡	長短比	分 類	重 複 等		
				確認 長径	確認 短径	底 長径	底 短径	深さ	長軸方向	形 態 平面形	形 態 端部	WSW 中央								ENE	7° -2°
109	29	—	M7b	(0.77)	0.51	(0.86)	0.14	0.76	N 75° E	溝状	WSW丸	WSW 中央	→ →	中央 ENE	7° -2°	WSW	0	(6)	(A2)	→TP58 ←TP66	
110	40	—	O6a・d	(2.11)	(0.35)	1.82	0.11	0.98	N 12° E	溝状	丸	丸	→	水平		不明	0	17	A2	試掘攪乱	
111	41	—	F2c,F3b	1.40	0.49	2.00	0.14	0.75	N 5° E	溝状	丸	S N	→ →	中央 -8°	-12° -8°	S N	0	14	A1		
112	41	—	H4c・d	1.45	0.51	1.77	0.19	0.81	N 39° E	溝状	丸	NE SW	→ →	中央 -7° -3°	-7° -3°	NE SW	0	9	A2		
113	42	—	I4d,I5a	1.79	0.59	1.95	0.16	0.79	N 48° E	溝状	丸	NE 中央	→ →	中央 -5° -2°	-5° -2°	SW SW	0	12	A2		
114	42	—	I4c,I5b	1.90	0.57	2.25	0.14	1.02	N 43° E	溝状	丸	NE SW	→ →	中央 -15° -6°	-15° -6°	NE SW	0	16	A1		
115	42	10	J5a・d	1.97	0.57	1.91	0.10	0.99	N 42° E	溝状	丸	NE SW	→ →	中央 -7° -1°	-7° -1°	NE SW	0	19	A2		
116	43	10	J5c	1.17	0.54	1.02	0.15	0.91	N 6° E	溝状	丸	丸	→	水平		なし	0	7	B1		
117	43	10	J5c	(2.50)	0.28	(2.14)	0.12	1.14	N 27° E	溝状	SSW丸 NNE角	SSW NNE	→ →	中央 -7° -3°	-7° -3°	なし	0	(18)	(A1)	←TP49	
118	42	—	K5c,K6b	2.35	0.42	2.24	0.08	0.98	N 46° E	溝状	丸	丸	→	水平		SW	0	28	A1		
119	43	14	L5d	1.96	0.42	2.01	0.11	1.09	N 38° E	溝状	丸	丸	→	中央 -2° -1°	-2° -1°	SW SW	0	18	A1		
120	44	14	L5c	1.15	0.60	1.09	0.16	1.00	N 69° E	溝状	WSW丸 ENE角	WSW ENE	→ →	中央 -12° -8°	-12° -8°	WSW	0	7	B1		
121	41	—	H4c,H5b	1.78	0.79	1.50	0.31	0.88	N 53° E	長楕円形	丸	丸	→	NE -3°	-3°	SW	0	5	C1		
122	42	10	J5a	1.76	0.40	0.78	0.08	0.97	N 34° E	溝状	丸	丸	→	NE -2°	-2°	なし	0	10	A2	←TP47	
123	41	—	H4c	(1.93)	0.71	(2.00)	0.19	0.82	N 30° E	溝状	SSW丸	SSW NNE	→ →	中央 -7° -3°	-7° -3°	SSW	0	(11)	(A1)		
124	43	14	K5c,L5d	1.30	0.72	1.21	0.30	1.05	N 85° E	長楕円形	丸	丸	→	E -7°	-7°	W	0	4	C1		
125	44	14	L5b・c	1.35	0.70	1.94	0.13	1.14	N 55° E	溝状	丸	丸	→	SW -2°	-2°	SW NE	0	15	A2		
126	44	—	M5c・d	1.38	0.75	1.61	0.26	1.22	N 77° W	溝状	丸	丸	→	中央 -1° -4°	-1° -4°	WNW ESE	0	6	B1		
127	44	—	N5c	1.49	0.69	1.33	0.30	0.47	N 49° E	長楕円形	丸	丸	→	SW -2°	-2°	SW	0	4	C1		

### Ⅲ 包含層出土の遺物

今回の調査で回収した遺物は、黒曜石の剥片・剥片石器14点である。全てⅣ層から出土している。土器は見つかっていない。内訳は石鏃1点、Rフレイク4点、フレイク9点の計14点である。石鏃、Rフレイクは図示した(図45-1~5)。なお、表13には、前年度に道教委が行った試掘調査時に表採された黒曜石のフレイク1点も掲載した。

1は無茎の石鏃である。二等辺三角形の側縁が外湾、底辺がやや内湾した形である。両面が調整されている。2は剥離の加工が上端を中心に短く連続する。先端は潰れており、使用した可能性がある。3は裏面上端を中心に剥離調整されている。4は細長い素材の上端から片側縁にかけて、比較的急な角度で剥離がつけられている。5は周縁の約3分の2に浅い剥離が施されている。(新家)

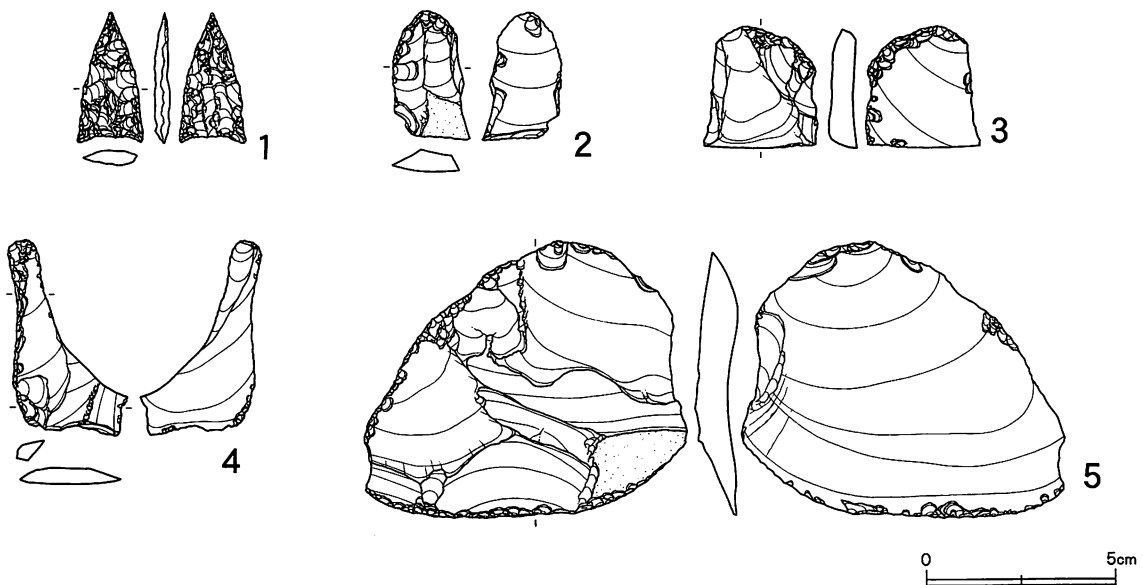


図45 包含層出土の石器

表13 包含層出土石器一覧

図	掲載番号	図版	発掘区名	分類	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
49	1	14-57	K 8	石 鏃	Ⅳ	3.40	1.70	0.40	1.79
49	2	14-57	B 6	Rフレイク	Ⅳ	3.40	2.05	0.70	4.43
49	3	14-57	A 6	Rフレイク	Ⅳ	3.20	3.00	0.85	7.47
49	4	14-57	B 8	Rフレイク	Ⅳ	5.10	3.20	0.55	4.35
49	5	14-57	L 8	Rフレイク	Ⅳ	8.50	7.30	1.50	54.80
—	—	—	B 6	フレイク	Ⅳ	3.15	1.75	1.15	6.40
—	—	—	B 6	フレイク	Ⅳ	1.90	1.20	0.20	0.24
—	—	—	B 6	フレイク	Ⅳ	1.70	0.85	0.25	0.18
—	—	—	C 5	フレイク	Ⅳ	2.45	1.95	0.25	0.92
—	—	—	C 5	フレイク	Ⅳ	1.67	1.40	0.50	0.99
—	—	—	L 8	フレイク	Ⅳ	1.40	0.95	0.15	0.15
—	—	—	L 8	フレイク	Ⅳ	0.85	0.75	0.05	0.04
—	—	—	L 8	フレイク	Ⅳ	0.75	0.25	0.05	0.02
—	—	—	L 8	フレイク	Ⅳ	1.40	0.50	0.05	0.05
—	—	—	—	フレイク	表採	1.50	0.90	0.25	0.16

計 14点 + 試掘調査時表採遺物 1点

## Ⅳ 成果と問題点

占冠原野1遺跡の調査は重機を併用した遺構確認調査として平成18年6月1日～7月7日に行った。調査面積は4,702㎡、検出遺構は土坑1基、Tピット127基、出土遺物は石鏃1点、Rフレイク4点、フレイク9点の計14点である。土器は出土していない。

Tピットのほとんどは緩斜面から平坦部で検出した。段丘縁辺部斜面で検出したものもある。その形態を「苦東分類」(大泉 1987) (①底面の長短比、②底面の長径、③杭穴の有無による分類)によって分類したところ、A型74基(A1型20基、A2型54基)、B型31基(B1型31基)、C型22基(C1型10基、C2型12基)であった。D型に分類されるものはなかった。おおむね底面長径1.5mから2mの溝状のものが多く、底面が幅広なものは全体の2割未満である。前者には1m程度の短いものから2.4mを超える狭長なものまでである。後者のうち12基には杭跡があり、多いものでは6本検出した。これらのうちTP-11・23・45・46・55の5基は杭跡が長軸に沿って2列に並列するものだった。

Tピット同士の重複は8例ある。C2型が他の分類のTピットを切る例が5例あった。A2型を切る例が2例、A1型、B1型、C1型を切る例が各1例である。またC1型がA1型を切る例、A1型がA2型を切る例、A2型がA1型を切る例が各1例である。これらを見ると、長径の短いC型が後に構築されている。覆土の観察によりほとんどは自然に埋没したものとみられるが、ある程度埋没した後、窪みにたまった黒色土がロームで覆われたものがある。これらについては掘り上げ土が入ったものと考えられる。

Tピットの分布を見るとA型とB型に分類されるものはおおむね段丘縁辺部の崖の落ち際から30m以内に等高線と直交して列をなしており、A型はやや崖寄り、B型はやや山よりに分布している。C型のうちC1型は前2者と分布域が重複するが、C2型では前2者と分布域が重複するもの(TP-1・4・46・55・56・66・69・98)と前2者よりも山側に列をなすもの(TP-11・23・45・72)がある。山側に列をなすもののうちの3基は前述した杭跡が長軸に沿って2列に並列するものである。

構築時期については土器が出土していないことから明確にしないが、当遺跡と同様の立地である夕張市十三哩遺跡や滝の上4遺跡、由仁町川端遺跡、厚真町厚幌1遺跡や上幌内モイ遺跡、日高山脈から海岸へと移動する経路にある鶴川町宮戸3遺跡、宮戸4遺跡、厚真町浜厚真3遺跡などで検出されたTピット群の構築時期から類推すると、縄文時代中期後半から後期初頭の可能性がある。(鎌田)

### 附記 占冠原野1遺跡の火山灰について

占冠原野1遺跡内の土層観察において、地表より約1～2mほど下位に、層厚約20～40cmの褐色の火山灰層が存在することがわかった。北海道教育委員会の遺跡範囲確認調査の際には火山灰層そのものは認識されていたが、その由来は特定されていなかった。層位的には、今回発見されたTピットの時代とは無関係ではあるが、基本層序中の明瞭な火山灰層であり、Tピット調査中に遺跡内で普遍的に見られたため、この火山灰層を基本土層中のV層とし、起源の特定を試みた。

今回、大変お忙しい中、快くご指導・ご協力くださったのは、占冠村の隣、日高町にある日高山脈館 小野昌子氏、北海道立地質研究所 廣瀬 亘氏の御両名である。対比可能性として、恵庭A火山灰(E n-a)、支笏第一テフラ(S p f a-1)、クッタラ1テフラ(K t-1)が考えられたが、「軽石の色」、「発泡形態」、「粒度組成」、「重鉱物の組み合わせ」等の観点から、両氏の明瞭かつ簡潔なアドバイストともに、E n-aで間違いのないとの結果を得た。ここに改めて小野・廣瀬両氏のご協力に感謝いたします。(新家)



1 遺跡遠景（南西から）



2 Tピット調査状況（北東から）



3 Tピット調査状況（北西から）

写真図版 4



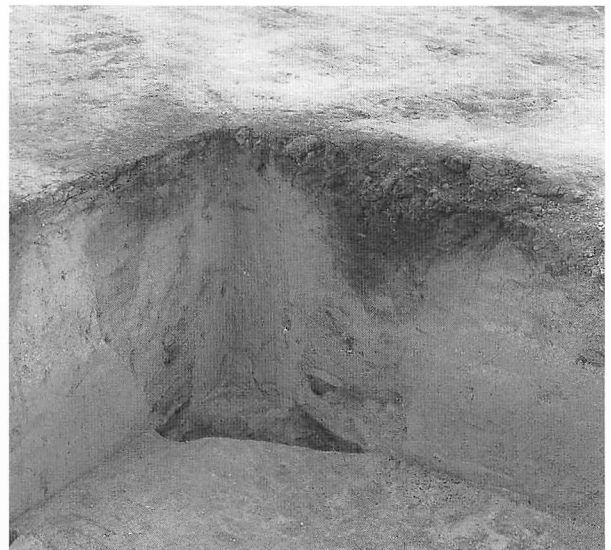
11 TP-1セクション (北東から)



12 TP-23セクション (南から)



13 TP-45セクション (南から)



14 TP-54(左)・TP-4(右)セクション(北東から)



15 TP-88(左)・TP-87(右)セクション(北から)



16 TP-103(左)・TP-100(右)セクション(北から)



1 遺跡遠景（南西から）



2 Tピット調査状況（北東から）



3 Tピット調査状況（北西から）

写真図版2



4 C~I-1~7 Tピット列 (東から)



5 H~O-4~9 Tピット列 (北東から)





6 TP-2・3調査状況（南から）



7 遺構位置実測状況（北東から）



8 R~S-6~13 Tピット列（東から）



9 I~P-4~10 Tピット列（北西から）



10 埋め戻し作業終了（北東から）

写真図版4



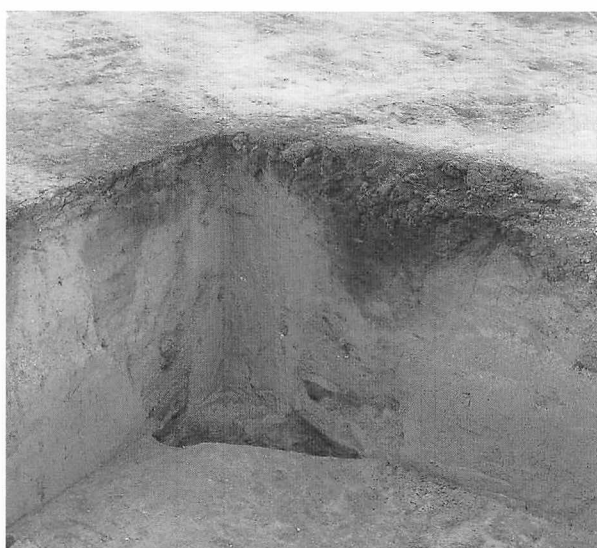
11 TP-1セクション (北東から)



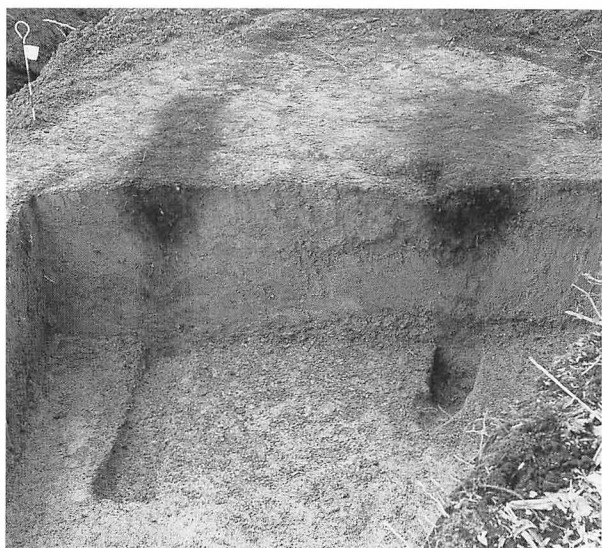
12 TP-23セクション (南から)



13 TP-45セクション (南から)



14 TP-54(左)・TP-4(右)セクション(北東から)



15 TP-88(左)・TP-87(右)セクション(北から)



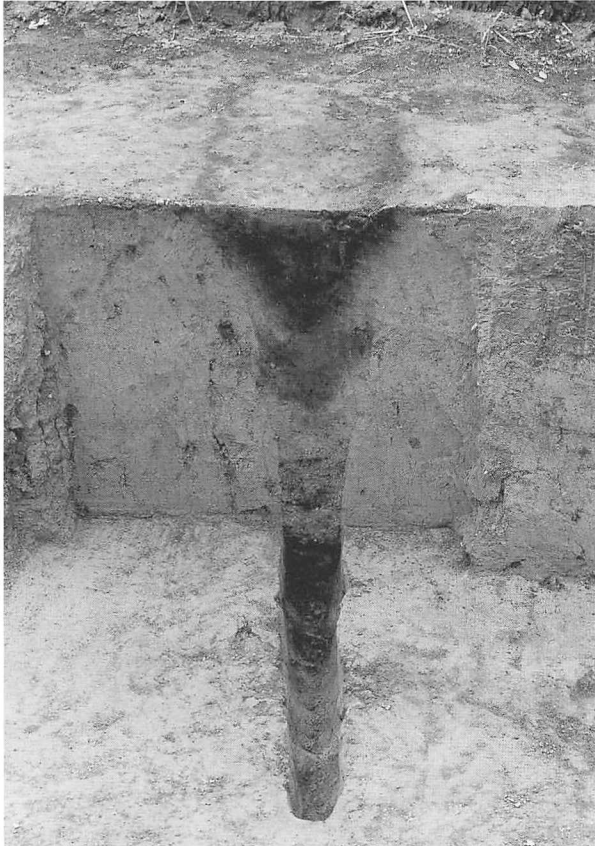
16 TP-103(左)・TP-100(右)セクション(北から)



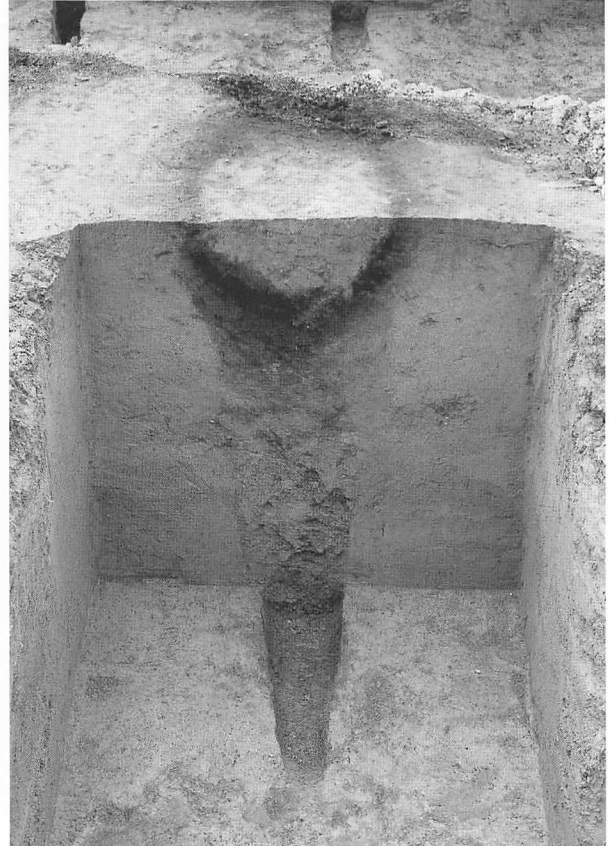
17 TP-3セクション (東南から)



18 TP-5セクション (北から)



19 TP-6セクション (北から)

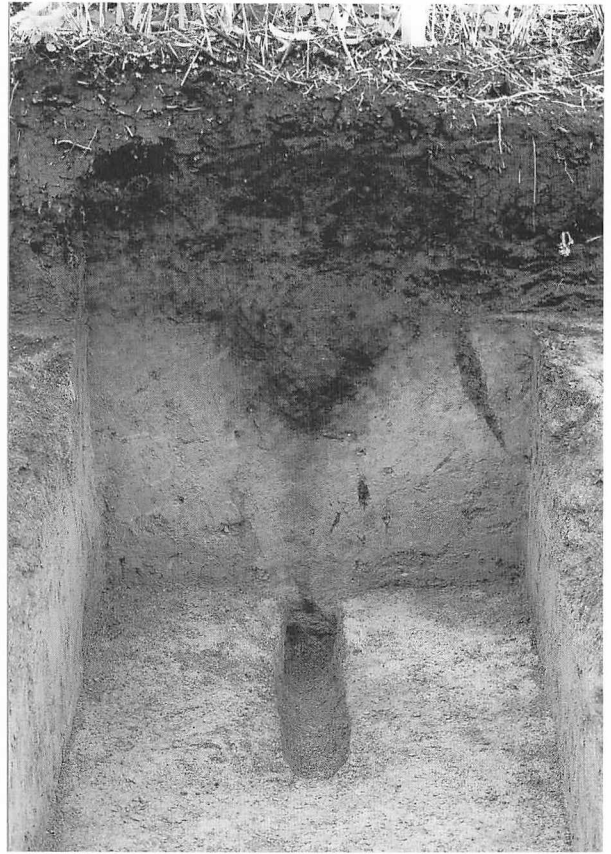


20 TP-9セクション (北東から)

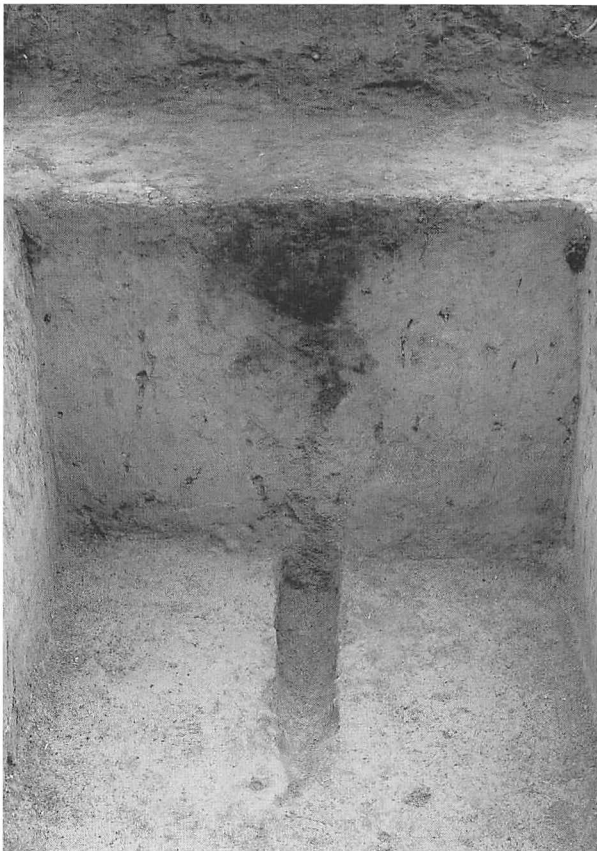
写真図版6



21 TP-15セクション (北から)



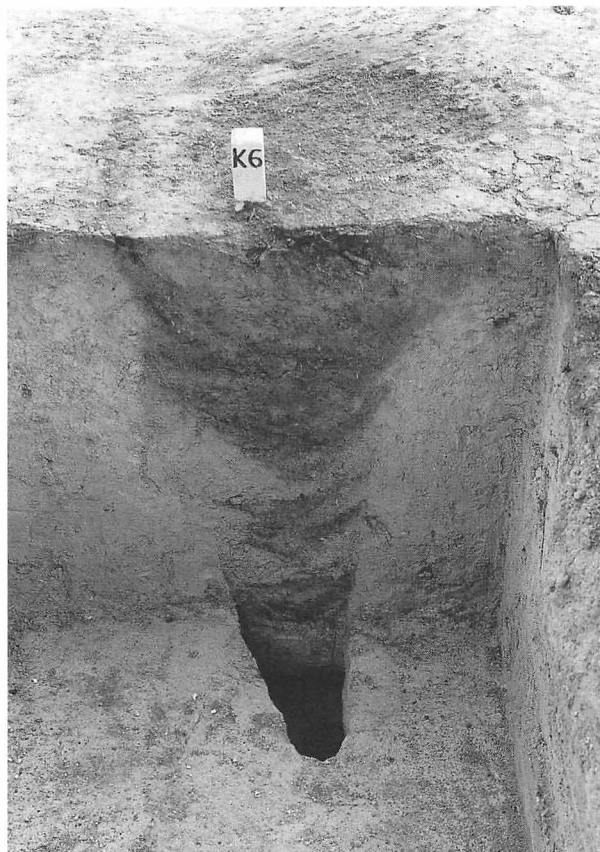
22 TP-40セクション (北から)



23 TP-42セクション (北から)



24 TP-48セクション (北から)



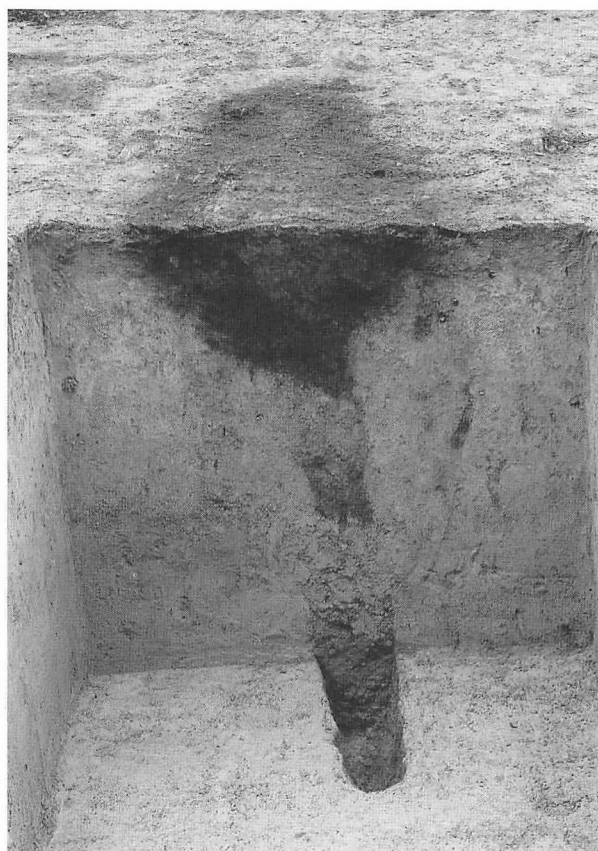
25 TP-50セクション (北から)



26 TP-51セクション (北東から)



27 TP-65セクション (北から)



28 TP-57セクション (北東から)

写真図版 8



29 TP-58セクション (北から)



30 TP-70セクション (北から)



31 TP-74セクション (北東から)



32 TP-80 (左)・79 (右) セクション (北東から)



33 TP-82セクション (北から)



34 TP-83セクション (北から)

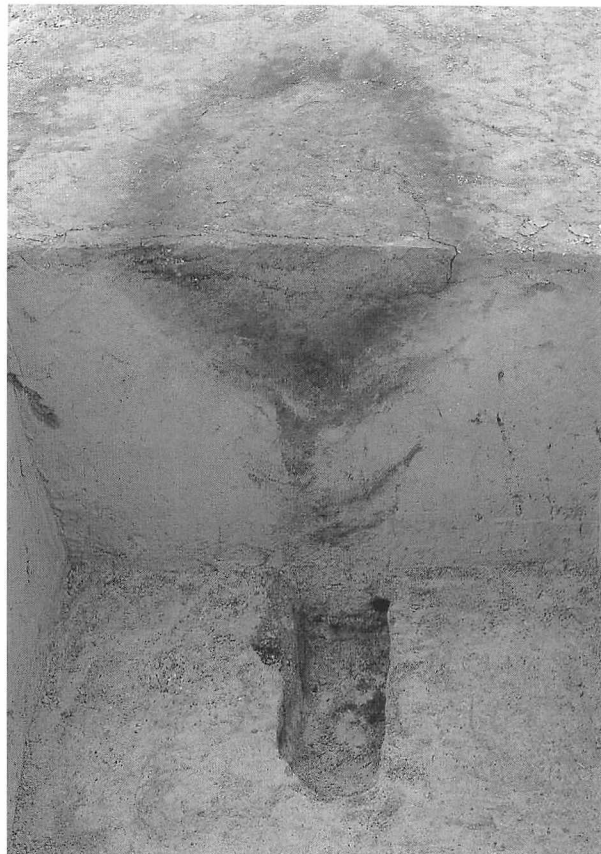


35 TP-93セクション (北から)



36 TP-102セクション (北から)

写真図版10



37 TP-104セクション (北から)



38 TP-105セクション (北東から)



39 TP-47(左・左)・122(左・右)・115(右)セクション(北から)



40 TP-117 (左)・116 (右) セクション (北から)

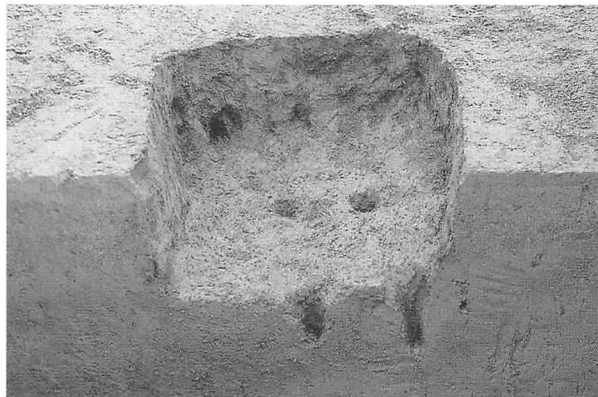




41 TP-23坑底面杭穴確認（南から）



42 TP-45坑底面杭穴確認（南から）



43 TP-46完掘（杭穴完掘）（北から）



44 TP-66坑底面杭穴セクション（北から）



45 TP-66坑底面杭穴確認（北から）



46 TP-56坑底面杭穴確認（北から）



47 TP-70完掘（北東から）



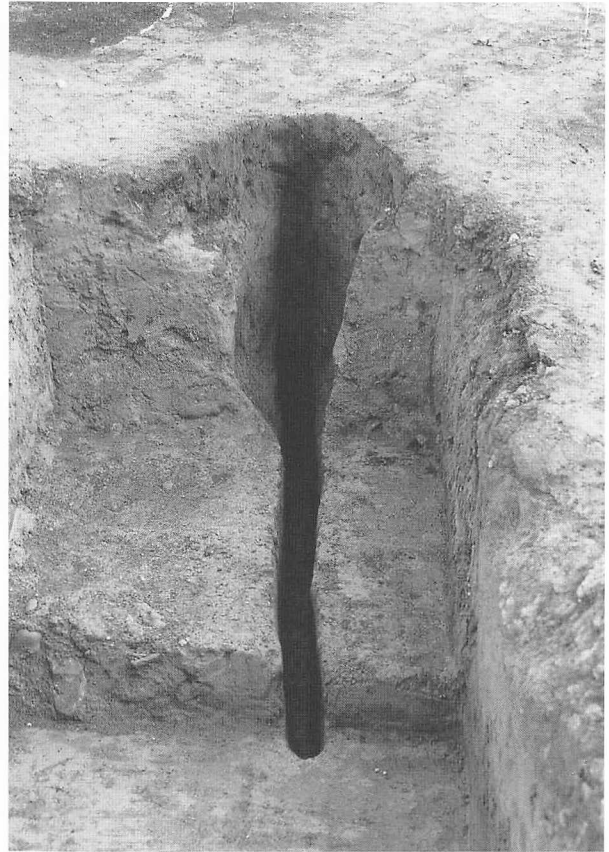
48 TP-75（左）・76（右）セクション（北から）



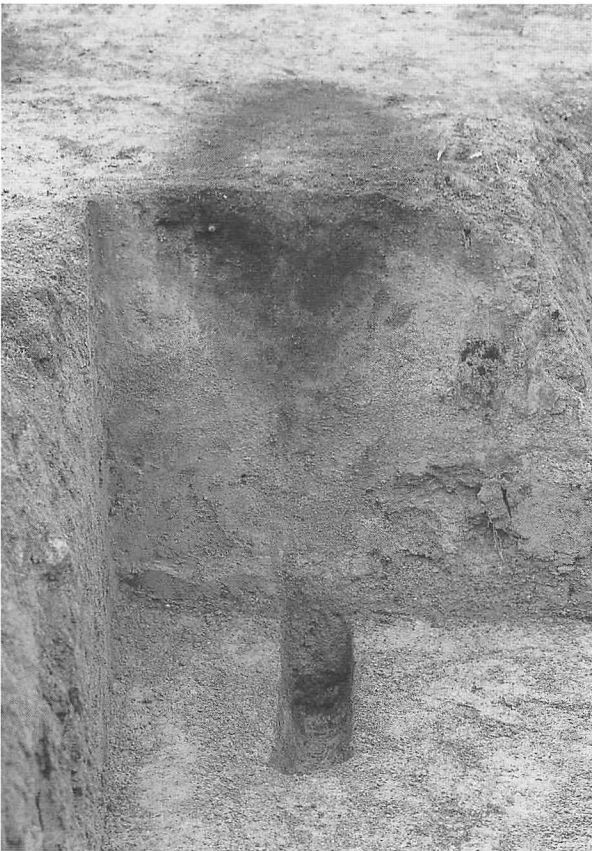
49 TP-75（左）・76（右）完掘（北から）



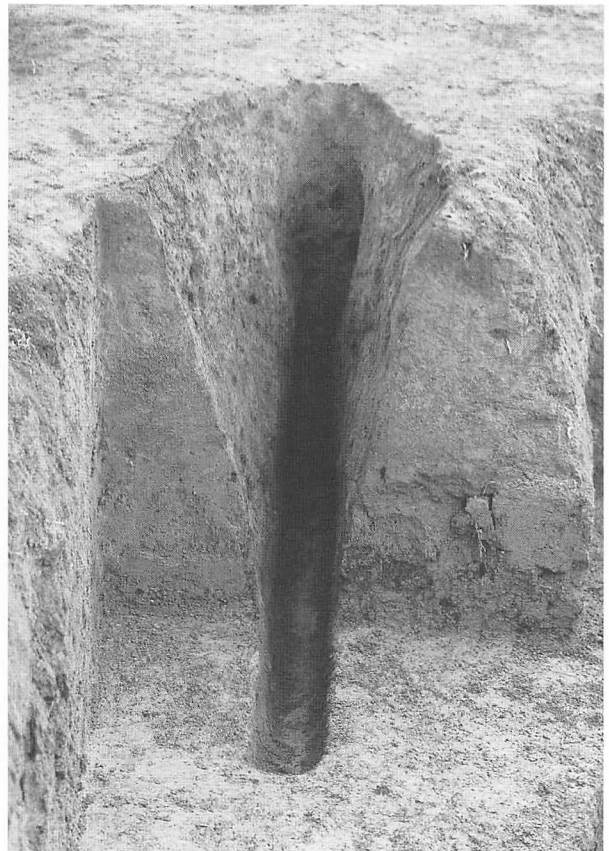
50 TP-77完掘 (北東から)



51 TP-78完掘 (北から)



52 TP-81セクション (北から)



53 TP-81完掘 (北から)

写真図版14



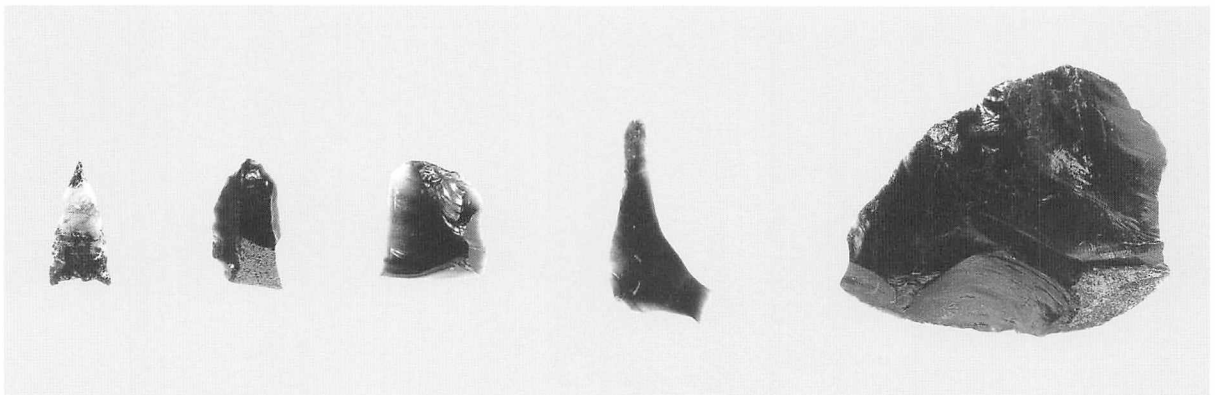
54 TP-119 (左)・124 (右) 完掘 (北東から)



55 TP-125 (左)・120 (右) 完掘 (北東から)



56 TP-125・120・119・124完掘 (北東から)



57 石鑿 (左) とRフレイク

## 引用・参考文献

- 乾 哲也・小野哲也 2004 『厚幌1遺跡』厚真町教育委員会
- 乾 哲也・小野哲也ほか 2006 『厚真町 上幌内モイ遺跡(1)』
- 角川日本地名大辞典編纂委員会 1987 『角川日本地名大辞典 1 北海道 下巻』角川書店
- 古原敏弘 1982 『駒場7遺跡における考古学的調査』静内町教育委員会
- 小山正忠・竹原秀雄 2004 『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1986 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅰ』苫小牧市教育委員会
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1987 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅱ』苫小牧市教育委員会
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1990 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅲ』苫小牧市教育委員会
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1992 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅳ』苫小牧市教育委員会
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1995 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅴ』苫小牧市教育委員会
- 佐藤一夫・工藤 肇ほか 1997 『柏原5遺跡』苫小牧市教育委員会
- 占冠村・日月社 2003 『しむかっぷでむかしむかしあったこと』
- 占冠村 2006 『占冠村百年史』
- 田才雅彦・宗像公司ほか 2002 『米原5遺跡』北海道鶴川町教育委員会
- 谷岡康孝ほか 1996 『夕張市 十三哩遺跡・滝の上4遺跡』北海道文化財保護協会
- 谷岡康孝ほか 1997 『夕張市 十三哩遺跡(2)・滝の上4遺跡(2)』北海道文化財保護協会
- 土肥研晶・森本 薫 1997 『川端遺跡・川端2遺跡』北海道由仁町教育委員会
- 兵藤千秋 2001 『北海道勇払郡鶴川町 米原3遺跡』鶴川町教育委員会
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2001 『鶴川町 米原3遺跡・宮戸3遺跡・米原4遺跡』(北埋調報第153集)
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2002 『鶴川町 宮戸4遺跡』(北埋調報第168集)
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2002 『鶴川町 米原4遺跡(2)・宮戸4遺跡(2)』(北埋調報第185集)
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2003 『厚真町 浜厚真3遺跡』(北埋調報第186集)
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2004 『鶴川町 米原4遺跡(3)・宮戸4遺跡(3)』(北埋調報第202集)
- 日本ペトロロジー学会編 1997 『土壌調査ハンドブック 改訂版』博友社
- 宮夫靖夫 2002 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅵ』苫小牧市教育委員会
- 宮夫靖夫・工藤 肇ほか 2002a 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅶ』苫小牧市教育委員会
- 宮夫靖夫・工藤 肇ほか 2002b 『苫小牧市東部工業地帯の遺跡群Ⅹ』苫小牧市教育委員会

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	しむかっぶむら しむかっぶげんやいちいせき							
書名	占冠村 占冠原野1遺跡							
副書名	北海道横断自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	(助)北海道埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第239集							
編著者名	鎌田 望・新家水奈・立川トマス							
編集機関	財団法人 北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1							
発行年月日	西暦2007年3月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しむかっぶげんやいちいせき 占冠原野1遺跡	ほっかいどうゆうふつぐん 北海道勇払郡  しむかっぶむら 占冠村  あざしむかっぶげんや 字占冠原野  96-1,2319-1	01463	F-06-11	43° 0' 6"	142° 25' 3"	20060601 ～ 20060707	4,702	北海道横断自動車道(夕張～清水)建設工事に伴う事前調査
ふりがな 所収遺跡名	種 類	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
しむかっぶげんやいちいせき 占冠原野1遺跡	陥し穴群	縄文時代 後期初頭	Tピット 127基 土 坑 1基	石鏃1点 Rフレイク4点 フレイク9点			2列の杭跡をもつ Tピット	

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第239集

## 占冠村 占冠原野1遺跡

－北海道横断自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書－

平成19年3月20日発行

**編集・発行** 財団法人 北海道埋蔵文化財センター  
〒069-0832 江別市西野幌685番地1  
TEL(011)386-3231 FAX(011)386-3238  
[E-mail] mail@domaibun.or.jp  
[URL] <http://www.domaibun.or.jp>

**印刷** 株式会社 須田製版  
〒063-8603 札幌市西区二十四軒2条6丁目1番8号  
TEL(011)621-1000 FAX(011)621-1500

